



「彩の国」さいたま
埼玉県

「接続期プログラム」 実践事例集

～幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指して～



埼玉県マスコット
「コバトン」

平成25年3月
埼玉県教育委員会



はじめに

近年の少子高齢化や核家族化などの社会環境の変化は、子育てや子供の成長にも様々な影響を及ぼしています。このような中、平成18年度に改正された教育基本法では、「幼児期の教育」が新たに規定されました。また、平成20年3月に告示された幼稚園教育要領及び平成20年改定の保育所保育指針、更に平成23年度から全面実施された小学校学習指導要領のいずれにも、幼児期の教育から小学校教育への接続を円滑にする必要性が規定されました。

埼玉県では、幼・保・小の連携を推進するため、平成21・22年度に幼稚園・保育所・小学校が日常的に連携していくための「幼・保・小連携体制研究」を8市町教育委員会に委嘱し、市町村教育委員会を核とした連携体制づくりの研究に取り組んでいただきました。

また、平成22年度には、小学校入学までに子供たちに身に付けてほしいこととして、子育ての目安「3つのめばえ」を策定いたしました。これは、幼児を取り巻く大人が子育ての目安を共有して子供を育てることにより、幼児期の教育の一層の充実を図るとともに、幼児期の教育から小学校教育への接続を円滑にしようとするものです。

これらの取組を基盤として、平成23年度には、「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方研究」を4市町教育委員会に委嘱しました。研究指定校と協力園の研究成果をもとに、幼稚園や保育所におけるアプローチカリキュラムや小学校におけるスタートカリキュラムなど、幼児期の教育と小学校教育とのつながりを示した「接続期プログラム」を作成し、幼稚園、保育所、小学校等に配布したところです。

さらに、今年度は、「接続期プログラムの実践及び検証に係る研究」を4市町教育委員会に取り組んでいただきました。研究指定校と協力園が、計画的に連携・交流し、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続に向けた実践・検証をしていただきました。本実践事例集は、その研究成果をまとめたものです。

本実践事例集が「接続期プログラム」と併せて活用され、子供の発達や学びの連続性を踏まえた教育活動の展開の一助となり、幼稚園・保育所と小学校の連携が更に深まることを心から願っております。

結びに、本実践事例集の作成並びに「接続期プログラムの実践及び検証に係る研究」において、御指導いただきました東京成徳短期大学教授和田信行様、また、熱心に研究に取り組んでいただくとともに、本実践事例集の作成に当たり貴重な御意見や資料提供をいただきました研究委嘱市町教育委員会並びに研究指定校、協力園の皆様にご心から感謝申し上げます。

平成25年3月

埼玉県教育局市町村支援部家庭地域連携課長
及川 孝之

目 次

1 「接続期プログラム」実践事例集の活用について	1
※幼・保・小連携段階表	
2 各地区の取組（教育委員会・研究協力校・研究協力園）	
○川口市	2～15
・川口市立並木小学校	
・学校法人文化学園 川口文化幼稚園	
・学校法人文化学園 並木南保育所	
○滑川町	16～31
・滑川町立宮前小学校	
・滑川町立滑川幼稚園	
・社会福祉法人育成舎 ハルム保育園	
○秩父市	32～47
・秩父市立吉田小学校	
・秩父市立吉田幼稚園	
・秩父市立吉田保育所	
○加須市	48～63
・加須市立志多見小学校	
・加須市立志多見幼稚園	
・加須市立第三保育所	
3 参考資料	
(1) 子育ての目安「3つのめばえ」	64～65
(2) 「接続期プログラム」	
①生活や学びのつながり	66～67
②カリキュラム作成の 配慮と工夫のポイント	68～69
(3) 幼少期教育関連資料等一覧	70

1 「接続期プログラム」実践事例集の活用について

本実践事例集は、県内4市町の研究指定校・協力園における1年間の実践内容をまとめたものです。「接続期プログラム」に基づいた、幼稚園・保育所におけるアプローチカリキュラムや小学校におけるスタートカリキュラムの他に、各研究指定校及び協力園の状況や概要、年度当初の連携段階（幼・保・小連携段階表参照）、年間の計画も掲載しています。今後、各学校・施設が実態に応じて、どのように幼・保・小の連携を推進していくか、計画を立てる際の参考として御活用ください。

幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指し、連携・接続の取組を後戻りせずに進めていくためには、各教育委員会等がリーダーシップを発揮して、各学校・施設が連携から接続へと発展する過程を共有し、組織的・計画的に取り組むことが必要です。下記の【幼・保・小連携段階表】で、各教育委員会・各学校・施設における取組が、どの段階に該当するか確認し、連携・接続を進める上での参考としてください。

※64～65ページには、子育ての目安「3つのめばえ」、66～69ページには、「接続期プログラム」の一部を掲載していますので、併せて御活用ください。

【参考資料・活用場面の例】

- ①アプローチカリキュラムの作成のための資料として（幼稚園・保育所）
- ②スタートカリキュラムの作成のための資料として（小学校）
- ③幼・保・小の教職員の連携の資料として（幼稚園・保育所・小学校）

【幼・保・小連携段階表】

連携から接続へと発展する過程のおおまかな目安と支援方策

ステップ0	連携の予定・計画がまだ無い。 ⇒地方公共団体が連携の重要性を理解するための教職員向け説明会・研修会等を開催するなど、連携に向けた環境づくりが必要。連携・接続のために各学校・施設同士の合意ができる環境を整えていく。
ステップ1	連携・接続に着手したいが、まだ検討中である。 ⇒教育委員会等の支援のもと、各学校・施設に担当者を置き、定期的に意見交換会を開催。意見交換の中から、交流授業、行事などを企画・実施し、子供同士の交流、教職員の交流を推進。その際、各学校・施設では全教職員の理解と協力のもとで行われるよう留意。
ステップ2	年数回の授業、行事、研究会などの交流はあるが、接続を見通した教育課程の編成・実施は行われていない。 ⇒年数回の授業、行事、研究会などを年間指導計画などに位置付けて実施。事前だけでなく事後の反省・検証を行うことで次につなげていく。教育委員会等の主催・支援のもと、接続を見通した教育課程の編成・実施に向けた取組を始める。
ステップ3	授業、行事、研究会などの交流が充実し、接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている。 ⇒恒常的な授業、行事、研究会などの交流に発展。連携の実施を踏まえ、接続を見通した教育課程を編成・実施する。
ステップ4	接続を見通して編成・実施された教育課程について、実践結果を踏まえて、更によりよいものとなるよう検討が行われている。 ⇒接続を見通した教育課程を編成・実施するとともに、学期末ごとや年度末に事後の反省・検証を行うことにより、PDCAサイクルを確立し、次年度以降の改善につなげる。

幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方に関する調査研究協力者会議
「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について」（報告）平成22年11月11日

2 各地区の取組

川口市の取組

1 研究主題

「地域の人との絆を深める幼・保・小の連携教育の推進」

2 ねらい

子供の育ちや学びの連続性を踏まえ、幼児期から小学校1年生の接続の時期における生活や学習の工夫について研究する。

3 研究指定校・研究協力園の状況（平成24年5月1日現在）

	学校名・園（所）名	児童・幼児数	学級数	教職員数
研究指定校	川口市立並木小学校	640名	19学級	33名
研究協力園	学校法人文化学園 川口文化幼稚園	214名	9学級	19名
	学校法人文化学園 並木南保育所	112名	5学級	15名

<研究指定校・研究協力園の概要等>

【川口市立並木小学校】

校訓「健康・勤勉・敬愛」

学校教育目標「知・徳・体の調和のとれた心豊かなたくましい児童の育成」

めざす学校像「学校・家庭・地域が一体となって共育を進め、生きる力を育む学校」

めざす児童像「元気な子（心と体 すくすく）

進んで学ぶ子（学び わくわく）

豊かにかかわる子（人と にこにこ）」

今年度スローガン「児童と家庭と地域の絆を結ぶ学校教育」

川口市の西部、JR西川口駅前の商店街と住宅地の混合地域にあり、開校59年目を迎えた。校訓「健康・勤勉・敬愛」のもと、長年にわたり、「健康教育」の研究と実践を継続、推進している。

【学校法人文化学園 川口文化幼稚園】

教育方針

1. 幼児の心身の調和を図り、健全な心身の基礎を養う。
2. 基本的な生活習慣と正しい社会態度を育成し、豊かな情操を養い、道徳性の芽生えをつちかう。
3. 自然及び社会の事象について興味や関心をもたせ、思考力の芽生えをつちかう。
4. 人の話をきく正しい態度を養うとともに、ことばの正しい使い方を身に付ける。
5. 幼児に自主的、自発的な活動を促し、自立の精神を養う。
6. 幼児の心身の発達の実情をよく理解し、その個人差に応じて適切な指導を行う。
7. 家庭との連絡を密にし、家庭における教育と相まって教育の効果をあげる。

昭和24年に設立された、川口で最も長い歴史を誇る幼稚園であり、「おおらか、さわやか、のびやか」な子供になるような保育を行っている。

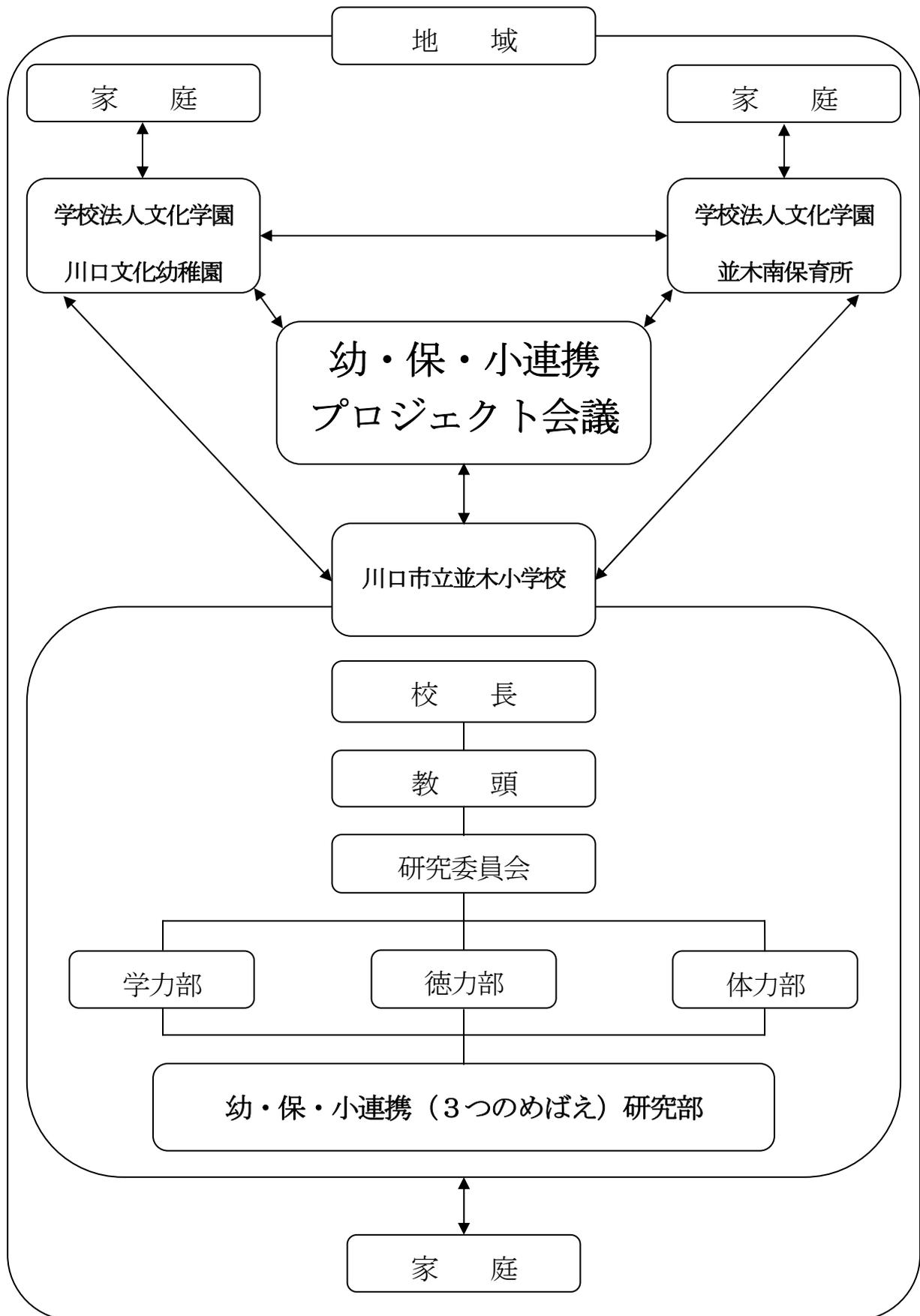
【学校法人文化学園 並木南保育所】

- 教育方針
- ・愛情豊かな子ども
 - ・健康で活動的な子ども
 - ・よく見、よくきき、よく考える子ども

学校法人文化学園が運営する公設民営の保育所であり、保護者が労働・病気・出産等の事情により、児童の保育をすることができない場合における児童の保育を目的としている。

研究協力園は、研究指定校に立地的に最も近い幼稚園と保育所であるとともに、同一の学校法人が運営している。また、研究指定校と並木南保育所は、生活科の学習を通しての交流が永年にわたり続いている。そこで、本研究を進めるにあたり、移動や連携、交流のしやすさ等を考慮し、協力を仰いだ。

4 幼・保・小連携のための組織



5 事業の年間計画（年度当初の連携の段階 ステップ2）※参考資料P1「幼・保・小連携段階表」

川口市立並木小学校・川口文化幼稚園・並木南保育所

時 期	研修会・連絡協議会等	参加対象教職員		
		小学校	幼稚園	保育所
6月	○研究推進のための連絡会 ・研究の進め方について ・「接続期プログラム」の活用について	○	○	○
7月	○小学校1年生の授業研究会 ・幼・保・小教職員の意見交換 ・実態把握のまとめ	○	○	○
	○研究推進のための連絡会 ・小学校1年生における生活や学習の工夫について ・幼・保・小教職員の意見交換	○	○	○
8月	○研究推進のための連絡会 ・「スタートカリキュラム」の取組について （成果と課題） ・幼児期の教育の成果を踏まえた小学校教育の在り方について ・つながりのある教育計画の検討	○	○	○
9月	○小学校運動会への園児の参加 ・1年学年種目「玉入れ」への参加を通じた交流 ・新入学児競走への参加	○	○	○
10月	○研究推進のための連絡会 ・「アプローチカリキュラム」について ・就学前説明会の在り方について	○	○	○
	○並木っ子まつりへの参加 ・小2生活科の学習への参加を通じた交流	○	○	○
11月	○協力園による研究保育 ・保育参観 ・幼・保・小教職員の意見交換	○	○	○
12月	○就学前説明会の実施（幼・保）		○	○
1月	○就学前説明会の実施（小）	○		
2月	○研究推進のための連絡会 ・アプローチカリキュラムの実践 ・実践事例集について	○	○	○
	○保育所交流 ・小1生活科の学習への参加を通じた交流	○	○	○
3月	○研究のまとめ	○	○	○

※ 保護者との連携

5月 親子歯みがき教室

7月 歯科講話（1年生保護者対象）

1月 新入学児童保護者説明会（子育て講話の実施）

※ 地域との連携

6月 まごころ活動

10月 三世代ふれあい活動

6 研究の具体的な取組

(1) アプローチカリキュラム (1月～3月) 【川口文化幼稚園】

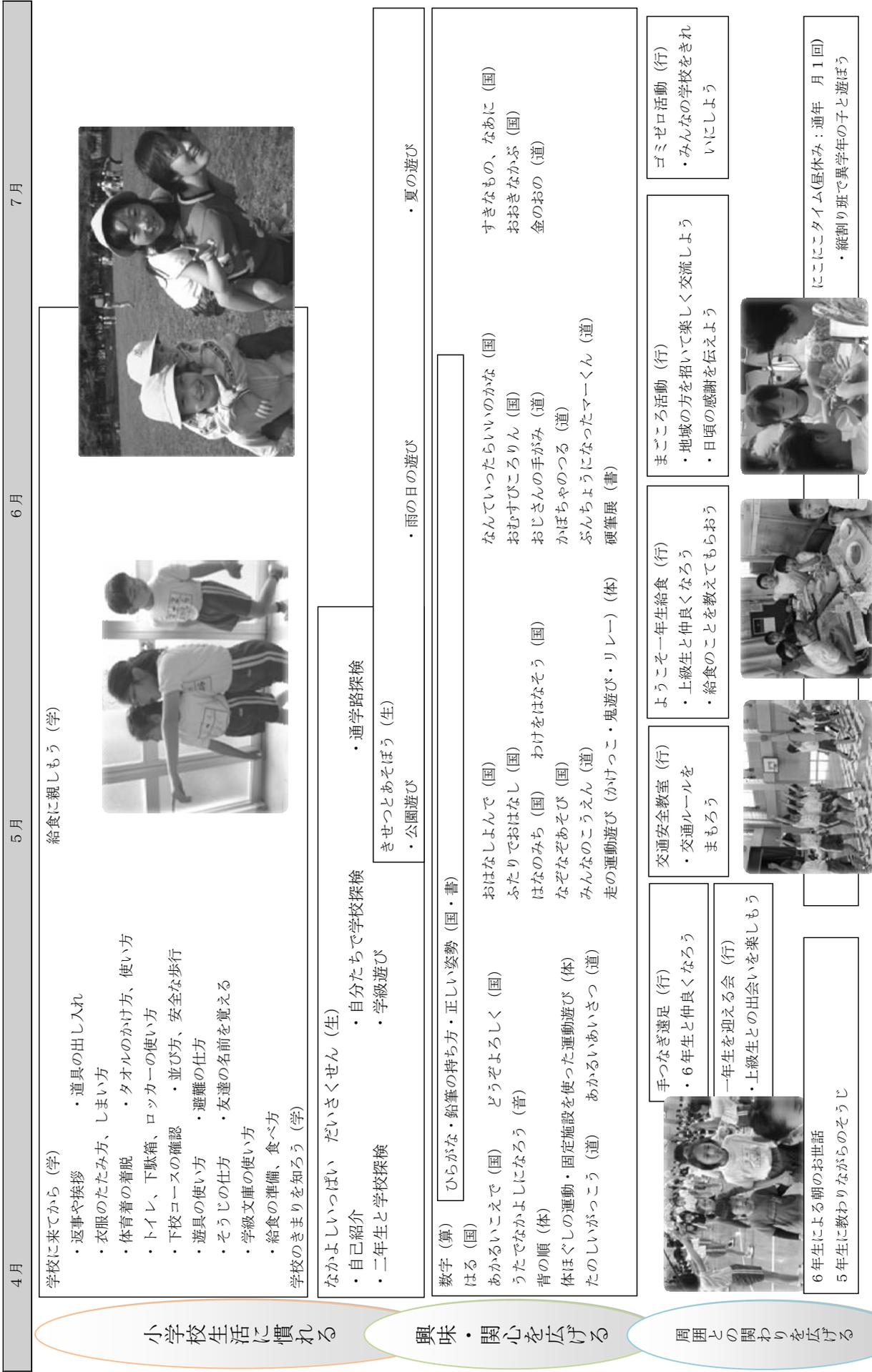
		1 月 ～ 3 月
ね ら い		<ul style="list-style-type: none"> ・ ちょうちよ結びや三つ編みの練習を行う。 ・ 交流会を通して小学校への興味や関心を深める。 ・ ドッジボールなどのゲームを通し、クラスの団結や協調性を深め達成感を味わう。 ・ 友達と一緒に好きな遊びを楽しみ、園生活の思い出を深める。 ・ 成長した喜びや感謝の気持ち、就学への期待と自覚をもつ。
主 な 活 動		<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食袋の紐を結ぶ。 ・ 縄跳びの縄を結ぶ。 ・ 美容院ごっこで髪の毛を結んだり、三つ編みをしたりする。 ・ 小学校に関する絵本を読む。 ・ 文字の勉強や切り絵でランドセルを作る。 ・ 自由遊びや、体操指導にドッジボールの時間を作る。 ・ 共通のルールを理解して、様々なゲームを取り入れる。 ・ 年少や年中とお別れ会をし、全園児と交流を深める。 ・ 戸外に出る時間を増やす。 ・ 就学でそれぞれが行く小学校に関するの発表会をする。 ・ 卒園式の練習をする。 ・ お弁当箱を自分で洗い、お父さん・お母さんへ手紙を書く。
保 育 者 の 援 助		<ul style="list-style-type: none"> ・ 手を添えて、一緒にちょうちよ結びをする。 ・ ビーズ遊びを通して、細かい作業をして、手先を集中させる。 ・ 文字の勉強中は、小学校の授業のような環境を作る。 ・ 小学校での一日の流れや、どんなことをするかの話をする。 ・ 最初は保育者がリーダーとなり進めていき、慣れてきたら子供たちだけで楽しむ。 ・ ドッジボール大会を行い、順位を出しクラス全員で団結し勝負する。 ・ 保育者も遊びご加わり、子供たちが好むような遊びを提供する。 ・ クラス全員で遊べるゲームを考え、みんなで楽しむ。 ・ 年少・年中時の担任と話し合い、一人一人がどのようなことが出来るようになってきたかを伝え合い、子供たちへ手紙を書く。 ・ 苦手だったり、難しかったりすることに最初は一人でチャレンジし、状況に応じて保育者が援助を行い、出来るようになってきた時の喜びを一緒に味わい自信がもてるようにする。 ・ 卒園式の練習を通して大きくなっただけのこと、いつも見守ってくれている保護者へ感謝の気持ちをもちようとする。
保 護 者 の 支 援		<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者から縄などを結べるように声掛けを行う。 ・ 小学校へ向け、ランドセルや勉強机を購入し、就学への家庭環境を整える。 ・ 降園後、広場などで仲のよい友達と好きな遊びを楽しむ。 ・ 降園後、友達と遊ぶなど交流の時間を増やす。 ・ 子供の苦手なことに一緒に取って取り組み、自信がもてるように背中を押す。

アプローチャリキュラム（1月～3月）【並木南保育所】

月	1月	2月	3月
ね	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活での決まりやルールを知り、守って生活する。 ・話したいことや、して欲しいことを相手に分かるようにはっきり伝える。 ・色々な事を追求し、協同的な活動を行える様な素材や用具を利用し、友達と協力して取り組む。 ・年長児の自覚をもち、下のクラスの児の世話を積極的に行いながら生活をする。 ・正しいマナーで給食を食べる。 ・靴を素早く履く事が出来るようにする。 ・気持ちを相手に分かるように話し、友達が話す事も注意して聞き、またそれらを受け入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な動植物に親しみ、触れたり世話をしたりしながら、生命の尊さに気付く。 ・話をしようとする人に自ら気付き、その人の顔を見ながら注意して話を聞く習慣を付ける。 ・縄跳びに触れ、楽しく遊ぶ中で縄の結び方を習得し、しっかりと管理出来るようにする。 ・表現する楽しさを感じながら、クラスで一つの事を成し遂げる達成感を体験する。 ・自分の周りの人の危険や安全を考え遊具や用具を使用する。また、それらの片付けを正しく行う。 ・文字や数量に興味をもち、遊びや生活に取り入れる。 ・楽器を演奏する楽しさを体験する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の入学を楽しみに、興味・関心をもつ。 ・友達との遊びの中で、ルールを考えたり意見を交換したりしながら、その遊びを発展させる楽しさを知る。 ・時間の見通しをつけ、事前に排泄を済ませたり、静かに着席して待たたりするなどの準備を行う。 ・ひらがなやカタカナ、数字の書き方を習得する。 ・ちようちよ結びや三つ編みの練習を行う。 ・ボールの正しい投げ方を知る。 ・鉄棒での逆上がりに挑戦する。
ら	<ul style="list-style-type: none"> ・先生や友達と、クラスや園での約束を確認し、それを守って生活する。 ・お当番活動を通して、クラス全体の前で発表する機会を設ける。 ・園庭で集団ゲームをしたり、鉄棒や縄跳びなどでしっかりと体を動かしたりして遊ぶ。 ・誕生会や、異年齢児との交流会に参加する。 ・食事のマナーや、箸の持ち方を再度確認しながら食べる。 ・靴を立てて履く練習を行う。 ・みんなでルールを話し合いながら集団でゲームをしたり、ごっこ遊びを楽しんだりして楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チューリップの球根に水をあげたり、金魚の餌を毎朝やったりする。 ・季節の製作活動を通して、説明する人の話に耳を傾け注意して聞く。 ・体育指導の中で、縄跳びをする機会を設ける。 ・お別れ会の発表を楽しみに、毎日練習に取り組む。 ・散歩に行き、色々な遊具を知り、それらで遊ぶ。 ・カルタ遊びや、トランプ遊びを楽しみながら、文字や数字に興味をもつ。 ・ピアニカ練習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昔遊びを通して小学生と触れ合い、入学ご期待を膨らませる。 ・月刊誌をクラス全体で読み進める。 ・体の不調や自分の気持ち、保育者に話そうとする。 ・文字ワークを行い、何度も繰り返し書いて、その文字を覚える。 ・結びやすい紐を使い、ちようちよ結びや三つ編みの練習を行う。 ・ドッジボールなどボールを投げる遊びを楽しむ。 ・体育指導を通して、鉄棒に触れる機会を増やす。
い	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで決まりやルールを話し合い決める事で、子供の認識を深めていく。 ・恥ずかしくて声が出せない児には、保育者が代弁するなどして、思いを言葉にする練習をしていく。 ・戸外にて遊ぶ機会を多く設け、ゲームの内容などを保育者が提案していく。 ・異年齢児と触れ合う行事を設け、関わるきっかけを作っていく。 ・食の大切さを絵本や紙芝居を通して児に伝えていき、全体でマナーを再確認する。 ・靴を立てて履く事で危険のないように見守り、必要に応じて援助していく。 ・保育者は、必要な時のみ話し合いに入る事を心掛けて、児の話し合いを尊重していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルを使用し、一人一人の植木鉢を作り球根を植える事で、より親しみをもてるようにする。 ・お当番が全体を注意するなどの決まりを作り、児自ら気付けて話を聞けるようにする。 ・体育講師に指導してもらおう事で、よりスムーズに縄跳びことけ込める環境を作る。 ・自分の役割を考え、それを貫けるように練習を進めていく中で、無理のないように配慮する。 ・遊具や道具の使い方を伝え、遊びの中でそれらを覚えていく中で、危険な場合は援助に入る。 ・カルタ遊びやトランプ遊びのルールを伝え、楽しく文字や数字に興味をもてるようにする。 ・最初は音階で練習したり、鍵盤に音階をふったり、練習しやすいようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生との交流を通して、小学生に対して憧れをもてるようにする。 ・時計を使い、時間になったら始める事を事前に伝える事で、児が準備しやすいようにする。 ・一人一人の体調管理を保育者も把握して、児の様子を見てこまめに声を掛けていく。 ・ワークを使用し、正しい文字が習得出来るように毎日練習をし、必要な家に持って帰り練習する。 ・結びやすい紐を用意し、一本ずつ色分けする事で、児が扱いやすいようにする。 ・ボールを投げるゲームのレパートリーを増やして児と一緒に楽しむ。 ・鉄棒頭張りカードを作り、鉄棒に対する児の意欲を引き出していく。
配	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい担任紹介や、クラスの決まりを掲示し保護者に理解してもらおう。 ・異年齢児の交流会である、お屋さんごっこに使用する物の回収に協力してもらおう。 ・家庭でも食事のマナーを身に付けてもらおうように呼び掛ける。 ・児が自分で脱ぎ履きしやすい運動靴を用意してもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会がある事を掲示し、交流会で小学生と遊んだ事を家庭に知らせ、話題にしてもらい、小学校に対する期待をさらに膨らませられようにする。 ・保護者がすべて保育者に伝えてしまいうのではなく、児に伝えてもらうように呼び掛ける。 ・体調の変化を密に家庭と話し合い、児一人一人の体調をしっかりと把握しておく。 ・児が扱いやすいための紐や、色別の紐を用意してもらおう。 ・鉄棒頭張りカードを公表し、児の頑張りを覚えてもらう中で親子一緒に目標に向かえるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生との交流を通して、小学生に対して憧れをもてるようにする。 ・時計を使い、時間になったら始める事を事前に伝える事で、児が準備しやすいようにする。 ・一人一人の体調管理を保育者も把握して、児の様子を見てこまめに声を掛けていく。 ・ワークを使用し、正しい文字が習得出来るように毎日練習をし、必要な家に持って帰り練習する。 ・結びやすい紐を用意し、一本ずつ色分けする事で、児が扱いやすいようにする。 ・ボールを投げるゲームのレパートリーを増やして児と一緒に楽しむ。 ・鉄棒頭張りカードを作り、鉄棒に対する児の意欲を引き出していく。
慮	<ul style="list-style-type: none"> ・球根を植えるペットボトルを1本ずつ用意してもらおう。 ・児が縄跳びを頑張っている事を伝え、休日には家でも練習してもらえるように呼び掛ける。 ・保育室に数字表や、ひらがな、カタカナ表を置き、親子で学べるようにする。 ・練習する曲の楽譜などを配布し、家庭でも自主的に練習に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球根を植えるペットボトルを1本ずつ用意してもらおう。 ・児が縄跳びを頑張っている事を伝え、休日には家でも練習してもらえるように呼び掛ける。 ・保育室に数字表や、ひらがな、カタカナ表を置き、親子で学べるようにする。 ・練習する曲の楽譜などを配布し、家庭でも自主的に練習に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会がある事を掲示し、交流会で小学生と遊んだ事を家庭に知らせ、話題にしてもらい、小学校に対する期待をさらに膨らませられようにする。 ・保護者がすべて保育者に伝えてしまいうのではなく、児に伝えてもらうように呼び掛ける。 ・体調の変化を密に家庭と話し合い、児一人一人の体調をしっかりと把握しておく。 ・児が扱いやすいための紐や、色別の紐を用意してもらおう。 ・鉄棒頭張りカードを公表し、児の頑張りを覚えてもらう中で親子一緒に目標に向かえるようにする。
保	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい担任紹介や、クラスの決まりを掲示し保護者に理解してもらおう。 ・異年齢児の交流会である、お屋さんごっこに使用する物の回収に協力してもらおう。 ・家庭でも食事のマナーを身に付けてもらおうように呼び掛ける。 ・児が自分で脱ぎ履きしやすい運動靴を用意してもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会がある事を掲示し、交流会で小学生と遊んだ事を家庭に知らせ、話題にしてもらい、小学校に対する期待をさらに膨らませられようにする。 ・保護者がすべて保育者に伝えてしまいうのではなく、児に伝えてもらうように呼び掛ける。 ・体調の変化を密に家庭と話し合い、児一人一人の体調をしっかりと把握しておく。 ・児が扱いやすいための紐や、色別の紐を用意してもらおう。 ・鉄棒頭張りカードを公表し、児の頑張りを覚えてもらう中で親子一緒に目標に向かえるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生との交流を通して、小学生に対して憧れをもてるようにする。 ・時計を使い、時間になったら始める事を事前に伝える事で、児が準備しやすいようにする。 ・一人一人の体調管理を保育者も把握して、児の様子を見てこまめに声を掛けていく。 ・ワークを使用し、正しい文字が習得出来るように毎日練習をし、必要な家に持って帰り練習する。 ・結びやすい紐を用意し、一本ずつ色分けする事で、児が扱いやすいようにする。 ・ボールを投げるゲームのレパートリーを増やして児と一緒に楽しむ。 ・鉄棒頭張りカードを作り、鉄棒に対する児の意欲を引き出していく。
護	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい担任紹介や、クラスの決まりを掲示し保護者に理解してもらおう。 ・異年齢児の交流会である、お屋さんごっこに使用する物の回収に協力してもらおう。 ・家庭でも食事のマナーを身に付けてもらおうように呼び掛ける。 ・児が自分で脱ぎ履きしやすい運動靴を用意してもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会がある事を掲示し、交流会で小学生と遊んだ事を家庭に知らせ、話題にしてもらい、小学校に対する期待をさらに膨らませられようにする。 ・保護者がすべて保育者に伝えてしまいうのではなく、児に伝えてもらうように呼び掛ける。 ・体調の変化を密に家庭と話し合い、児一人一人の体調をしっかりと把握しておく。 ・児が扱いやすいための紐や、色別の紐を用意してもらおう。 ・鉄棒頭張りカードを公表し、児の頑張りを覚えてもらう中で親子一緒に目標に向かえるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生との交流を通して、小学生に対して憧れをもてるようにする。 ・時計を使い、時間になったら始める事を事前に伝える事で、児が準備しやすいようにする。 ・一人一人の体調管理を保育者も把握して、児の様子を見てこまめに声を掛けていく。 ・ワークを使用し、正しい文字が習得出来るように毎日練習をし、必要な家に持って帰り練習する。 ・結びやすい紐を用意し、一本ずつ色分けする事で、児が扱いやすいようにする。 ・ボールを投げるゲームのレパートリーを増やして児と一緒に楽しむ。 ・鉄棒頭張りカードを作り、鉄棒に対する児の意欲を引き出していく。
者	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい担任紹介や、クラスの決まりを掲示し保護者に理解してもらおう。 ・異年齢児の交流会である、お屋さんごっこに使用する物の回収に協力してもらおう。 ・家庭でも食事のマナーを身に付けてもらおうように呼び掛ける。 ・児が自分で脱ぎ履きしやすい運動靴を用意してもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会がある事を掲示し、交流会で小学生と遊んだ事を家庭に知らせ、話題にしてもらい、小学校に対する期待をさらに膨らませられようにする。 ・保護者がすべて保育者に伝えてしまいうのではなく、児に伝えてもらうように呼び掛ける。 ・体調の変化を密に家庭と話し合い、児一人一人の体調をしっかりと把握しておく。 ・児が扱いやすいための紐や、色別の紐を用意してもらおう。 ・鉄棒頭張りカードを公表し、児の頑張りを覚えてもらう中で親子一緒に目標に向かえるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生との交流を通して、小学生に対して憧れをもてるようにする。 ・時計を使い、時間になったら始める事を事前に伝える事で、児が準備しやすいようにする。 ・一人一人の体調管理を保育者も把握して、児の様子を見てこまめに声を掛けていく。 ・ワークを使用し、正しい文字が習得出来るように毎日練習をし、必要な家に持って帰り練習する。 ・結びやすい紐を用意し、一本ずつ色分けする事で、児が扱いやすいようにする。 ・ボールを投げるゲームのレパートリーを増やして児と一緒に楽しむ。 ・鉄棒頭張りカードを作り、鉄棒に対する児の意欲を引き出していく。
支	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい担任紹介や、クラスの決まりを掲示し保護者に理解してもらおう。 ・異年齢児の交流会である、お屋さんごっこに使用する物の回収に協力してもらおう。 ・家庭でも食事のマナーを身に付けてもらおうように呼び掛ける。 ・児が自分で脱ぎ履きしやすい運動靴を用意してもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会がある事を掲示し、交流会で小学生と遊んだ事を家庭に知らせ、話題にしてもらい、小学校に対する期待をさらに膨らませられようにする。 ・保護者がすべて保育者に伝えてしまいうのではなく、児に伝えてもらうように呼び掛ける。 ・体調の変化を密に家庭と話し合い、児一人一人の体調をしっかりと把握しておく。 ・児が扱いやすいための紐や、色別の紐を用意してもらおう。 ・鉄棒頭張りカードを公表し、児の頑張りを覚えてもらう中で親子一緒に目標に向かえるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生との交流を通して、小学生に対して憧れをもてるようにする。 ・時計を使い、時間になったら始める事を事前に伝える事で、児が準備しやすいようにする。 ・一人一人の体調管理を保育者も把握して、児の様子を見てこまめに声を掛けていく。 ・ワークを使用し、正しい文字が習得出来るように毎日練習をし、必要な家に持って帰り練習する。 ・結びやすい紐を用意し、一本ずつ色分けする事で、児が扱いやすいようにする。 ・ボールを投げるゲームのレパートリーを増やして児と一緒に楽しむ。 ・鉄棒頭張りカードを作り、鉄棒に対する児の意欲を引き出していく。
援	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい担任紹介や、クラスの決まりを掲示し保護者に理解してもらおう。 ・異年齢児の交流会である、お屋さんごっこに使用する物の回収に協力してもらおう。 ・家庭でも食事のマナーを身に付けてもらおうように呼び掛ける。 ・児が自分で脱ぎ履きしやすい運動靴を用意してもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会がある事を掲示し、交流会で小学生と遊んだ事を家庭に知らせ、話題にしてもらい、小学校に対する期待をさらに膨らませられようにする。 ・保護者がすべて保育者に伝えてしまいうのではなく、児に伝えてもらうように呼び掛ける。 ・体調の変化を密に家庭と話し合い、児一人一人の体調をしっかりと把握しておく。 ・児が扱いやすいための紐や、色別の紐を用意してもらおう。 ・鉄棒頭張りカードを公表し、児の頑張りを覚えてもらう中で親子一緒に目標に向かえるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生との交流を通して、小学生に対して憧れをもてるようにする。 ・時計を使い、時間になったら始める事を事前に伝える事で、児が準備しやすいようにする。 ・一人一人の体調管理を保育者も把握して、児の様子を見てこまめに声を掛けていく。 ・ワークを使用し、正しい文字が習得出来るように毎日練習をし、必要な家に持って帰り練習する。 ・結びやすい紐を用意し、一本ずつ色分けする事で、児が扱いやすいようにする。 ・ボールを投げるゲームのレパートリーを増やして児と一緒に楽しむ。 ・鉄棒頭張りカードを作り、鉄棒に対する児の意欲を引き出していく。

(2) スタートカリキュラム

接続期における並木っ子スタートカリキュラム 全体図 ～子供たちに付けたい力～



小学校生活に慣れる

興味・関心を広げる

周囲との関わりを広げる

(3) 実践及び検証方法

【児童と園児の交流】(活動観察、児童のふり返りなどにより検証)

○学校行事「運動会1年生団体種目(玉入れ)への協力園園児の参加」

例年行っている「新入学児かけっこ」に加え、1年生の団体種目(玉入れ)に、協力園の園児に参加してもらった。短い時間ではあったが小学校の雰囲気に触れてもらうことができ、1年生は、玉を渡してあげたり、手を引いて退場したりと、お兄さん、お姉さんとして行動することができた。

○第2学年生活科「あそんで ためして くふうして」

協力園等の園児を「なみきっ子わくわくまつり」に招待し、2年生が自分たちで考えたゲームなどをして遊んだ。招かれた園児たちはゲームを楽しみ、折り紙で作ったおみやげに喜んでいて、また、招いた児童たちは、相手のことをよく考えて行動し、楽しさとともに充実感を味わっていた。

○第2学年生活科「ひろがれ わたし」

学級ごとに並木南保育所や並木保育所を訪問し、園児と触れ合うことを通して、幼い頃の自分をふり返るきっかけとなるとともに、自分自身の成長や成長を支えてくれた人たちの存在に気付くことができた。

○第1学年生活科「もう すぐ みんな にねんせい」

昔遊びの会を開き、協力園等の園児を招待した。自分たちが招待された「なみきっ子わくわくまつり」での2年生の様子を思い浮かべながら園児と触れ合い、もうすぐお兄さん、お姉さんになる意識を高めるとともに、楽しむことができた。

【1年生と他の学年の交流】(活動観察、児童のふり返りなどにより検証)

○にこにこ班(縦割り班)活動

毎月第1水曜日を「にこにこタイム」とし、運動場や体育館、教室等で遊ぶとともに、この班をもとに様々な活動を実施している。

○第1・2学年生活科「がっこうのなかをたんけんしよう」（にこにこ班の活用）

1年生と2年生がペアになり、2年生が校内を案内した。2年生の優しい対応に、1年生はうれしそうに校内を回っていた。

○学校行事「ようこそ1年生集会」（児童運営委員が司会進行）

2～6年生が迎える会の準備をし、体育館で行った。2～6年生の歓迎の気持ちを受け、1年生は喜びを感じるとともに、小学校生活への期待を高めていた。

○学校行事「手つなぎ遠足」（にこにこ班の活用）

1年生と6年生が手をつないで蕨市民公園に行き、にこにこ班（縦割り班）をもとにしたグループで遊んだ。優しく遊んでくれる6年生に、1年生はより親しみをを感じるようになった。

○学校行事「ようこそ1年生給食」

2～6年生の各学級に1年生が招待され、給食を一緒に食べた。1年生は各学級のもてなしに、とても喜び、楽しく過ごした。

○学校行事「全校徒歩遠足」（にこにこ班の活用）

全校で川口市グリーンセンターに歩いて行き、園内はにこにこ班（縦割り班）で遊んだり、昼食を食べたりした。いつもより長く班で活動することができ、より一層親交が深まった。

【保護者との連携】（活動観察、保護者の感想などにより検証）

○第1学年学級活動「歯みがきをしよう」（親子歯みがき教室）

1学期学校公開に合わせ、カラーテスターを用いた「親子歯みがき教室」を実施した。保護者からは、「磨き残しが多い箇所が分かった。」「小学校に入学しても、まだ手をかける必要がある。」等の感想が寄せられた。

○「歯科講話」（保護者対象）

7月授業参観終了後、1年生保護者を対象とした歯科講話を、学校歯科医の先生

に実施していただいた。最近の歯科保健について詳しく説明していただき、「あらためて歯みがきは大切だと思った。」「むし歯を放置する怖さを感じた。」等の感想が寄せられた。

○「新入学児童保護者説明会」

新入学児童保護者に対し、本校の学校教育方針などについて説明する機会を活用し、入学後の学習及び学校生活を円滑に送るため、入学までに定着させてほしい基本的な生活習慣や保健・安全面などについて説明するとともに、「埼玉県家庭教育アドバイザー」を招聘し、家庭や保護者の教育力向上をねらいとした「子育て講話」を実施した。ロールプレイも取り入れられた講話を通し、保護者間の親交も深まった。

【地域との連携】（活動観察、児童のふり返りなどにより検証）

○学校行事「まごころ活動」

地域の方々を学校に招待し、一緒に遊んだり、給食を食べたりした。本校で長年継続して取り組んでいる行事であり、地域の方々も大変楽しみにしている。この活動を通し、地域の中で多くの人に支えられていることを実感する児童も多い。

○「三世代ふれあい活動」

三世代に渡る地域の方々と、一緒に遊んだり、食事を楽しんだりした。並木地区社会福祉協議会や並木公民館等との協力により、長きにわたり取り組んでいる。地域への愛着、地域の一員としての自覚を育むよい機会となっている。

○第1学年生活科『もうすぐみんなにねんせい』における昔遊びの会に向けた昔遊び講座」

協力園等の園児を招待する『昔遊びの会』に向けて、地域の方をお招きして『昔遊び講座』を行った。紙飛行機作りや空気鉄砲の紹介などを行っていただき、1年生の昔遊びに対する興味・関心、協力園児を本校に迎えて行う『昔遊びの会』に向けての意欲の向上につながった。

【職員間の連携】（職員の感想などにより検証）

○「幼・保・小連携プロジェクト会議」

研究協力園よりそれぞれ3名の方に出席していただき、本研究について協議した。第1回には研究概要の説明とスタートカリキュラムの検証報告を、第1回～第3回にかけて、アプローチカリキュラム作成・改善に向けた意見交換を行った。互いの思いや考えを知ることで、本研究を進める礎となった。

○「文化学園職員による並木小学校の研修会への参加」

並木小学校で実施した特別支援教育研修会に、文化学園職員4名の方に参加していただいた。ともに研修に取り組むことで、教育に対する思い、悩みなどの共有が図られた。

○「並木小学校職員による保育所見学」

並木南保育所に並木小学校職員6名が訪問し、通園している園児の様子を見学させていただいた。5歳児と一緒に昼食をとり、園児の小学校に対する期待と不安を聞くとともに、小学生の食事の様子との違いなどに気付くことができた。

(4) その他

【連絡体制について】

本校が本研究を進めるにあたり、大変苦慮したのが協力園との連絡である。連携行事一つを実施するにあたって、それぞれの行事予定や児童及び園児の体調などに左右されることが多かったからである。都市部の小学校と私立幼稚園及び保育所との連携の一例として、今年度の連絡の流れを紹介する。

小学校の年間行事予定を協力園に知らせる → 依頼文（1回目）を提出 → 幼・保・小連携プロジェクト会議で呼びかける → 担当学年から電話連絡 → 担当学年から依頼文（2回目） → 連携行事の実施

平成24年7月9日(月)

川口文化幼稚園長 様

川口市立並木小学校
校長 ○○ ○○

「接続期プログラム」の実践及び検証に係る研究についてのお問い合わせ

日に日に夏の暑さが増す頃となりました。協力園の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動へのご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今年度も昨年度に引き続き、幼・保・小の連携教育にご協力いただき、誠にありがとうございます。本校では現在、今年度入学した1年生を中心に、ご協力いただいたことを踏まえて作成したスタートカリキュラムに取り組み、その検証を行っております。今後、さらに幼・保・小の連携を深めていくため、以下の取組へのご理解とご協力をお願いいたします。ご検討いただき、ご返信いただけますよう、よろしくお問い合わせいたします。

記

- 1 アプローチカリキュラムの作成と実践及び検証
小学校の学習や生活に滑らかに接続できるよう工夫された幼稚園と保育所年長児を対象としたカリキュラムを作成していただき、その実践と検証に取り組んでいただく。
- 2 幼・保・小連絡協議会の実施
互いの日常の実践を交流したり、今年度の連携に関わる学習や行事の予定について確認したりすることで、より円滑な「接続期プログラム」の作成や実践を進めていく。(下記の日程は本校の希望)
第1回幼・保・小連絡協議会
日 時 平成24年7月19日(木) 16:00～
場 所 並木小学校 会議室
- 3 並木小学校運動会への参加
9月15日(土)に実施予定である本校の運動会において、1年生と一緒に玉入れ競技に、年長児に参加していただく。
- 4 並木小学校学校公開日における幼・保職員の皆様の参観
10/27(土)と2/2(土)の本校の学校公開日に、幼稚園と保育所の職員の皆様に積極的に参観をしていただく。
- 5 並木小学校1・2年生の生活科への参観の参加
例年ご参加いただいている本校1・2年生の生活科の学習に、今年度も参加していただく。
- 6 並木小学校特別支援教育研修会への幼・保職員の皆様の参加
本校で8/27(月)に実施される特別支援教育研修会に幼稚園と保育所の職員の皆様に参加していただき、それぞれが抱えている特別支援が必要とされる子どもたちや保護者への対応等について研修する。
- 7 並木小学校教職員による幼稚園見学
本校の教職員が川口文化幼稚園の活動の様子を実際に見学させていただく機会を設けていただき、今後の研究の参考とさせていただきます。

はじめに、幼・保・小連携プロジェクト会議で、年間の主な連携行事等についてのお知らせとお願いをします。

日頃より、学校や学年のお便りを協力園に届け、行事予定をお知らせします。



連携行事等の1ヶ月程前になったら、協力園に依頼文(1回目)を届けたり、電話連絡をします。

連携行事等の概要が定まったら、要綱(依頼含む)を協力園に届けます。

その後も、日程や参加人数等について連絡を取り合い、連携行事等を実施します。

平成25年1月31日

並木南保育所長 様

川口市立並木小学校
校長 ○○ ○○

幼稚園・保育所との交流会(生活科)の実施について(依頼)

早春の候、日一日と春めいてまいりました。貴園におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、生活科の学習の一環として、毎年、貴所園児と本校1年生児童との交流会を実施させていただいております。

つきましては、ご多用の時間で大変恐縮に存じますが、本年度も下記のとおり実施させていただければ幸いです。何卒、ご理解の上、ご承認くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 ねらい ○幼稚園・保育所の年長園児を学校に招待し、園児と交流する中で自分の成長に気がき、新1年生を迎えようとする意欲を持たせる。
- 2 日 時 平成25年2月20日(水) 9:45～10:40
- 3 場 所 並木小学校体育館
- 4 園児及び児童 並木保育所園児 16名 並木南保育所園児 26名
並木小学校第1学年2・3組児童 39名
- 5 内 容
○ 9:45 係の児童が、園児を誘導し、体育館に入場します。
○ 9:50 始めの会
○ 9:55 交流活動(けん玉・お手玉・折り紙・カルタ・竹とんぼ・コマ)
○ 10:25 終わりの会
*並木小児童より感想表とプレゼント渡し(折り紙で作った輪飾りなど)
○ 10:40 係の児童が、園児を誘導し、昇降口で見送ります。
- 6 その他
・持ち物…上履きを持って来てください。
・正門側昇降口からお入りください。
・担当連絡先…並木小学校 第1学年主任 ○○ ○○
電話 (252) 5407

7 成果と課題

(1) 成果

- ・ スタートカリキュラムがあることで見通しがもちやすくなり、学年で足並みを揃えた指導を行うことができた。また、スタートカリキュラムは「他者との関係」を広げる上で効果が大きく、「生活」「興味・関心」の指導を行う際、内容が示しやすく、保護者と連携しやすかった。
- ・ 幼・保・小連携プロジェクト会議を立ち上げたことで、協力園との意見交換、情報交流が盛んになり、双方の思いや考えを伝え合うことができた。
- ・ 連携活動が増加し、園児と児童の交流や職員間の交流が密になり、より親しみをもって接することができるようになった。

(2) 課題

- ・ 授業時間のもち方や合科など、スタートカリキュラムの見直しが必要である。その際、協力園で作成していただいたアプローチカリキュラムとのつながりや内容を、細かく検討していく必要がある。
- ・ 連携を深めれば深めるほど、協力園との連絡が必要不可欠となるので、より円滑な連絡体制の構築が必要である。
- ・ アプローチカリキュラム作成にあたり、5歳児の4～12月の学習活動や、それ以前の学習活動とのつながり、積み重ねてきた子供たちの能力などとの深いかわりが明らかとなり、それらを十分に考慮したカリキュラムの作成が必要である。

滑川町の取組

1 研究主題

幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指した教育の実践
～幼・保・小連携・交流の取組～

2 ねらい

幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指し、「接続期プログラム」に基づき、子供の発達や学びの連続性を踏まえた接続のあり方の実践研究を行う。

3 研究指定校・研究協力園の状況（平成24年5月1日現在）

	学校名・園（所）名	児童・幼児数	学級数	教職員数
研究指定校	滑川町立宮前小学校	420名	14学級	32名
研究協力園	滑川町立滑川幼稚園	302名	12学級	26名
	社会福祉法人育成舎ハルム保育園	151名	7学級	28名

<研究指定校・研究協力園の概要等>

滑川町は、埼玉県のほぼ中央部、首都60km圏に位置し、東西約4.8km、南北約7.2km、面積約29.71平方キロメートル。全町域の60%がなだらかな丘陵地から成り、北東部には国営武蔵丘陵森林公園が広がっている。町の中央を滑川が、南東部を市野川が流れている。その滑川を境に、北部は農村地帯、南部は住宅と工業地帯である。

本校は、平成24年度、埼玉県教育委員会の指定を受け、滑川町立滑川幼稚園（協力園）、育成舎ハルム保育園（協力園）と連携し、「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方」の研究に取り組んだ。本校と滑川幼稚園は隣接しており、ハルム保育園も宮前小学校より徒歩10分程度の位置にある。

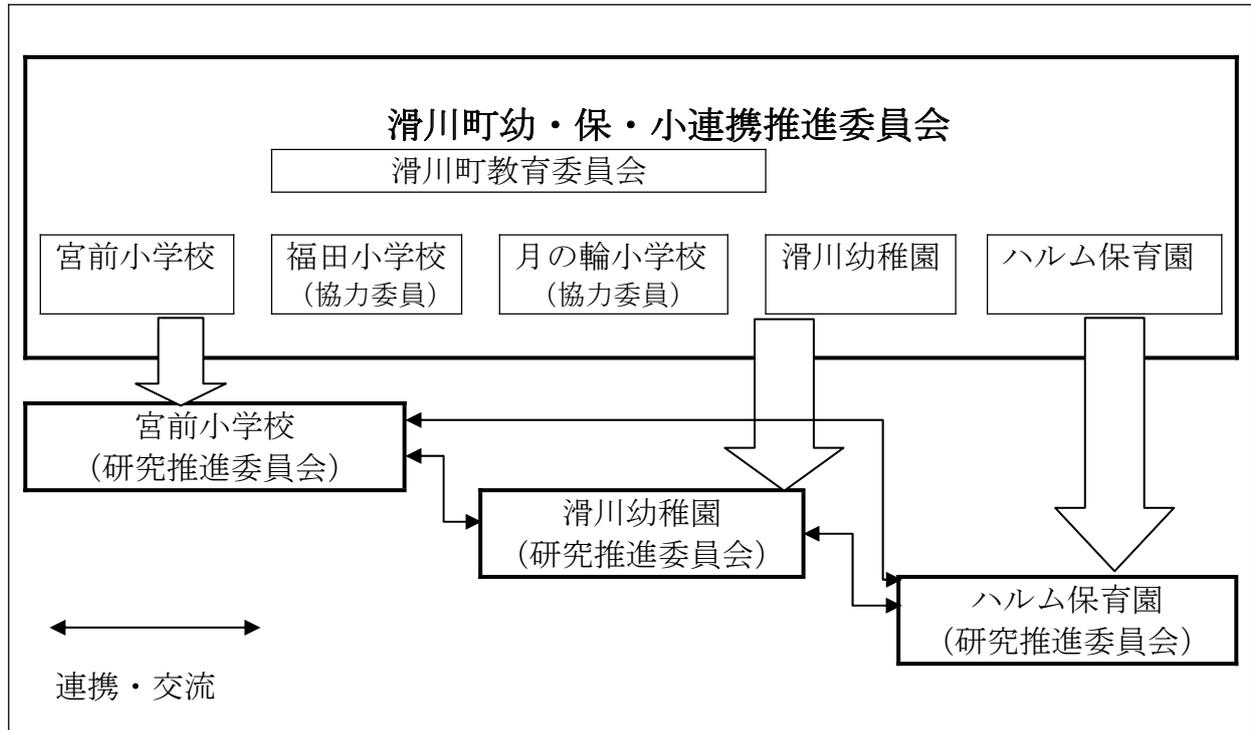
この研究は、幼児期の教育と小学校教育の接続の視点から子供の生活や学び方等、特に工夫が必要であると思われる時期を「接続期」として捉え、下記の仮説のもと研究を行った。なお、本年度は、カリキュラムの作成と実践を同時並行的に行っているため、小学校・幼稚園・保育園の交流についての実践の様子について紹介する。

仮説

○子育ての目安「3つのめばえ」（「生活」・「他者との関係」・「興味・関心」）を基に幼稚園・保育園の教育課程を見直し、アプローチカリキュラムを作成して教育活動・保育活動を行えば、幼児期から児童期へ円滑につなげることができるだろう。

○幼児期の生活体験や学びの実態をふまえ、入学当初の一定期間のスタートカリキュラムを作成し、生活科と他教科との合科的な指導を行えば、児童期の自立や自覚が積極的にうながされ、滑らかな学びへとつなげることができるだろう。

4 幼・保・小連携のための組織



5 事業の年間計画（年度当初の連携の段階 ステップ2）

※参考資料P1「幼・保・小連携段階表」

滑川町立宮前小学校・滑川幼稚園・ハルム保育園

時 期	研修会・連絡会等	参加対象教職員		
		小学校	幼稚園	保育園
4月	第1回滑川町幼・保・小連携推進準備委員会	○		
	宮前小学校研究推進委員会	○		
5月	宮前小学校研究推進委員会	○		
	第2回滑川町幼・保・小連携推進準備委員会	○		
6月	宮前小学校運動会（園児招待）	○		
	宮前小学校研究推進委員会	○		
7月	第1回滑川町幼・保・小連携推進委員会	○	○	○
9月	第2回滑川町幼・保・小連携推進委員会	○	○	○
	園児（幼稚園、保育園）宮前小環境体験	○	○	○
	宮前小児童滑川幼稚園児交流	○	○	
10月	第3回滑川町幼・保・小連携推進委員会	○	○	○
	宮小フェスティバル（園児招待）	○	○	○
11月	幼・保・小相互授業参観	○	○	○
1月	第4回滑川町幼・保・小連携推進委員会	○	○	○
	幼・保・小連携推進研修会（講演会）	○	○	○
2月	園児（幼稚園、保育園）宮前小児童交流会	○	○	○
3月	幼・小連絡会、保・小連絡会	○	○	○
	第5回滑川町幼・保・小連携推進委員会	○	○	○

6 研究の具体的な取組

(1) アプローチカリキュラム(1～3月)

○幼稚園

平成24年度 アプローチカリキュラム

5歳児(3年保育) 滑川町立滑川幼稚園

月	1月	～	3月
幼保小交流接続	<ul style="list-style-type: none"> ・ハルム保育園との交流 ・新入児入学説明会(保護者のみ) ・1日入学(福田小) ・小学校体験交流会 <ul style="list-style-type: none"> ・幼小連絡協議会 ・幼稚園指導要録提出 		
生活	<p><健康で安全な生活をする></p> <ul style="list-style-type: none"> ・左手を添えて三角食べて食べる。 → マナーを守って決められた時間内で食べる。(20分) ・友達と一緒に鬼ごっこなどのルールのある遊びを楽しみ、戸外で積極的に遊ぶ。 → 縄跳びに繰り返し挑戦し体を十分に動かす。 <p><自分のことは自分です></p> <ul style="list-style-type: none"> ・決められた場所に正しく所持品の始末をする。(ロッカー、引き出し) → 決められた時間内に朝や帰りの身支度をする。 		
	<p><物を大切に使う></p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同で遊具を使い、協力して片付けをする。 → ・折り紙、ガムテープなどの使う量を守る。 → 作ったものに愛着をもち大切に使う。(決められた枚数、長さ) → 		
安全	<p><友達と一緒に遊ぶ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年少、年中児と遊ぶ中で、優しさや思いやりをもつ。 → ・友達とのかかわりを深めながら共通の目的に向かって取り組み、充実感を味わう。 → ドッジボールやサッカーなど集団で行う遊びを自分たちで進める。 ・友達の意見や思いに気付き、互いの良さを認め合いながら遊びを進めていく。 → <p><言葉で伝え合う></p> <ul style="list-style-type: none"> ・その場に合った挨拶がきちんとできる。 → 自ら進んで挨拶をする。 → ・先生や友達の話をしっかり最後まで聞き理解する。 → 自分の思いや考えを先生や友達の前で話す。 ・自分の思いを自分の言葉で伝える。 → 友達とのトラブルが起きた時、自分たちで解決しようとする。 <p><決まりや約束を守る></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団での行動を通して、時間を守ることの大切さを知る。 → 時計を意識し、見通しをもって生活をする。 ・先生の話や話を聞くときは静かにする。 → 就学することを意識して、話を集中して聞く。 ・やっぴいこと悪いことが分かる。 → 人の迷惑にならないように考えながら行動する。 		
	<p><好奇心や探究心をもっているいろいろなものにかかわる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・氷や霜柱など、冬の自然の不思議さや面白さを感じる。 → 草花や木々の様子、気温の変化から季節の移り変わりを感じる。 ・1年間行ってきたうさぎ当番の仕事を年中組に引き継ぐ。 → ・長編の童話や物語を聞くことを楽しむ。 → <p><文字や数量などの感覚を豊かにする></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で人数や物の数を数えたり比べたりする。 → 掲示物などに興味をもち、読んだり書いたりしようとする。 ・カルタやすごろく、手紙を書くことなどを楽しむ。 → <p><自分の思いを表現する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思ったことや経験したことを言葉で表現しようとする。 → 大勢の前で思ったことや経験したことを発表する。 		
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・幼小交流だより(写真、アンケート結果のお知らせ) ・園便り(毎月) ・学年便り(毎月) <ul style="list-style-type: none"> ・保育参観 ・学級懇談会 ・保育参加 ・園PTA合同講演会(就学に向けて) <ul style="list-style-type: none"> ・個人面談 		

○保育園

アプローチカリキュラム ジョイント期

社会福祉法人育成舎 ハルム保育園

期		1月-3月	
幼保小交流接続	小学校児童との交流	・小学校体験交流(2月)	
	幼稚園幼児との交流	・幼稚園の園児と交流(2月)	
	施設の利用	・教室、校庭利用(2~3月)	
	指導者の交流	・保小連絡協議会(2月) ・保育指導要録提出(3月)	
協同的な活動		・生活発表会(2月)	
子育ての目安「3つのめばえ」	生活	健康	<p><保育者や友達と食べることを楽しむ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の食べられる量を認識し、一定の時間内で残さず食べる。 ・食べ物や食器の扱いが分かり、食事の準備や片付けを積極的に行おうとする。 <p><戸外で体を動かす></p> <ul style="list-style-type: none"> ・寒さに負けず戸外へ出て、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ・競い合ったり応援する中で、自分や友達の力を認め合う。 ・集団で行うゲームやスポーツを通して、ルールを決めたり守ることを知る。 <p><安全に気をつけて行動する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園生活での約束事や戸外、保育室での過ごし方がわかり、危険なことを自ら察知したり回避する。また友達同士で知らせ合ったり、考えて行動する。 <p><生活に必要な活動を自分でする></p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬の健康な生活の仕方がわかり、自分で行う。自分や友達の体を大切に思う。 ・各活動の準備や片付けを意欲的に行う。 ・1日の生活に見通しをもちながら主体的に行動する。 ・午睡のない生活リズムに慣れていく。 ・自分の体調に合わせて休息する。 ・決まった時間に排泄を済ます。後始末は自分でい次に入る人のことを考えてきれいに使用する。
			人間関係
	興味・関心	言葉	<p><言葉をとおして保育者や友達と心を通わせる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの思いを考えながら、話をしたり、聞いたりする。 ・子供同士で意見の調整を行ったり、トラブルが起きた時には解決策を導き出そうとする。 ・担任以外の保育者や保護者など、誰の話でも耳を傾けられる態度を身に付ける。 <p><自分の思いを表現する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを言葉で表現する喜びを感じたり、友達の話を関心をもってじっくりと聞く。 <p><生活の中で文字や数量に触れる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや表現したいことを文字や記号を使って伝えたり、遊びに取り入れたりする。 ・長編のお話を数日間に渡って、次の展開を想像しながら楽しんで聞く。 ・表示や掲示物などに興味をもち、その意味を考えようとする。
		環境	<p><生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学への喜びや期待を膨らませる。 ・冬の自然や春の兆しに気が付き、興味をもったり、自然物を取り入れて遊んだりする。 ・大切に育ててきた動植物の世話を来年度の年長児に引き継ぎを行う。 <p><興味・関心をもったものに集中して取り組む></p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料や道具を目的に合わせて選び、様々な表現方法で表現しようとする。 ・気持ちを込めて歌ったり、友達と声や楽器で心を合わせることを心地よく感じる。
環境構成援助の留意点	表現	<ul style="list-style-type: none"> ・午睡をなくした後も、長時間保育の子供や個々の体調など、必要に応じて休憩ができるように配慮していく。 ・週や行事までの予定を視覚的に意識付けられるように掲示物等を利用して提示していく。 ・活動内容(運動遊び、合奏指導など)に応じて、クラス担任以外の保育者がかかわる機会をつくり、誰の話でも耳を傾けられる態度を身に付けていけるようにする。 ・椅子に座って活動する経験を増やしていく。 ・朝や帰りの集まりを活用し、皆の前で発表する機会をつくり、人前で自分の考えを話したり、友達の話を聞く態度を身に付けられるようにしていく。 ・毎朝、30分程度歩いたり、小学校まで歩いて遊びに行ったり、体力づくりや交通ルールを伝える機会をつくる。 ・園外へ出掛けた際には、公共物や道路標識などに興味をもってその意味を考えていけるようにする。 ・引き続き文字や数などに興味や関心もてるような活動(お屋さんごっこ、郵便ごっこ、人数確認など)を取り入れていく。 	
		保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・在園期間の子供の成長の姿を伝えていく。 ・生活習慣が自立できているかを確認し、必要に応じて、援助したり見直したりしてもらおう。 ・通学路を歩き、道順や交通ルールを確認する。

滑川町

(2) スタートカリキュラム

スタートカリキュラム【第1週 平成24年4月9日(月)～4月13日(金)】

【第1週のねらい】

1年生になったことを喜び、学校生活が不安なく過ごせるようにする。

	9日(月)	10日(火)	11日(水)	12日(木)	13日(金)	《〇環境整備 ☆支援 ◇準備資料等》
行事	入学式	通学班編成	身体測定		1年生を迎える会 簡単給食	〇教室・廊下・昇降口などに花飾りや「にゅうがくおめでとう」の飾りや春の絵などを掲示 〇教室の机・ロッカー、廊下のフック、傘立て、昇降口の靴箱等に記名シールを貼付 〇なかよし下校班のグループ表を掲示 〇なかよし下校の集合場所を教室のガラスに貼付 〇掃除は、6年生に依頼(4月中)
業前	朝の準備 ランドセルの中のものを机の中に入れる。 ランドセルをロッカーに入れる。	朝の準備 トイレの使い方 8:20～1の1 8:25～1の2 8:30～1の3	朝の準備 身体測定の準備 (着替え・並び方)	朝の準備	朝の準備 1年生を迎える会の準備 ・健康観察 ・並び方 ・体育館へ移動	☆身体測定の受け方について説明する。 ☆一人一人を温かく受容する。 ☆他園から入学してきた児童の人間関係作りに配慮する。
1		<学活> 8:30-9:15 ・健康観察 ・返事の仕方 ・ロッカーの使い方 ・ランドセルの入れ方	<学校行事> 身体測定 身長・体重・座高の計測	<くくく> 8:40-9:10 はじめてのなまえ 1年生を迎える会の練習	<児童会活動> 8:30-9:15 1年生を迎える会 宮前小の仲間入り 2～6年生ゲームをしたり、プレゼントをもらったりして楽しむ。	◇保護者への連絡事項の整理(学習面・生活面等) ◇学年便りの準備 ◇教科書、学年便り、手紙、その他の配布物の確認 ◇紙芝居等の準備 ◇掃除、業前活動の紙芝居等について6年生担任と打ち合わせ ◇下校の仕方についての打ち合わせ ◇身体測定について、養護教諭・教務部と打ち合わせ ◇通学班編成に向けて通学班の確認 ◇簡単給食についての打ち合わせ ◇給食当番表の作成
2	<学校行事> 入学式	<学校行事> 通学班編成 通学班の班長に教室に迎えにきてもらい、それぞれの教室に行く。	<くくく> ・鉛筆の持ち方 ・線の練習 (めだかのがっこう・はるののはらのえをかこう)→色ぬり	<がっかつ> 9:20-9:40 給食当番をきめよう	<せいかつ> 9:25-9:45 かだんのはな	
3	<はじめの学活> ・担任の自己紹介 ・呼名・返事	<がっかつ> 10:10～ ・くつ箱の使い方 ・下校の仕方	<たいいく> ・ならびっこ ・前へならえ	<さんすう> 10:00-10:30 かずとすうじ (導入)	<くくく> 9:55-10:15 <がっかつ> 10:20-10:40 <たのしいきゅうしょく> 10:50～配膳室へ 11:05～いただきます 11:20～ごちそうさま 11:20-11:30 片づけ 11:30-11:40 はみがき 11:40-帰りの用意 11:50に外に出る(クラスごと)	
4	なかよし下校の場所を親子で確認する。	10:40に外に出る(クラスごと)	10:40に外に出る(クラスごと)	10:40に外に出る(クラスごと)		・小学校生活に慣れるまでのスタートの期間は、15分単位のモジュール学習を実施しているため、時間割の区切りを点線で示している。 ・モジュール学習を実施しながらもチャイムで行動できるよう時間を意識した指導をしている。
5						
下校		11:00 なかよし下校	11:00 なかよし下校	11:00 なかよし下校	12:00 なかよし下校	

スタートカリキュラム【第2週 平成24年4月16日(月)～4月20日(金)】

【第2週のねらい】

友達との関わりの中で、楽しく遊んだり学習したりすることができる。

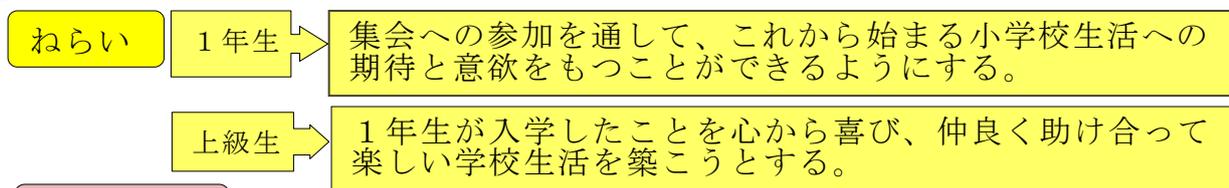
	16日(月)	17日(火)	18日(水)	19日(木)	20日(金)	《〇環境整備 ☆支援 ◇準備資料等》
行事		交通安全教室	授業参観	完全給食	心電図検査	〇時間割についての柔軟な対応 〇自分を紹介する用紙は大きく書けるようにB4の画用紙を用意(書き方の例) 〇授業参観に向けて「はじめてかいたなまえ」を掲示 〇校歌の掲示
業前	朝の準備	朝の準備	朝の準備	朝の準備	朝の準備 さわやかタイム (テラスから見学)	
1	<くくく> じぶんをしょうかいしよう	<学校行事> 交通安全教室	<さんすう> 8:45-9:15 かずとすうじ	<くくく> なかよし	<学校行事> 心電図検査	☆心電図検査について説明する。 ☆他園から入学してきた児童の人間関係づくりに配慮する。 ☆児童がしたことやできたことをしっかりと認めていく。
2	<さんすう> かずとすうじ	<くくく> じぶんをしょうかいしよう 発表の練習	<くくく> 9:25-9:50 なかよし 授業参観 <せいかつ> 10:00-10:30 国語で書いた自分紹介の発表 (なまえ・似顔絵好きなものの絵) 懇談会 懇談会中、1年生は 図工室でビデオ鑑賞(教務部)	<さんすう> かずとすうじ 「5」まで	<さんすう> かずとすうじ 「5」までかく	◇紙芝居の準備 ◇授業参観・懇談会に向けての資料作りと学年内の打ち合わせ ◇懇談会時に児童が待っている場所と内容について教務部と打ち合わせ ◇心電図検査について養護教諭と打ち合わせ ◇交通安全教室について、安全主任・2年生担任との打ち合わせ ◇完全給食についての打ち合わせ
3	<すこう> すきなものいっぱい	<さんすう> かずとすうじ		<たいいく> ゆうぐであそぼう ならびっこ	<たいいく> ゆうぐであそぼう ならびっこ	
4	<おんがく> こうかをおぼえよう	どうどく みやまえしょうがっこうのやくそく		<がっかつ> たのしいきゅうしよく 11:45～グループづくり 配膳室へ 配膳 12:10～いただきます 12:35～ごちそうさま かたづけ	<くくく> なかよし	自分の当番を確認して並べる。 当番以外は席について待つ。
5						
下校	12:00 なかよし下校	12:00 なかよし下校	11:40 親子下校	1:30 なかよし下校	1:30 なかよし下校	

(3) 実践および検証方法

◎宮前小学校の実践
 接続期プログラム年間計画

月	活 動	ねらい (○園児・◎児童・☆教諭)
4	1年生を迎える会	◎集会への参加を通して、これから始まる小学校生活への期待と意欲をもつ。
4	初めての給食	◎給食の準備や片付けの仕方を知り、みんなで楽しく食べることができる。
5	学校探検・学校の人となかよくなるろう	◎2年生に引率してもらい学校の中の施設や人々に興味をもつ。
5～3	なかよし活動	◎縦割り活動を通して人間関係を広げ、よりよい人間関係を築く
6	幼稚園・保育園の園児による小学校校庭散策	○校庭を散策することにより小学校の環境を知り興味をもつ。
6	運動会	○運動会に参加することにより校庭や児童の様子を知ることができる ◎園児に対し、気配りのある言動をとる。
7	生活科単元「みんなの公園で遊ぼう」・幼稚園の裏山のアスレチックで遊ぶ	◎ルールやマナーを守って遊具や自然物を使ってみんなで楽しく遊ぶ。
9	幼稚園児・保育園児の小学校施設体験	○教室や授業の様子を知り、小学校生活に興味をもつ。
9	幼稚園主催の「お月見団子づくり」・1年生参加	○十五夜の行事に興味や関心をもつ。 ○小学生と過ごす中で親しみをもつ。 ◎交流を通して友達を作ることができる。 ◎園児に対し、気配りのある言動をとる。
10	就学時健康診断	○小学校で健康診断を受ける。 ◎次年度6年生になる5年生が案内役を行い、人間関係をつくる。
10	宮小フェスティバル	○1年生が招待してくれた宮小フェスティバルに参加し一緒に遊んで友達になる。 ◎自分たちや園児が楽しめるお店を企画し、一緒に楽しく過ごす。
11	幼・保・小相互授業・保育参観	☆相互参観をすることにより、幼・保・小それぞれの様子を知る。
11	なかよし遠足	◎縦割りグループで活動することにより他学年と力を合わせたり助け合ったりしようとする。 ◎自然に触れ親しみ、自然を大切にしようとする。
2	幼・保・小交流会	○4月からの小学校生活に向けて、1年生との交流を通し、小学校生活を味わう。 ◎園児との交流を通して自分自身の成長を実感する。

① 1年生を迎える会



実践内容

<プログラム>

- | | |
|---------------------------|----------|
| 1 はじめの言葉 | 8 校長先生の話 |
| 2 1年生を迎えて(歓迎の挨拶) | 9 終わりの言葉 |
| 3 仲間入りのプレゼント(5年生作成のペンダント) | |
| 4 学年紹介 | |
| 5 お楽しみゲーム | |
| 6 1年生から一言(お礼の言葉を呼びかけで発表) | |
| 7 みんなで歌おう(校歌) | |

実践結果

・入学したばかりの1年生は、6年生に手をつないでもらい入場したり、手作りペンダントをもらったり、上級生とゲームをしたりという楽しい活動を行うことを通して、緊張感が薄れ、これから始まる小学校生活に大きな期待をもつことができた。

②学校探検

○2年生との学校探検

ねらい

1年生

2年生に引率してもらい、校舎内を歩いて回ること
で学校の中の施設や人々に興味をもつ。

2年生

1年生に校内を案内することにより、1年生と関わりをもつとともに自分自身の成長を感じることができる。

実践内容

- ・事前に1・2年の担任で打ち合わせを行い、校内地図などを準備。
- ・各クラス6班に分かれ、1年生と2年生でチームになり、2年生の案内で校内の地図を持ち、探検する。

実践結果

- ・2年生に手をつないで校内を案内してもらうことで、安心してわからないことを聞くことができ、また、どんな教室が小学校にあるのかを知ることができた。

○1年生だけの学校探検

ねらい

学校の施設や学校を支えている人々や自分たちの安全を守っている人々のことがわかる。

実践内容

- ・事前に教職員へ計画を連絡し、インタビューした先生から「〇〇先生カード」がもらえるようにしておく。
- ・1年生には、どんなことを先生方に聞きたいのかをグループで話し合い、インタビューカードを作成させておく。

先生は、この部屋でどんなお仕事をしているのですか？



実践結果

- ・2年生との学校探検を生かし、校内地図を持ち、計画的に探検できた。
- ・校内には、たくさんの先生がいて、子供たちのために色々な仕事をしていることがわかった。
- ・他学年の授業を参観することにより、上級生に対する憧れや学習への意欲も高まった。

新入児徒競走（宝探し）

ねらい

児童

園児に対し、気配りや気遣いのある言動をとる。

園児

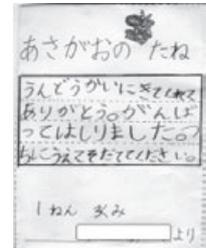
運動会に参加することにより小学校の校庭や児童の様子を知ることができる。

実践内容

- ・新入児種目である宝探しの参加賞を入れる封筒を1年生が色塗りをする。2年生が、1年生の時に育てた朝顔の種を入れて手紙を書く。
- ・5、6年生の係が、新入児のお世話をし、スタートラインに並ばせる。

実践結果

- ・1、2年生は新入児のことを考えて、参加賞の封筒の色塗りや、朝顔の種を入れた手紙を書くことができた。
- ・5、6年生は、緊張や不安でいっぱいの新入児に対して、優しい態度で接することができた。新入児は、楽しく宝探しに参加し、心のこもった参加賞をもらい喜んでいた。



③なかよし遠足

ねらい

- ・縦割りグループで活動することにより、他学年と力を合わせたり、助け合ったりしようとする態度を育てる。
- ・自然にふれ親しむことにより、自然を大切にしようとする態度を育てる。

実践内容

- ・なかよし活動と位置付けて、縦割りグループの活動を4月から行ってきた。(主に、なかよしタイム～毎週木曜日の昼休み)
- ・事前に、各なかよし班で6年生のリーダーを中心に、森林公園での活動計画や係分担を話し合った。
- ・縦割りグループごとに、徒歩で森林公園へ行き、グループごとに決めた計画に沿って活動をした。

実践結果

- ・1年生は、他学年の児童の助けや、励ましもあり、楽しく活動することができた。
- ・園内では、グループごとに考えた遊びを、高学年を中心に、協力しながら行うことができた。
- ・学年を超えて、一緒にお弁当を食べるなど仲よく活動することができた。

④宮小フェスティバル

ねらい

園児

- ・1年生が招待してくれた宮小フェスティバルに楽しみながら参加することにより、小学校生活に期待をもつ。
- ・1年生と一緒に遊んで友達になる。

児童

- ・宮小フェスティバルについて考え、自分たちが楽しむとともに、他学年や園児が楽しく遊べるようなお店を企画し、互いに協力し合うことができる。
- ・自分たちで作ったお店の運営をしたり、友達と楽しくお店をまわったり、楽しく過ごすことができる。

実践内容

- ・1年生は「あきのおもちゃであそぼう」の生活科の単元でお店を今年度より企画し、運営した。
- ・事前にクラスごとに考えた、どんぐりやまつぼっくりなどを使ったおもちゃを作ったり、ポスターを描いたりした。
- ・1年生が、滑川幼稚園・ハルム保育園の年長児宛に、宮小フェスティバルへの招待状を書いた。



実践結果

- ・はじめのうちは恥ずかしがっていたが、慣れてくると大きな声でお店の呼び込みをしたり、ゲームの説明をしたりできるようになった。
- ・他学年や園児、保護者と一緒に楽しく遊んだり、優しい態度で接したりすることができた。
- ・幼稚園で行った月見団子づくりの時よりも、さらに園児と1年生との距離が縮まり、話をしたり、お互いに楽しそうに活動したりしていた。



⑤就学時健診

ねらい

5年生

次年度6年生になる5年生が案内役を行い、人間関係をつくる。

園児

小学校で、健康診断を受ける。

実践内容

- ・次年度、宮前小のリーダーとなる5年生が、新1年生となる園児たちを各健診教室等へ案内し、お世話をする。

実践結果

- ・5年生が園児たちを並ばせたり、トイレに連れて行ったり、泣いている子にやさしく声をかけたり、よく面倒をみていた。
- ・園児は、5年生児童と触れ合うことで、入学後の関わりがスムーズになると考えている。

⑥幼・保・小職員相互授業・保育参観

ねらい

それぞれの園や小学校の保育参観や授業参観をすることにより、今後のアプローチカリキュラムやスタートカリキュラムに生かしていく。

実践内容

- ・2学期に「幼・保・小相互参観期間」を設ける。
- ・小学校教諭・・・幼稚園教諭や保育士の園児への接し方や園児の活動の様子を参観する。
- ・幼稚園教諭 } 小学校の一日の授業や生活の様子を参観する。
- ・保育士 }

実践結果

- ・相互参観することにより、それぞれの児童・園児の実態を知ることができた。
- ・小学校教諭、幼稚園教諭、保育士は、お互いを知り、交流を深めることができた。

⑦幼・保・小交流会

ねらい

4月からの小学校生活に向けて、1年生との交流を通し、小学校生活を味わう。

実践内容

時間	活動	留意点
10:00～10:05 10:05～10:15	<ul style="list-style-type: none"> ・園児来校 ・はじめのセレモニー（各クラス） ① はじめのことば ② 歌 ③ 校内探検で気をつけること ④ グループごとに自己紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・東昇降口の靴箱に靴を入れる。 ・はっきりと大きな声でする。 ・勉強をしているので静かに探検することを話す。 ・恥ずかしがらずに、わかりやすい声で言うようにする
10:25～11:10	<ul style="list-style-type: none"> ・校内探検 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の歩き方を守って、行動する。 ・1組は1階から、2組は2階から、3組は3階から探検する。 ・早く戻ったらグループごとにあやとりを教える。
11:15～11:25	<ul style="list-style-type: none"> ・おわりのセレモニー ① おわかれのことば ② おわりのことば ③ 挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめのセレモニーと同様にする。
11:30～	<ul style="list-style-type: none"> 園児帰園 	<ul style="list-style-type: none"> ・見送り（各クラス8名程度）

◎滑川幼稚園の実践

○十五夜団子作り（幼稚園にて小学生との交流活動）

実施日 平成24年9月28日（金）

ねらい 十五夜の行事に興味や関心をもつ。

小学生と一緒に過ごす中で親しみをもつ。

○活動を終えて

- ・小学校訪問をして間もないころであったので、小学生との交流をととても楽しみにする様子が見られた。
- ・1年生が給食着に着替える様子を見せてもらい、速く着替えられることに刺激を受けたり、給食着に興味をもったりしていた。
- ・団子作りをする時は、1年生と交互に並ばせてもらったが、緊張からか、あまりかかわる様子が見られなかった。だが、1年生が、優しく声をかけてくれ、安心する様子も見られた。
- ・1年生が前に並んで幼児も知っている歌を歌ってくれ、親しみを感じたようであった。また、知っている友達を見つけて喜んだりといった姿もあった。
- ・みんなで輪になってお団子を食べたが、このころになると、知っている友達に声をかけてもらったりするなど、緊張がほぐれ、会話をする姿が見られるようになった。また、お茶をこぼす幼児がいると、1年生が教師に知らせてくれるといった場面も見られた。

○宮前小学校訪問活動

実施日 平成24年9月26日(水)

ねらい 教室や授業の様子を知り、小学校の生活に興味をもつ。

○帰宅した子供たちのつぶやき [アンケート結果から抜粋]

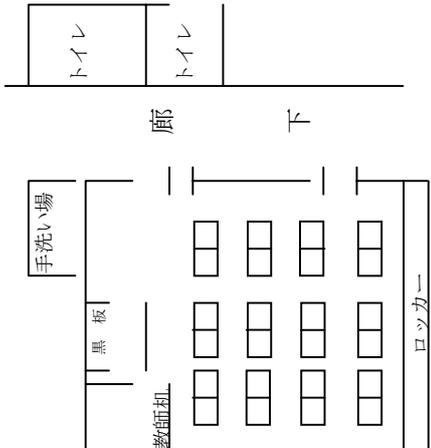
- ・チャイムの音でお庭に行ったり、教室に戻ったりするんだよ。
- ・学校はいっぱいお部屋があって楽しそう。お庭も広がったよ。
- ・知っているおにいさんや、優しいおねえさんがいたよ。
- ・みんな手をあげて発表していたよ、すごいね。グーをあげていた人がいたのが不思議だった。
- ・理科の実験みたいなのがおもしろかった。僕も手をあげたよ。
- ・先生の話の静かに聞いていてすごいんだ。
- ・階段が多くてつかれたあ。僕が1年生になったら何階なのかな？
- ・幼稚園と小学校では違うところが50個もあった。
- ・クラスの表札が幼稚園とはちがった。
- ・男子トイレと女子トイレの入り口が別々になっていた。
- ・教室の中に漢字がたくさん書いてあったよ。
- ・ロッカーにカバン掛けがなかったけど、ランドセルが上手に入れてあったよ。
- ・ランドセルを背負って学校へ行くのが楽しみになった。
- ・机と椅子が一人一人にあったよ。机には引き出しも付いているんだ。
- ・1年生の机は低かったのに、4年生と5年生の机は高かった。
- ・小学校の教室には先生の机もあるんだね。
- ・椅子が高くて足が届かなかったので、足がぶらぶらしちゃった。
- ・ちゃんと椅子に座って、机に本を置いて小学校の読み方をしたんだよ。
- ・ドキドキしたけど、楽しかった。



○保護者からのひとこと [アンケート結果から抜粋]

- ・今までは“小学校は勉強するところ”というイメージが強く、入学することに緊張していたようでしたが、訪問した日は帰宅するなり小学校のことを色々と話してくれ、ドキドキだけでなくワクワクの気持ちが出てきたようです。実際に小学校での様子を見て、自分も来年は小学生になるんだという実感がわいたようです。
- ・授業の様子がとても新鮮で興味深かったようです。初めて小学校の雰囲気味わったので、あらゆることが刺激となり、興味や期待をもつ大きなきっかけにもなったようです。
- ・私自身も初めての入学を子供と共に迎えるので不安が大きいです。子供自身が今回のこのような体験をこれからも重ねて、小学校に通うことへの不安や心配を少しでも軽減できれば心が和らぐと思います。これからもこのような活動の機会を実施していただきたい。漠然としていることが、今回の体験で少し具体的に見えてきたようです。また、日頃から一緒に生活するクラスの友達や先生と一緒に訪問したことで、安心して参加することができたと思います。

ねらい	内容	評価の観点
<p>○教室や授業の様子を知り小学校の生活に興味をもつ。 ※階段や廊下を静かに歩く。</p>	<p>○小学校の教室を見たり授業参観したりする。 ○保育室と教室の違いを見つけたり、席について月刊誌を読んだりする。 ※階段や廊下の右側を静かに並んで歩く。</p>	<p>・幼稚園と小学校の違いに気付けたか。 ・小学校の生活に興味をもつことができたか</p>
時間	予想される幼児の活動	環境構成と教師の援助
9:10～48	<p>◎登園する。 ◎所持品の始末をする。 ◎好きな遊びをする。 <室内> ロボット作りをする。(焼材制作) <戸外> 砂場遊び、運艇、鉄棒などの固定遊具、など ◎お集まりをする。 朝の挨拶をする。 歌をうたう。 ♪ゆめのタネ、♪むしのこえ 小学校に行くことについて話をする。 ◎幼稚園を出発する。 ◎1年生の授業の様子を見る。 ◎移動、5年生の授業の様子を少し見る。 ◎4年生の教室で過ごす。 ・園との違いを見つめる。 ・着席し月刊誌に名前を書く。 ・月刊誌を読む。</p>	<p>○一人一人と挨拶を交わしながら、健康状態や心の様子などを把握していく。 ○4コースが登園してきたらお集まりだということを知らせていく。 ○小学校に行くことを話し、小学校とはどんなところかをみんなまで話し合う。また、4月から通るところだということや静かに歩くことなどを伝え期待をもって小学校に行けるようにしていく。 ○小学校では小学生が勉強していることを知らせ、静かに行動できるようにしていく。</p>
10:00	<p><持ち物> 幼児：上履き、絵本袋、月刊誌、ハンカチ 教師：救急用品、鉛筆</p>	<p>○昨年年少だった小学生の授業の様子を見ることができ、学校ではどんなことをするかを知らせていく。 ○5年生の教室や授業の様子を見られるようにしていき、今度就学時健診でお世話になることを知らせいき親近感を感じられるようにしていく。 ○教室の中をめぐり、保育室と教室との違いに気付けるようにしていく。一人一人の発見や気付きをみんなに知らせいき、その違いについて考えていく。学校や教室は何をするところかを考えられるようにしていく。 ○1年生の授業風景を思い出せるようにし、着席をし、月刊誌に名前を書いたり読んだりしていくことで、小学生の雰囲気を知ることができるようにしていく。</p>
10:30～10:45～55	<p>◎トイレや流しを見学する。 ◎学校を出発する。</p>	<p>○チャイムの音に気付き、学校にはチャイムがあること、授業や休み時間は決まっていることを知らせしていく。 ○トイレ、手洗い場近くには園のようなタオルかけがないことを知らせ、ポケットに入っているハンカチを使うことを知らせていく。 ○トイレの中の様子を見られるようにし、便器のサイズが幼稚園より大きいが家のもと同じことなどに気付けるようにしていく。また、実際に使ってみて、今後使用するとき安心して使えるようにしていく。 ○学校に行った事を振り返り、発見したことなどをもう1度確認していく。また、来年の春入学することや、入学に向けて10月には就学時健診があることなどを伝えていき、学校生活に興味をもてるようにしていく。また、明後日、1年生が幼稚園に来て一緒に十五夜のお団子作りをすることを話し、楽しみにできるようにしていく。 ○明日の活動を知らせ、明日の登園を楽しみにできるようにしていく。</p>
11:00～30 11:35～40 11:45	<p>◎トイレや流しを見学する。 ◎学校を出発する。</p>	
12:00	<p>◎手洗いうがいをする。 ◎給食準備をする。 ◎給食を食べる。</p>	
12:40	<p>◎給食片付け ◎掃除をする。 ◎歯磨きをする。 ◎絵本を見る。『学校ってどんなところ？ 1ねん1くみの1にち』</p>	
13:00	<p>◎好きな遊びをする。 ◎降園準備をする。</p>	
13:50～14:20	<p>◎降園する。</p>	



◎ハルム保育園の実践

(1) 環境体験 「小学校の教室に入ってみよう」

①指導計画案 実施日 平成24年9月21日(金) 9:50～11:30 場所:宮前小学校

本時のねらい		保育者の指導上の留意点	
指導過程	時間	内容	保育者の指導上の留意点
導入	9:50～10:00	内容1(小学校にて) 靴を下駄箱にしまい、上履きに履き替え校内に入る。	・近くにある小学校を知り興味をもつ。 ・小学校の環境を見学し、保育者や友達と楽しく過ごす。 ・授業の区切りはチャイムが鳴ることを知り、小学生の動きを見ながら行動してみる。
	展開	10:00～10:40	内容2(小学校にて) ・教室やトイレの使い方を知る。 ・一人一人の机、椅子に着席する。 ・名前を呼ばれたら返事をする。 ・絵本を見る。 ・教室探検
10:45～11:30		校庭散策	・下駄箱で上履きから自分の靴に履き替え、下駄箱前に集まる。子供たちにこれかを散策することを伝え、どのように散策するかを話し合う。
まとめ	15:40～15:50	内容3(保育園にて) ・午前中の活動を振り返る。	午前中の活動を振り返り、小学校はどんな場所だったか振り返り、また次の訪問を楽しみにする。 ・小学校で体験したことを一つ一つ振り返る。 トイレの使い方 手を洗った後はどうするか 下駄箱や座る席は一人一人決まっている 本棚にはどんな本があったか など

②実施後の子供の反応

- ・実際に教室を使い、一人ずつ席に着くことができた。名前を呼ばれると照れながらもとても嬉しそうだった。
- ・教室や廊下、トイレなどをじっくりと見て、保育園との違いを感じていた。
- ・小学生の製作物(立体の物、絵など)を見て「すごいなあ!」と感動していた。
- ・休み時間になると小学生がトイレを案内してくれたり、優しく声を掛けられ喜んでいった。

③実施後の職員の感想・反省

- ・初めての小学校で、環境体験を行った。楽しく過ごすという目的だったが、はしゃぎすぎて廊下を走ってしまったり、大声を出してしまうなどの様子も見られた。学校での過ごし方を意識し行動できるよう内容を考えていきたい。
- ・教室の中でゆったりと過ごし、トイレや水道なども使用することができたので小学校での初めての体験内容としては良かったと思う。
- ・チャイムを利用した活動内容の検討をしていく。

絵本を見る



トイレを使用する



(2) 職員相互交流 保育園の職員が一年生の生活を観察する

平成 24 年 11 月 12 日 (月) 7:50~14:50 場所：宮前小学校
ねらい：保育園・幼稚園・小学校それぞれ職員が、お互いに保育参観、授業参観することで違いを知り、相互理解につなげていく。

①園で見直そうと思ったこと

- ・登下校 登下校班で一緒に上級生と歩いて行けるように、しっかり前を向いて間をあけずに歩く。
→散歩や歩く機会を増やし、体力をつける。
- ・生活 ハンカチやティッシュなどはポケットに入れ、自分で管理する。
脱いだものはそのままにせず、畳んだりフックにかけたりする。
→日頃から習慣付けていく。
- ・食事 食器の置き方は自分で意識して正しく置く。
座り方や茶碗を持って食べるなど、マナーを守りこぼさないように食べる。
→日頃から習慣づけていく。
だらだら食べないよう時間を短めに区切り食べる。
→おかわりの習慣を止め、一定の時間内で自分の食べきれる量を把握する。
- ・掃除 自分たちの使う場所をきれいに使い、汚れていたらきれいにする。
→大掃除の時だけではなく、日頃からごみを気付いたら拾い、職員と部屋をきれいに保つ。
- ・授業 人が話をしている時は静かに話を聞く。
自分の意見だけではなく、他人の意見も聞く。
→集まりや文字遊びの時など、静かにする時間は自分たちで意識できるようにしていく。
→自分の話を聞いてもらう機会、人の話を聞く機会を意識的につくっていく。

②職員相互交流を行っての話し合いから

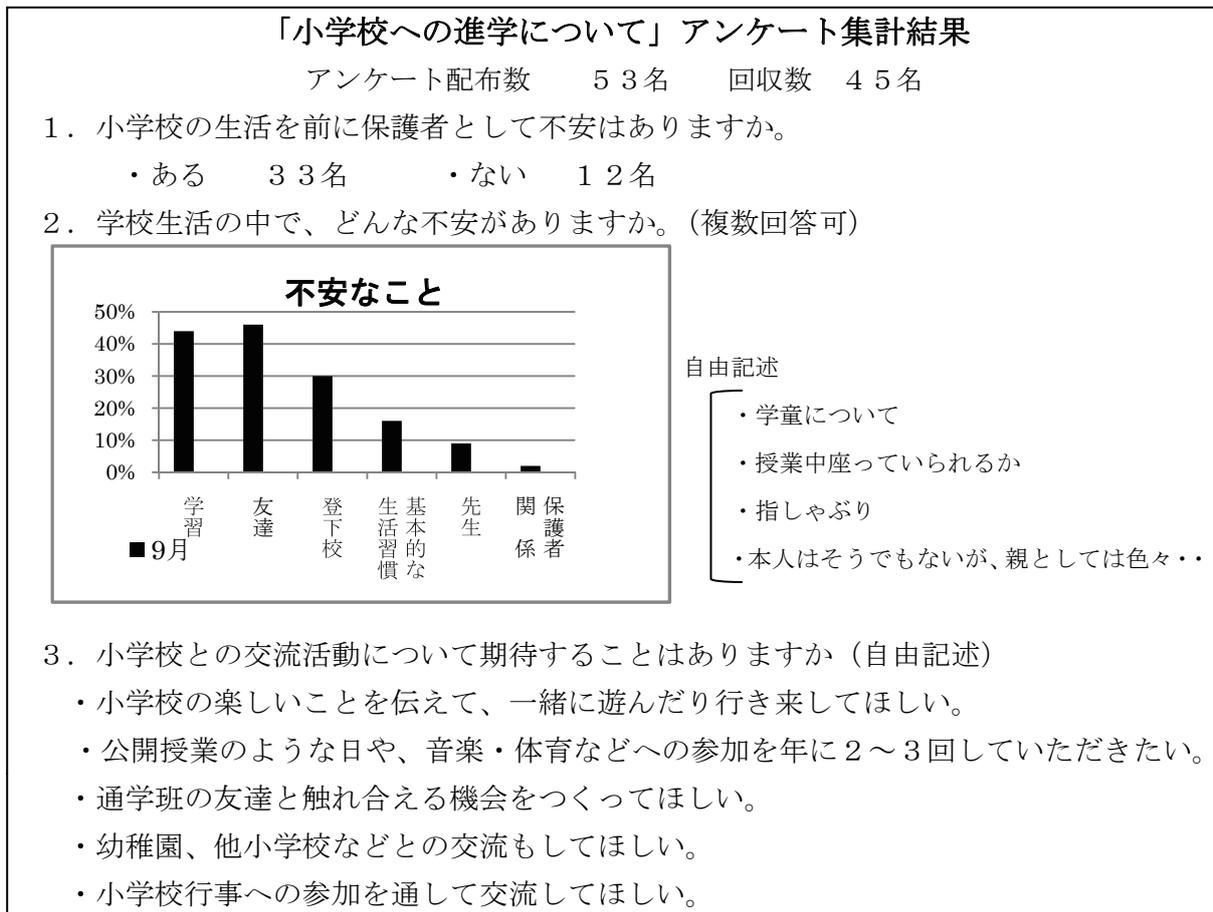
登下校・食事・休み時間について、観察した際に疑問に思った事などを保育園側の気持ちを伝えるとともに、小学校の先生方の意見を聞くことができ相互理解につながったと思う。

(3) 保護者への理解・啓発

- ①懇談会にて子育ての目安「3つのめばえ」を保護者に配布し説明をして、それを基に園での取組や、身に付けることを話す。

- 生活**
- ・食事は残さず、一定の時間（20～30分）で食べ終える。
 - ・午睡をなくし、その生活リズムに慣れる。
 - ・一日の生活、行事に向けての見通しをもち主体的に行動する。
- 他者との関係**
- ・担任以外の保育者と関わる機会をつくり、誰の話でも聞けるようにする。
 - ・人前で自分の考えを話したり、友達の話の聞いたりする態度を身に付ける。
 - ・友達と役割分担をし、相談しながら生活や遊びをつくっていく。
 - ・日常の基本的な挨拶を自ら行う。
 - ・友達と共通の目的をもち、遊びを進めていく。
- 興味・関心**
- ・椅子に座って活動する経験をしていく。
 - ・毎日30分程度歩き、体力をつける。
 - ・園外へ出かけ、交通ルールや公共物、道路標識などに興味をもち考える。

②保護者に対して小学校進学についてのアンケート調査



③保護者アンケート回収後の取り組み（保護者支援）

- ・小学校の教室を使った環境体験を実施した。
- ・幼稚園の秋祭り参加への声掛けを行った。
- ・幼稚園児との交流会を計画する。
- ・小学校のフェスティバル参加への声掛けを行った。
- ・小学校の業間遊びの時間を使った小学生との交流を計画する。

7 成果と課題

(1) 成果

- ・ 幼稚園・保育園の職員と小学校の職員の交流・研究を通して、接続期プログラムの重要性・効果を認識することができた。
- ・ 児童との交流を通して、園児が小学校を身近に感じることができた。
- ・ 園児が小学校の環境体験から交流活動への滑らかな接続を意識した体験ができ、小学校入学に向けての不安が緩和されてきた。
- ・ 園児の保護者にとっても小学校との結びつきが交流等を通して今まで以上に活発になることから不安が緩和されてきた。

(2) 課題

- ・ 時間的な制約、内容を工夫し、小学校の児童と幼稚園・保育園の園児の交流をさらに深めていく。(小学校全学年との交流の模索)
- ・ 職員同士の交流を深め、幼児期の教育と小学校教育の理解を更に深める。(合同研修会・授業参観・保育参観・行事での交流等を計画的に実施)
- ・ アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの改善。



秩父市の取組

1 研究主題

「接続期プログラム」の実践及び検証に係る研究
～幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方～

2 ねらい

- (1) 子育ての目安「3つのめばえ」を基に作成したアプローチカリキュラムを、今年度の幼児に合わせて実践して、幼児期から児童期へつながる保育をする。
- (2) スタートカリキュラムを基に入学当初の一定期間、生活と他教科との合科的な実践、アプローチカリキュラムに伴う交流実践をして、児童期の自立的・自覚的な学びへと滑らかに移行する。

3 研究指定校・研究協力園の状況（平成24年5月1日現在）

	学校名・園（所）名	児童・幼児数	学級数	教職員数
研究指定校	秩父市立吉田小学校	270名	13学級	30名
研究協力園	秩父市立吉田幼稚園	117名	6学級	10名
	秩父市立吉田保育所	67名	5学級	21名

<研究指定校・研究協力園の概要等>

本校は、旧吉田町の中央の高台にあり、秩父市立吉田幼稚園（以下幼稚園）と秩父市立吉田保育所（以下保育所）に隣接し、校長が幼稚園長を兼務している。そのため、幼・保・小の連携を図る上では条件に恵まれている。

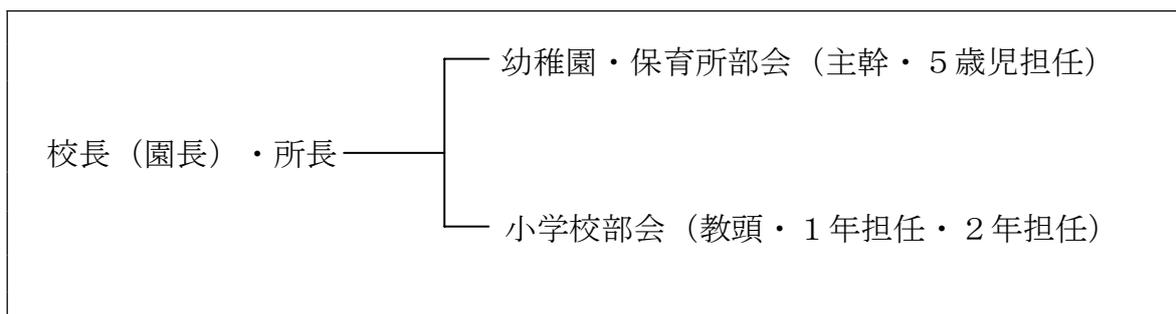
また、平成12年度から幼稚園は3年保育、学校給食の導入、延長保育を開始、さらに同一敷地内に移転してきた保育所と幼児教育の一体化を目指し、交流保育を実施している。

保育所在籍児52名が、保育所職員4名と共に6学級にわかれ、午前9時から午後1時まで一緒に幼稚園生活をしている。

本校と保育所・幼稚園との交流は、主に本校の1・2年生の4クラスと幼・保の5歳児43名との交流が本研究の対象となっている。

4 幼・保・小連携のための組織

幼・保・小円滑接続推進会議を下記のメンバーで構成し、研究を進めた。



5 事業の年間計画（年度当初の連携の段階 ステップ2）

※参考資料 P1 「幼・保・小連携段階表」

秩父市立吉田小学校・吉田幼稚園・吉田保育所

時 期	研修会・連絡推進会議等	参加対象教職員		
		小学校	幼稚園	保育所
4月 5月	校内研修	○		
	「接続期プログラム」の実施について	○		
	4週間のスタートカリキュラム実施	○		
	幼・保職員の授業参観実施	○	○	○
7月	第1回連絡推進会議 (スタートカリキュラムの検証等)	○	○	○
	第2回連絡推進会議 (研究の進め方、幼・保・小の交流)	○	○	○
9月	小学校と幼・保の交流 (プール授業見学、行事の交流)	○	○	○
	第3回連絡推進会議 (運動会参加、交流計画等)	○	○	○
	小学校1・2年生運動会練習参加 運動会招待状、ポスターの交換	○	○	○
10月	小学校運動会参加	○	○	○
	第4回連絡推進会議 (交流授業、保護者意識調査)	○	○	○
※Stage 2 P36参照	交流授業 (第1学年と5歳児) (Stage 2 慣れ親しみをもつ段階)	○	○	○
11月	第5回連絡推進会議 (アプローチカリキュラムの準備)	○	○	○
12月	第6回連絡推進会議 (交流授業指導案検討等)	○	○	○
	交流授業 (第1学年と5歳児) (Stage 2 慣れ親しみをもつ段階)	○	○	○
	交流授業 (第2学年と5歳児) (Stage 2 慣れ親しみをもつ段階)	○	○	○
	第7回連絡推進会議 (交流授業の検証、意見交換等)	○	○	○
1月	第8回連絡推進会議 (アプローチカリキュラム準備等)	○	○	○
	アプローチカリキュラムの実践		○	○
	交流授業 (第1学年と5歳児) (Stage 3 期待感を高める段階)	○	○	○
※Stage 3 P36参照	交流授業 (第1学年と5歳児) (Stage 3 期待感を高める段階)	○	○	○
2月	アプローチカリキュラムの実践		○	○
	交流授業 (第1学年と5歳児) (Stage 3 期待感を高める段階)	○	○	○
	第9回連絡推進会議 (アプローチプログラムの検証等)	○	○	○
3月	アプローチカリキュラムの実践		○	○
	第10回連絡推進会議 アプローチプログラムの検証 研究のまとめ	○	○	○

6 研究の具体的な取組

(1) アプローチチャリキュラム

平成24年度 教育課程 3年保育 (5歳児) 『3つのめばえ』

⑤生活 ⑥他者との関係 ⑦興味・関心

秩父市立吉田幼稚園

期	11期 (4, 5月)	12期 (6, 7, 8月)	13期 (9, 10月)	14期 (11, 12月)	15期 (1, 2, 3月)
学年の重点	遊びの幅を広げながら、友達の良いところを見つけて、生活に必要な習慣や態度を身に付ける				
教育目標	あかろく なかよく たくまじい				
主な行事	<ul style="list-style-type: none"> 第1学期始業式4/9・入園入所式4/11 給食・預かり保育開始4/12 身体測定・保育参観・パス遊難訓練 親子人権教室・夏野菜苗植え 4歳児と遠足(クラス別) 内科健診、歯科健診、眼科健診 英語で遊ぼう(2回) 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯遊難訓練・園外保育 ジャマイ毛布しり・地震遊難訓練 サツマの苗とし・英語で遊ぼう(2回) 太田部世代間交流6/6 プール掃除 プール開き6/12 パス遊難訓練・個人面談 終業式7/19・夏季休業7/20 	<ul style="list-style-type: none"> 第2学期始業式9/3 地震遊難訓練・英語で遊ぼう(2回) 身体測定・幼児祖父母参観9/14 幼児運動会10/6 幼児消防大会10/12 親子バス遠足10/19 幼児防災遊難訓練 10/26 	<ul style="list-style-type: none"> 園開放11/1, 2 英語で遊ぼう(2回)・観劇会 職場訪問11/16, 20 合同保育参観12/7・もちつき会 修了記念撮影12/12 たのしみ会12/18 個人面談(希望・終業式12/21) 	<ul style="list-style-type: none"> 第3学期始業式1/8 英語で遊ぼう(4回)・パス遊難訓練 3B体操(体を動かして遊ぼう) 豆まき遊び・火災遊難訓練 保育参観(親学講座)2/29 お別れ遠足・お別れ会 修了証書授与式3/19
幼小交流	<ul style="list-style-type: none"> 小学校家庭参観(幼児) 小学校周辺散歩(幼児) 小学校授業参観(職員) 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校授業参加(1年生) 小学校授業参加(2年生) 児童幼稚園訪問(1年生) 児童幼稚園訪問(5年生) 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校運動会練習参加(幼児) 小学校運動会参加(保護者同伴) 小学校授業参加(1年生) 小学校授業参加(2年生) 幼児運動会参加(1・2年生) 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校就学時健康診断(6年生) 小学校授業参加(1年生) 小学校収獲祭参加(幼児) 児童幼稚園訪問交流(2年生) 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校授業参観(1年生) 小学校授業参観(2年生) 小学校授業参観(3年生) 小学校一日入学(幼児・児童)
発達の過程	<ul style="list-style-type: none"> ①集団の生活の流れや時刻を意識し、みんなと一緒に行動しようとする。 ②5歳児クラスになったことを喜び、小さい子のめんどうをみたり、当番活動をしたります姿が見られる。 ③前年度の友達関係に頼り、遊び方もその延長的な傾向があるが、徐々にクラスの仲間を意識し始める。 ④友達と様々なことを試したりしながら喜んで遊びを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①新しい経験や活動に、意欲的に取り組む。み、いろいろ試しながら生活に必要な習慣を身に付ける。 ②気の合った友達の中で、自分の思いを伝え、遊びを発展させていく幼児も見られる。 ③遊びに必要なものを自分で用意したり、自分なりに考えて、作っていくこととしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生活の流れや準備・片付けをする。 ②運動会への取り組みが意欲的で、チームの対抗にも競争心が強く、勝敗に一喜一憂する。 ③仲間意識が強くなる。 ④互いのよさを認め合い、友達と協力して活動する。 ⑤草花や昆虫への興味が高まり、友達と一緒に捕まったり、図鑑を見たりする姿が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①困った時に自分で考えて解決しようとしたり、友達や教師に相談したりする。 ②交友関係に広がりが見られ、クラスの子を超え異年齢児とのかわりが広がるようになった。 ③縄跳びの跳んだ回数数を教え、友達と認め合う様子も見られる。 ④いろいろなものに関心をもち、より深く知ろうとしたり、試したり確かめたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①就学に対する期待や喜びがある反面、不安に感じている幼児もいる。 ②卒園式の心構えや態度を知り、練習に参加している。 ③クラス全員が一緒に遊びながら自分たちでルールを作ったり、変えたりしながら、より楽しく遊ぼうという気持ちになる。 ④文字で伝える事の楽しさや意味に気づき、生活の中で文字を使う。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ⑤5歳児クラスになったことを喜び、様々な活動に積極的に取り組むこととする。 ⑥自分のやりたい活動や、仲良しの友達とのかかわりを楽しむ。 ⑦異年齢児とのかかわりながら、やさしく接しようとする気持ちをもつ。 ⑧元気よく「はい」「ありがとう」「ごめんさい」が自然に言えるようにする。 ⑨生活の流れや時刻を意識し、みんなと一緒に行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①様々な事柄に意欲的に取り組む。仲間とのかわりや、工夫していく。 ②自分なりのめあてをもつて試したり、工夫しながら遊ぶ楽しさを感じる。 ③自然環境の中で、感じたり、考えたことを言葉で表現する。 ④小学校の児童や先生、家庭、活動に興味・関心をもつ。 ⑤係の仕事や役割を意識して、みんなと一緒に生活する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①同じ目的をもつて、活動や仕事を主体的に進めていくこととする。 ②体を十分に動かす楽しさを感じる。 ③友達との活動に意欲的に取り組む。 ④共同して遊ぶ中で互いにかかわりを深め、遊びや活動を展開する楽しさや喜びを感じる。 ⑤自然の中で季節の移りかわりを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①活動に主体的にかかわりながら、充実感を感じる。 ②お互いに役割を意識し、見通しをもつてグループでの活動を進めていく。 ③トラブルが生じたときは、自分たちで解決しようとする。 ④自然物を遊びに取り入れる楽しさ、小学校入学に関心や親しみをもつ活動に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①大きく変わった喜びや心動かす出来事に触れ喜ぶ感性をもつ。 ②仲間と協力し、活動を進め自分たちでやり遂げた達成の喜びを味わう。 ③生活に見通しをもち、自信をもって自分たちでやり遂げる。 ④考えたことや感じたことをいろいろな方法で表現する。 ⑤小学校入学への期待をもち、園生活最後の時期を充実させて過ごす。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ⑩自分のやりたいたい遊びをする。 ⑪園生活にかかわる仕事(当番活動など)を頑張るようとする。 ⑫異年齢児に思いやりをもってかかわる。 ⑬同じ目的をもつたグループで、遊びや活動に取り組む。 ⑭新しい環境に自分からかかわり、生活の場を広げる。 ⑮春の自然にふれたり、身近な動植物に親しみをもちかかわり、美しさや不思議さを感じる。 ⑯友達と進んで戸外に出て、体を動かして遊ぶ。 ⑰絵本や紙芝居を楽しみにしながら見る。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩全身を思いきり動かして遊ぶ。 ⑪自分の目的に挑戦し、「できた」という喜びを感じる。 ⑫当番活動等で役割を受け持ち、お互いに意見を言ったり、手伝ったりしながら活動を進める。 ⑬友達と共通の目的に向かって話し合ったりしながら遊びを進めていく。 ⑭遊びの中で前後・左右等に興味関心をもつ。 ⑮友達と一緒にリズムカルな動きを楽しむ。 ⑯秋の自然にかかわり、自然物遊びに取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩グループ・クラス・学年の課題を共通の目的として受け止め、大勢で遊ぶことを書く。 ⑪健康生活に必要な活動を理解し、進んで行う。 ⑫季節の移りかわりに気づき、自分たちの生活にも変化があることを知る。 ⑬重話や絵本等に親しみ、興味をもつて聞き、想像する楽しさを味わう。 ⑭自分のイメージを体や言葉で表現し、劇遊びを楽しむ。 ⑮園生活の中で起こる問題を自分たちのこととして受け止め、解決しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩自分たちの生活を振り返りながら、自らの成長を知り、必要な仕事を年中児に引き継ぐ。 ⑪クラスとの友誼と一緒に今まで親しんできた保育室などを整理整頓する。 ⑫親しんできた遊びをさらに充実させ、友達と楽しむ。 ⑬グループやクラスの仕事に見通しをもって取り組み、最後までやり遂げようとする。 ⑭冬の自然や自然現象に興味をもち、冬ならではの遊びを楽しむ。 ⑮生活の中で、保育者や友達と文字で伝える楽しさを味わう。 ⑯1年生になることへの期待と喜びをもち、意欲的に遊びや生活をする。 	

吉田保育所 5歳児保育年間計画

1. 丈夫でしっかりとした体をつくる
 2. 友達と仲良く遊ぶ
 3. 必要な言葉を豊かに正しく使える
 4. 自信の力を育てる
 5. 自分のできること
 6. 考えの力・判断力を育てる

保育目標

- ㊦ 生活
 ㊧ 他者との関係
 ㊨ 興味・関心

3つのめばえ

- ㊦ 生活
 ㊧ 他者との関係
 ㊨ 興味・関心

年間目標

- 友達と意欲的にいろいろな遊びに取り組み、基本的な生活習慣、年長児にふさわしい態度を育てる
 ○保育所の生活の仕方 コミュニケーション力を身につけ、主体的に行動する
 ○身近な自然や社会事象に興味、関心をもち、自ら調べたり考えたりする態度を養う
 ○さまざまな体験を通して、豊かな感性を育み、表現力や創造性の芽生えを培う
 ○日本の伝統文化や食育に取り組み

	1期(4～5月)	2期(6～8月)	3期(9～12月)	4期(1～3月)
行事	○1学期始業式 ○入所・入園式 ○遠足(4・5歳) ○保育参観 ○内科・歯科検診 ○親子人権教室 ○健康診断 ○夏野菜苗植え ○防災避難訓練 ○キャタビラマ見学 ○身体測定	○園外保育 ○ジャガイモ掘り ○プール開き(納め) ○世代間交流(太田郡) ○体力測定 ○はたるの稲散歩 ○個人面談 ○七夕祭 ○秋夕フイルム演奏会 ○さつまつ苗植え ○納涼祭 ○1学期終業式	○2学期始業式 ○地震避難訓練 ○身体測定 ○祖父母参観 ○幼卒部防大会 ○幼保合同運動会 ○火災避難訓練 ○運動会 ○職場訪問 ○保育参観(発表会) ○個人面談(希望) ○2学期終業式 ○お好み焼き会	○3学期始業式 ○豆まき遊び ○火災避難訓練 ○園外保育 ○身体測定 ○お別れ遠足(長瀬) ○お別れ会 ○修了証書授与式
子供たちの姿	㊦ 新しい環境や保育者に慣れ、生活の流れを覚える。 ㊧ その場にふさわしい態度で行事に参加できる。 ㊨ 保育者や友達との信頼関係を深める。 ㊩ 身近な自然や動植物に興味、年少児の世話をはりきりしようとする。 ㊪ 行事に興味をもち、事前準備などを楽しみながら行い、意欲的に参加する。 ㊫ 身近な自然に親しみ、夏野菜の苗を植え興味をもつ。	㊦ 保育者と友達の違いをくみ取り、意欲的にものごとに取り組もうとする。 ㊧ 生き物や野菜などの世話をし、命の大切さについても考える。 ㊨ トランプが起きたら、話し合いで解決しようとする。 ㊩ 楽しみながら、当番活動をする。 ㊪ 収穫の喜びを味わい、旬の食材にふれる	㊦ 運動会などの行事では、取り組みながら、行事を作っている。 ㊧ 好きな日や労働感謝の日、年末を新しいことにも積極的に取り組む。 ㊨ 大切なし、感謝やいたわりの心をもつ。 ㊩ 大掃除の体験をする。 ㊪ サツマイモの収穫や料理(お好み焼き会)に興味をもつて、意欲的に取り組む。 ㊫ 体と食事の関係をj知る。	㊦ ものごとに積極的に取り組み、グループ活動での助け合いの姿が見られる。 ㊧ もうすぐ小学校という期待がふくらみ、緊張や遊びにその姿が見られる反面、修了に対して喜びや緊張で日々気持ちの変化が見られ、落ち付かない子もいる。 ㊨ 行事への参加が緊張しながらも、しっかり表現できる。 ㊩ 他のクラスとの交流に慣れ、小さい子に教えたり、手伝ったり、積極的にいかかわる姿が見られる。 ㊪ 伝行事の由来を知り、行事食を食べる。
◎ねらい	㊦ ① 早寝早起き・食事・運動の大切さを知る。 ㊧ ② 保育者を受け入れ、基本的な生活習慣を身に付ける。 ㊨ ③ 戸外の遊びや園庭で運動遊びを喜ぶ。 ㊩ ④ 自分考えを話したり、人の意見を聞くなど、話し合いの場を積極的に参加し、意見を言う。 ㊪ ⑤ 園内探検、散歩、畑、プランターなどで活動を広げる。 ㊫ ⑥ 絵本や童話などに親しむ。 ㊬ ⑦ 虫や草花などの春の自然に触れ、生長や変化に興味をもち、遊びに楽しみを入れる。 ㊭ ⑧ 友達と一緒に表現活動に取り組む。 ㊮ ⑨ 歌ったり、踊ったり、楽器の演奏活動をする。 ㊯ ⑩ 絵を描いたり、製作を楽しむ。	㊦ ① 自分自分の気に入った場所で好きなこと集中し、遊ぶ。 ㊧ ② 保育所・幼稚園の生活リズムがかわり、友達と考えるし合ったりして、運動遊びやごっこ遊びをする。 ㊨ ③ 様々なプールの遊びを元気に楽しむ。 ㊩ ④ 夏ならではの遊びにかわり、素材を工夫したり、見たもの、考えたことを表現したりする。 ㊪ ⑤ 色々な動画や人によって、言葉の使い方や声の大きさに注意しながら、おしゃべりを楽しむ。 ㊫ ⑥ 日常の生活で、相手の思いを知ったり、自分の気持ちを伝える。 ㊬ ⑦ グループ活動や当番活動などを通して、色々な考えがあつていいことを伝え、自信をもつて意見を言うように励まし、認めていく。 ㊭ ⑧ 夏野菜の収穫方法をから旬の食べ物のおいしさを知るとともに、数や量・分け方・利用方法などを考える。 ㊮ ⑨ 遊びの中で数や文字を使っている。 ㊯ ⑩ 友達と一緒に歌ったり、絵を描いたり、いろいろな表現を楽しむ。	㊦ ① 室内外で、さまざまな遊具や用具を使った遊びを、友達と工夫しながら楽しむ。 ㊧ ② 遊びのなかで自分主張したり、グループで協力して取り組む。 ㊨ ③ 自分自分の思いがあるように相手に思いがあることなど、会話で知っていく。 ㊩ ④ 身近な人々の生活で支えられながら、生きていることを知る。 ㊪ ⑤ 地域の方や園外での出会いを大切に、進んで挨拶や話をしたり、聞いたりする。 ㊫ ⑥ 自らの行事を知り、日本の伝統文化を学ぶ。 ㊬ ⑦ 自分たの便ったおもちゃや保育室、ロッカー、窓ふきなどの大掃除を積極的にj行う。	㊦ ① 友達との別れと、新しい出会いを知る、残りの所生活を友達と過ごすことの大切さを知る。 ㊧ ② 知識を交換したり、一緒にできることを共有する。 ㊨ ③ 修了にあたって先生方に感謝の気持ちを表す。 ㊩ ④ プレゼントを作ったり、室内の整理整頓をする。 ㊪ ⑤ 一緒にお弁当を食べたり遊んだりする。 ㊫ ⑥ 正月遊びや文化に興味や関心をもつ。 ㊬ ⑦ 思い出をいろいろな形で表現する。 ㊭ ⑧ 小学校見学の行き、小学校の生活に興味をもち、就学への期待をもつ。
環境構成	○プランターの花などの生長を子供たちが毎日確認できるようにする。 ○固定遊具や道具など十分に安全点検をし、遊び込めるように整備しておく。 ○保育者が率先して戸外遊びの楽しさを伝えていく。 ○子供が必要とする絵本や図鑑などを用意する。	○砂、水、泥、プールなど、遊びがより安全に楽しく発展できるように材料の種類、場を構成しておく。 ○梅雨時期の室内遊びが充実するようコーナーを工夫する。 ○基本コーナーを設け、ゆったりと遊める場をつくる。 ○教員の世話や観察をしやすいようにする。 ○家族で出かけるときに注意することを確認する。	○個人差を大切に、できるできないの比較にならないように、その子の努力がわかるような声掛けをする。 ○保育者が手本を見せながら、自分の持ち物や園の備品などを大切に扱うことに、自分から気がつくようなかかわりをする。 ○体験活動がスムーズにいくよう、必要な用具をそろえておく。	○寒い日も体を動かすことで、体が温まることを伝えながら、色々な運動遊びを取り入れていく。衣服調節も心がける。 ○たとえあけ、カルタ、竹馬、竹馬、こまなど伝統的な遊びができるよう用意する。
保護者の援助	○子供の思いやしたいことなどを生活の中から読み取り、一人一人に合った温かい対応をする。 ○身の回りの支度や持ち物の管理など、自分でできるような力をめらう。 ○保育者が率先して戸外遊びの楽しさを伝えていく。 ○また、すべての持ち物に記名してもらい、自分のものを大切にできるように伝えていく。	○友達同士が認め合い、協力し合う関係づくりができるよう、仲立ちしていく。 ○体調が悪い時には無理をせず、早めに保育者に伝え、水分補給や休息をとることの大切さを伝えていく。 ○季節感を感じ、感動できる体験を多く取り入れる。 ○納涼祭は、子供たちが主体的に楽しめるようにする。	○自分を主張したり、役割を頑張ろうとする姿を認めたり、共感したりしながら意欲的に取り組めるよう援助する。 ○積極的に外に出て、いろいろなことが学べるように日頃から地域の人と交流を深めておく。 ○健康管理や衛生面については、子供に伝ええると同時に、保護者にも声をかける。家庭でも自然とふれ合ったり、食事に関心が深まるよう、保育所たよりなどで一緒に取り組む。	○就学に向けて生活習慣を見直し、無理のないように生活リズムを整えていくようにする。 ○一年間の思い出の話をしたり、写真を見たりして修了までの時間を大切に、友達といる充実感を味わいながら、保育所生活を十分楽しめるようにする。 ○通学路を確認し、交通安全が守れるように小学校や地域の人も協力し合う。
幼・保・小交流行事	幼園園・保育所 ○小学校校庭散歩 [4月18日] ○小学校園遊歩 [5月10日]	幼園園・保育所 ○1年生プールの見学 [7月9日] ○2年生プールの見学 [7月13日]	幼園園・保育所 ○就学時間健康診断 [11月15日] ○小学校収収権券参加 [11月7日] ○小学校～職場訪問 [11月16日] ○1年生授業参加 [1月10日] ○2年生幼稚園遊戯室でのフェスティバル参加 [12月14日]	幼園園・保育所 ○1年生授業参加 [1月2日] ○小学校一日入学 [2月5日]

平成24年度 幼・保・小接続 アプローチャリキュラム 3年保育 (5歳児 1月～3月) 秩父市立吉田幼稚園

15期	Stage3 期待感を高める段階 (自分たちで遊びや活動、仕事が進められるようになり、お互いの良さに気付き合えるようにする。)	1月	2月	3月
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ④同じ目的をもって活動や仕事を主体的に進めていく。 ④仲間と協力しながら活動を進め自分たちでやり遂げた達成の喜びを味わう。 ④身近な事象を見たり、考えたりして遊びに取り入れる中で文字などに対する感覚を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ④共通の目的に向かって友達と一緒に活動や仕事を進めていく。 ④友達と認め合いながら行動し、充実感を味わう。 ④考えたことや感じたことを自分なりに表現し、生活に取り入れようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ④共通の目的に向かって一人一人が力を発揮し、活動や仕事を進めていく。 ④友達の話や意見を聞きながら、自分たちで作成していく。 ④材料や用具を目的に合わせて選び、のびのびと表現し、作品を大切に扱うと共に友達の表現にも関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ④園生活の流れを意識して時間に見通しをもち行動する。 ④友達と一緒に園生活最後の時期を充実して過ごす。 ④大きく変わった喜びや心動かす出来事に触れ、豊かな感性をもつ。 ④小学校入学への期待をもちながら生活する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ④グループやクラスの仕事に見通しをもって取り組み、最後までやり遂げようとする。 ④親しんできた遊びをさらに充実させ、友達と一緒に考え工夫しながら遊びを進めていく。 ④生活の中で、教師や友達と文字や数字で伝える楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ④共通の目的に向かって一人一人が力を発揮し、活動や仕事を進めていく。 ④友達の話や意見を聞きながら、自分たちで作成していく。 ④材料や用具を目的に合わせて選び、のびのびと表現し、作品を大切に扱うと共に友達の表現にも関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ④共通の目的に向かって一人一人が力を発揮し、活動や仕事を進めていく。 ④友達の話や意見を聞きながら、自分たちで作成していく。 ④材料や用具を目的に合わせて選び、のびのびと表現し、作品を大切に扱うと共に友達の表現にも関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ④園生活の流れを意識して時間に見通しをもち行動する。 ④友達と一緒に園生活最後の時期を充実して過ごす。 ④大きく変わった喜びや心動かす出来事に触れ、豊かな感性をもつ。 ④小学校入学への期待をもちながら生活する。
環境構成と教師の援助	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の流れにゆとりをもたせ、教師や友達との会話を楽しめる雰囲気をつくる。 ・カレンダーを使って残りの生活についての見通しをもたせ、園生活で自分たちができることを考えたり、目標をもったりして生活できるような援助する。 ・正月遊びをみんなで楽しみながら、遊び方やルールを友達と工夫したりして遊ぶ楽しさを知らせる。 ・繰り返し努力や工夫をしている姿を十分認めていくとともに、その気持ちをわかってくれる友達や教師のことを知らせ、友達から認められるような機会をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の自然とふれあえるチャンスを大切に、試したり、発見したり、考えたりする楽しさを十分に味わいながら、科学性を培える環境を工夫する。 ・クラスや学年全体で創作や表現を楽しめるような活動を取り上げたり、協同に活動することの楽しさや充実感が味わえるような機会を設ける。 ・これまでの園生活について振り返る時間を作り、いろいろな素材に触れ一人一人が楽しかった思い出を表現できるようにする。 ・5歳児として自分たちが誇りに思ってきた役割を4歳児にわかるように伝達したり頼んだりする場を計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に生活してきたクラスや学級の仲間一人一人がかかげがえのない存在であることを伝える。 ・修了証書授与式に向け、自分のすべきことがわかり、意欲をもって練習などにも取り組めるようにする。 ・幼稚園生活を振り返りながら一人一人が成長してきたことを認め、まわりの方々への感謝の気持ちがもてるようにする。 ・修了を意識したり、就学への期待をもてたりする機会を計画的に設けていく。 ・入学への期待や、小さい友達を思う気持ちがもてるよう一人一人の成長を具体的に伝え、自信をもって小学校生活が始まるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ④園生活の流れを意識して時間に見通しをもち行動する。 ④友達と一緒に園生活最後の時期を充実して過ごす。 ④大きく変わった喜びや心動かす出来事に触れ、豊かな感性をもつ。 ④小学校入学への期待をもちながら生活する。
予想される活動	<ul style="list-style-type: none"> ○始業式に参加する。 ・新年の挨拶をする。 ・教師や友達に冬休みに経験したことを話す。 ・身体測定を受ける。 ○自分なりの目標をもって取り組む。 ・こま、縄跳び、竹馬、鉄棒など ○文字や数字で遊ぶ。 ・「3つのめばえ」カルタ、ランプ、すごろく等 ・ゆうびんやさんごっこやスタンプ遊び ○冬の遊びをする。 ・霜柱や氷、雪で遊ぶ。 ・氷を作るなど、雪でいろいろな遊びを楽しむ。 ○ルールのある遊びをみんなで楽しむ。 ・ドッジボール、サツカー、陣取り、鬼ごっこ、しっぽとり ○小学生とのかかわりを通して教室の雰囲気を知る。 ・1年生との交流。(参加、体験型) 	<ul style="list-style-type: none"> ○豆まきをする。 ○避難訓練に参加する。 ○園外保育に行く。 ○冬の遊びをする。 ・霜柱や氷、雪で遊ぶ。 ・氷を作るなど、雪でいろいろな遊びを楽しむ。 ○3B体操(体を動かして遊ぶ) ○ルールのある遊びをみんなで考えて楽しむ。 ・ドッジボール、サツカー、陣取り、しっぽとりなど ○修了に向けて卒園記念作品を制作する。 ・お世話になった人たちにプレゼントを作る。 ・卒園記念文集、鉛筆立てを制作 ○クジャク鳩の世話をする。 ○鉛筆立てを制作 ○児童との交流 (1・2・3・6年生) ・授業や校内の様子を見たり、参加したりする。 ・一日入学体験をする。 ○小学生との交流や触れ合いを通して親しみや憧れを感じる。 ・一日入学体験をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○お別れ遠足に参加する。(長滞方面) ○3、4歳児と一緒に遊んだり、給食を食べたりする。 ○お別れ会に参加する。(保育所と合同) ・3、4歳児とのプレゼント交換をする。 ・お世話になった方にプレゼントを渡す。 ・お別れ会の司会をする。 ・お別れの言葉や歌を発表する。 ・他の学年の発表や、先生の出し物を見る。 ○保育室などをみんできれいにする。 ・飼育小屋・保育室・靴箱・ロッカー・作品の整理 ○修了証書授与式に参加する。 ・練習に参加する。 ・おわかれの言葉・卒園の歌 ・お世話になった人たちに、感謝の気持ちをもち。 ○小学校の体験入学を経験し、入学を心待ちにしなが準備をする。 	
評価反省				

第3週 平成24年4月23日(月)～4月27日(金)

【第3週のねらい】 学校での学習やみんなと一緒に活動することに関心をもって意欲的に取り組むようになる。

朝	23日(月)	24日(火)	25日(水)	26日(木)	27日(金)
音楽朝会 健康観察 (挨拶・返事)	読み聞かせ 健康観察 (挨拶・返事)	6年生による紙芝居 健康観察 (挨拶・返事)	室内ゲーム 健康観察 (挨拶・返事)	室内ゲーム 健康観察 (挨拶・返事)	室内ゲーム 健康観察 (挨拶・返事)
1	(はじめの算数) なかまづくりとかず 1から10までの数	(はじめの算数) なかまづくりとかず 1から10までの数	(はじめの国語) いろいろなほんよみたいなひらがな練習「て」「へ」	(はじめの国語) いろいろなほんよみたいなひらがな練習「い」「り」	(はじめの体育) 固定遊具の遊びいろいろな並び方かけっこ
2	(はじめの音楽) うたでなかよしになろう ・歌 ・幼稚園の歌	(はじめの生活) みんなでがっこうをあるこう(3階) 体育着を着て校庭へいこう	(はじめの生活) みんなでがっこうをあるこう(3階) 整列の仕方 廊下の歩き方	(はじめの生活) がっこうをたんとけんししよう 2年生と一緒にグループごとに探検	(はじめの算数) なかまづくりとかず 1から10までの数
3	(はじめの生活) なかよくなりたいな友達と名刺交換	(はじめの図工) 固定遊具の遊びいろいろな並び方かけっこ	(はじめの図工) 学校でみつけたことを絵にかこう	(はじめの生活) がっこうをたんとけんししよう 2年生と一緒にグループごとに探検	(はじめの道徳) みんなのこうえん 学校生活の約束 廊下の歩き方
4	(はじめの学活) がっこうのことがしりたいなチャイムでの生活そうじのしかた	(はじめの国語) (はじめの国語) いろいろなほんよみたいなひらがな練習「つ」	(はじめの算数) (はじめの算数) なかまづくりとかず 1から10までの数	(はじめの体育) 固定遊具の遊びいろいろな並び方かけっこ	(はじめの国語) (はじめの国語) はなしましよきましよう がっこうでみつけたことをはなそう
5	(はじめの図工) みてみていっばいつくったよ粘土遊び	(はじめの図工) みてみていっばいつくったよ粘土遊び	(はじめの学活) 授業参観 お誕生日列車をつくろう	(はじめの国語) いろいろなほんよみたいな図書室の使い方	(はじめの音楽) うたでなかよしになろう
下校	2:50	2:50	2:50	2:50	2:50

【成果と課題】 ※支援・準備資料等
 ○毎日学習したことがわかるように、既習のひらがなや数字などを壁面に掲示していき、作る計画があるため、その面用紙を用意する。作品を飾る。
 ○授業参観に親子で壁面装飾を作る計画があるため、その面用紙を用意する。作品を飾る。
 ※健康診がすすんでくると、その意味について話をしたり、実演をしたりして、子供たちが安心して受けられるようになる。
 ※学校生活に不安を抱いている児童や遊びに入れない児童を把握し、声をかけて多くしたり一緒に遊んだりする。
 ・学校探検について、学校全体の授業を打ち合わせ
 ・校庭を探検する際に、体育の先生方を学年に連絡
 ・名刺交換を始めることを先生方に連絡
 ・歯科、内科、眼科健診について養護教諭と打ち合わせ

第4週 平成24年4月30日(月)～5月4日(金)

【第4週のねらい】 学校での生活に慣れ、学校探検やいろいろな学習を楽しむにしたりして取り組むようになる。また、祝いなどがあっても落ち着いて過ごせるようになる。

朝	30日(月)	1日(火)	2日(水)	3日(木)	4日(金)
	振替休日	読み聞かせ 健康観察 (挨拶・返事)	6年生による紙芝居 健康観察 (挨拶・返事)	憲法記念日	みどりの日
1		(はじめの算数) なかまづくりとかず 1から10までの数	(はじめの国語) しりとりのひらがなの練習「う」「と」		
2		(はじめの生活) こうしてもたんけんしよう 校庭の春の草花飼育動物	(はじめの国語) (はじめの国語) しらせたいなわたしのなまえ 校長先生と名刺交換		
3		(はじめの図工) しぜんとなかよし	(はじめの生活) がっこうのひととなかよくなるう 校長先生となかよしになろう		
4		(はじめの体育) 固定遊具の遊びかけっこ 鬼遊び	(はじめの算数) (はじめの算数) なかまづくりとかず 1から10までの数		
5		(はじめの書写) はじめのがくしゅう 鉛筆の持ち方 正しい姿勢 ひらがな	(はじめの国語) いろいろなほんよみたいな図書室の本をかりよう 本の借り方		
下校		2:50	2:50		

【成果と課題】 ※支援・準備資料等
 ○探検して見てきたことやわかったことを表した絵をみんなが見られるように掲示する。
 ○生活科のワークシート「なかよくなるう」を準備し、取り組ませた後、掲示する。
 ※みんなが楽しんで遊べるようなルールのある遊びを取り入れる。
 ・図書貸し出しカードの準備
 ・スポットライトにむけての準備

【成果と課題】
 ・第4週は、学校探検を何度も行い、学校の施設の様子や役割に気付いた児童が、「学校の先生と名刺交換をしよう」と学校で働く児童と名刺交換を行い活動を広げていく。最初に校長先生と名刺交換を行った。校長先生も名刺交換を有意義であり、児童は喜んでくれた。次の名刺交換への意欲がわいた。
 ・図書室に通うことで、利用の仕方を理解させることと、本に親しませることができた。

合科的な学習 (4月13日) 指導案 生活 (1/15時) 国語 (1/5時)

- 1 目 標 (◎教科の目標 ○円滑な接続を図るめあて)
 《生活》◎学校には、いろいろな学習をするための教室や施設などがあることや、学校生活はたくさんの人々に支えられていることに気付く。
 《国語》◎学校を探索して、学校にいる人に挨拶をしたり、知りたいことを尋ねたりすることができよう。
 《接続》◎丁寧な言葉遣いや元気な挨拶をする。お話を最後まで聞く。自分勝手な行動をしない。(他者との関連)

展開	児童の活動・意識	評価 (●) 支援 (○) 円滑な接続を図る視点 (☆)
1 学校探検に行くめあてをもつ。(10分)	<ul style="list-style-type: none"> 1階の部屋を見てみたい。 校長先生に会いたい。 どんな先生がいるか探したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が関心をもちそうな具体物を提示して関心を高める。 ○学校探検で行ってみよう、探したいことなどについて話して合わせる。 ○探検で「何かがあるか」「誰が使うか」などを意識させる。
2 挨拶の言葉、尋ねる言葉などの練習をする。(20分)	<ul style="list-style-type: none"> 担任対児童 児童同士 	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶の言葉、尋ねる言葉など児童に発表させた後、丁寧な言葉遣いの練習をさせよう。 ●挨拶や質問をするとき、丁寧な言葉で話す。(態度・様子)
3 探検の約束を知る。(5分)	<ul style="list-style-type: none"> 班ごとに一緒に動く。 走ったり騒いだりしない。 決められた時間に教室に戻る。 入室禁止の場所へは入らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆丁寧な言葉遣いや元気な挨拶をする。(他者との関連) ○事前に全職員に伝えておき協力を依頼する。質問に答えてもらうことや他の教室を見学させていただく。 ☆探検の約束のお話を先生の方を見て最後までしっかりと聞く。(他者との関連)
4 グループごとに学校探検をする。(45分)	<ul style="list-style-type: none"> 2年生の教室があったよ。 外へ行く玄関があったよ。 事務の先生に挨拶ができたよ。 校長先生の椅子に座ったよ。 ベットの部屋があったよ。 上へ行く階段があったよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○探検で見つけたものを記入するカードを持たせ自由に絵などでメモするようにする。 ○担任が所定の場所について、児童の発見に共感していく。 ●探検の場所を考えた施設の観察や学校の人の関わりなどしている。(関心・意欲・態度 (観察・行動・つぶやき)) ●学校にはいろいろな物があることやいろいろな人がいることに気付いている。(気付き) (発表・作品・つぶやき) ☆自分勝手な行動やわがままなことをしないで、仲良く探検する。(他者との関連) ○児童と対話することで、児童の思いを引き出し絵などで表すことができるようにする。 ●探検で見つけたことを伝えるカードに表現したりする。(思考・表現) (発表・作品)
5 探検カードに付け加えをし、見つけたことを話す。(10分)	<ul style="list-style-type: none"> あのベットの部屋は、どんなときに使ったんだろうね。 階段を上がって行くと誰がいるのだろう。何かあるかな。 	

- 3 備 考
 生活 「がっこう だいすき」 15時間扱い (1/15時)
 <関連を図る教科の単元名>
 国語 教育出版社 「みんなと たのしく」 5時間扱い (1/5時)

合科的な学習 (4月24日) 指導案 生活 (5/15時) 体育 (3/6時)

- 1 目 標 (◎教科の目標 ○円滑な接続を図るめあて)
 《生活》◎校庭の様子に関心をもち、校庭の動植物や施設に気付き、かかわることができる。
 《体育》◎校庭を探索して、固定遊具の使い方を知り、友達と安全に楽しく遊びができる。
 《接続》◎進んで戸外で体を動かして仲よく遊ぶ。(生活)

2 展 開

児童の活動・意識	評価 (●) 支援 (○) 円滑な接続を図る視点 (☆)
1 学校探検に行くめあてをもつ。(10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が関心をもちそうな具体物(鉄棒、ブランコなどの写真)を提示し、学校探検への関心を高めるようにする。 ○幼稚園での経験などを思い出させ、校庭でみたいこと、してみたいことについて話し合わせる。 ○探検するとき意識すること「なにがあるのかな」「なににつかうのかな」「だれがつかうのかな」を意識できるようにさせる。 ●幼稚園の経験や入学してからの学校生活で見つけたことを教師に話している。(関心・意欲・態度) (発言)
2 探検の約束を知る。(5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○他の学年は授業中であり、休み時間と授業中の区別を意識させる。 ●校庭の様子に関心もち、校庭の動植物や施設に気付くことができる。 ●腕手(つぶやき・発言)とができる。
3 校庭の学校探検をしながら、固定遊具で遊ぶ。(70分)	<ul style="list-style-type: none"> ○探検で見つけたものを記入できような学校の地図を持たせ、絵や文でメモできるようにする。 ○児童の発見や驚きに共感していく。 ○1年生が学校探検をすることを、事前に職員に伝えて、協力を依頼する。上級学年の体育を見せてもらう。 ●誰とでも仲よく、いろいろな遊具で楽しく遊ぶことができる。 ●運動場のいろいろな遊具で、自分の体をいろいろに動かすことができる。(体育・関心・意欲・態度) (行動観察) ●運動場のいろいろな遊具で、自分の体をいろいろに動かすことができる。(体育・運動の技能) (行動観察) ○固定遊具の安全な使い方を一つ一つ確認する。 ○固定遊具を怖がって取り組めない児童には、教師が補助をする。 ○約束が守れない児童には、約束の再確認や、友達の真似をするようにさせる。 ☆仲良く固定遊具で遊んでいる。(生活) ●探検して見つけたものを伝え合う。(思考・表現) (発言)
4 教室に戻り、まとめをする。(5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○今度は休み時間に遊んでみたいかな。 ●春の草花を見つづけたいな。

- 3 備 考
 生活 「がっこう だいすき」 15時間扱い (5/15時)
 <関連を図る教科の単元名>
 体育 「ゆうぐあそび・かけっこ」 6時間扱い (3/6時)

(3) 実践及び検証方法

平成24年 12月14日(金) stage 2 慣れ親しみをもち段階 『手作りのおもちゃであそぼう』

ねらい

- ◎2年生のおもちゃに興味や関心をもって遊びに参加する。
- ◎小学生のかかわりを楽しみながら進んで活動に参加する。

内容

- ◎2年生のかかわりを楽しみ、親しみをもつ。
- ◎遊びのルールやきまりを聞き、守って遊びを進める。

【 はじめの会をしました。 】

「今日は、楽しみにしていた おもちゃ大会」 2年生のお兄さん、お姉さんが幼稚園の遊戯室におもちゃやさんのコーナーを作ってくれました。

【 はじめの会 】



【 きょうのめあて 】



幼児の感想： どのおもちゃ屋さんが、あるのかな？ とても たのしみだね。

【 おもちゃ屋さんが始まるよ！ 】

① ゴムまきやさん



③ パッチンがえるやさん



⑥ とことこカメやさん



④ かんつみやさん



⑦ コロコロころんやさん



⑧ さかなつりやさん



【 5歳児からお礼の歌と合奏を披露しました。 】

お礼の歌 「ピンク帽子のドレミソファミレド」 合奏 「チキチキ バンバン」



幼児の感想発表：

「きょうは、おもちゃあそびとてもたのしかったです。」
「おにいさん、おねえさん いっしょにあそんでくれてありがとう。」



みんなよろこんでくれました。

おかあさんのおうえんもありました。

☆ たのしかった 2年生との交流 ☆

《 実践を振り返って 》

- 2年生との交流を通して、「ルールを守ること」「話をよく聞くこと」の約束を守ること遊びが更にもっと楽しくなることを、実感し遊びを進めている様子が見られた。
- 職員の前打ち合わせや児童と幼児の姿から流れを計画的に配慮できたこともあり戸惑う様子もなくスムーズに環境を設定し活動が進められることができた。
- 開催場所が幼稚園の遊戯室や保育室であったことで、幼児が安心して自ら行動し遊びに直ぐに取り組めることができた。又、幼稚園に児童が来園し活動を始めたことは、幼児にとっても「お兄さん、お姉さん、幼稚園に遊びに来てくれたよ！」と大変嬉しいようであった。
- おもちゃやさんのコーナーも数が豊富で内容も充実し、幼児も遊び方をやさしく教えてもらい喜んで取り組んでいた様子が見られた。
- 幼児、児童共にグループ毎の行動となったが、互いに協力しながら児童の説明を真剣に聞き、ゲームをしたり会話も弾んだりしていた。時間が経過すること表情もやわらかくなり、親しみをもちながらかわりをもつ姿に互いの経験と成長を感じた。

（幼稚園、保育所）「2年生の作ったおもちゃでいっしょに楽しく遊ぼう！」
 （小学校2年）「みんなで遊ぼう！」

1 活動のねらい

幼児	児童
① 2年生の作ったおもちゃで、2年生とふれあいが楽しく遊ぶことで、小学校の児童や先生、教育活動に慣れ親しむ。 ② 子育ての目安「3つのめねえ」の段階表「他者との関係」の人とかかわる力を高める。	身近にあるものを使って動くおもちゃを作ったり、友達と競争したり、工夫を教え合ったり、楽しみながら遊ぶこと、動くおもちゃの作り、感動したおもちゃのおもしろさを表現すること、小学校への興味・関心を高める。 ③ 2年生が作ったおもちゃで、2年生とおもちゃを楽しく遊ぶ。 ④ 幼児が楽しく遊ぶように、おもちゃ遊びを工夫する。（生活科）

2 活動の実際

(1) 事前活動

幼稚園・保育所
 ◇ 2年生から2年生の招待があったことを伝える。おもちゃ大会の概要を説明する。
 ◇ 保護者への取組の呼び掛け
 ◇ 幼児が参加するおもちゃ大会の実施日時などを園だより等で知らせ、保護者に参観できるように働きかける。

2年生から園長に招待したいことを話す。

園長から2年生に幼児がおもちゃ大会を楽しみにしていることが告げられる。

(2) 交流の実施

小学校
 ◇ 2年生が作ったおもちゃで、2年生と楽しく遊ぶ。
 ◇ 幼児が楽しく遊ぶように、おもちゃ遊びを工夫する。（生活科）

生活科：指導計画
 單元名：うごくうごく
 わたしのおもちゃ (12時間)
 1 うごくおもちゃをつくるう ③時間
 2 もつとくふうしよう。 ③時間
 3 みんなであそぼう ⑥時間 (4、5/6本時)

(3) 本時の活動

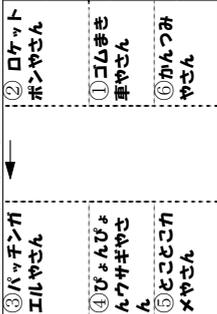
時間	児童(2年)の活動	幼児の活動	指導上の留意点 ☆評価
9:25	幼稚園に移動して会場を準備する。お店の準備など。	トイレを済ませて会場に向かう。	・事前にグループ分けをしておく。(8つのおもちゃや、幼8グループ) ・会の進行は、2年生が行う。 ・楽しい雰囲気を作る。 ・幼児と2年生が対面して遊ぶ。
9:35	①グループごとに座る。 ②はじめの会を行う。 ・めあてを確認する。 幼児にやさしく教えながら、工夫して楽しく遊ぼう。 ③約束の確認を行い、おもちゃややの運営をする。 ・ゴムまき車やさん ・ロケットポンプやさん ・パッチンがえりやさん ・ピヨピヨさん ・ことことカメやさん ・かんつみみやさん ・コロコロロンやさん ・さかなつりやさん ④終わりの会を行う。 ・感想を発表する。(1名)	①グループごとに座る。 ②はじめの会を行う。 ・めあてを確認する。 2年生と一緒に遊ぶ。 ③2年生とおもちゃ遊びを楽しむ。 グループごとにおもちゃやさんを順番に移動して2年生に教えてもらいながら、楽しく遊ぶ。 ④終わりの会を行う。 ・感想を発表する。(1名) ・歌を歌う。	・おもちゃで遊ぶ時は、けがをしないように安全に注意して遊ばせるようにする。 ・各おもちゃややで遊ぶのは7分位、移動は3分位で無理のないように行わせる。 ☆自分のおもちゃややに遊びに来た幼児に、ルールを説明したり一緒に楽しく遊んだらしている。(思考・表現) ・体調等を崩した児童や幼児は先生に知らせる。 ・はじめの会の後に並ばせる。 ・会の進行は、2年生が行う。
11:05			
11:15			

(4) 事後活動

幼稚園・保育所
 ◇ 幼児へ指導
 部屋に戻って、小学生とふれあって楽しかったことなどを振り返る。小学校に入学するという気持ちを高めるようにする。

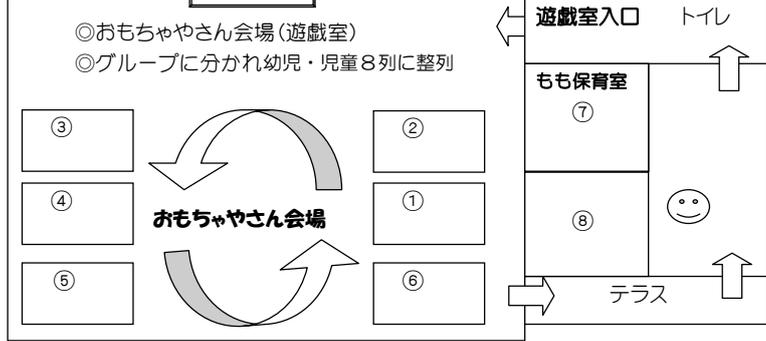
小学校
 ◇ 児童への指導
 おもちゃ遊びを工夫して、幼児と楽しく遊ぶことができたか振り返り、幼児への思いやりの心をもてるようにする。
 頑張った自分、成長した自分に気付くことができるようにする。

会場図 (遊戯室)



3 本実践を振り返って

- ・児童は、幼児と一緒に楽しい交流ができるよう、おもちゃを工夫して作ったり、遊び方の説明やルールをカードに書いたり、練習の時間を設けたりしてきた。
- ・数は、たくさん用意したのにゴムが切れてしまったり、信をもち、自分から進んで声をかけ、交流を通して、幼児と関わることに楽しさを実感できたように思う。
- ・事前の打ち合わせや当日の展開においても幼児の連携がスムーズに行われ、児童や幼児に適切な支援や援助を行うことができた。

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ③ 2年生の作ったおもちゃに興味や関心をもって遊びに参加する。 ④ 小学生とのかかわりを楽しみながら進んで活動に参加する。 	内容	<ul style="list-style-type: none"> ② 2年生とのかかわりを楽しみ、親しみを持つ。 ③ 遊びのルールやきまりを聞き、守って遊びを進める。 	評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ② 2年生とのかかわりをもち、楽しみながら活動に参加できたか。 ③ 手づくりおもちゃに興味や関心をもって楽しく遊ぶ事ができたか。
時刻	予想される幼児の活動		環境の構成及び教師の援助		
8:40	<ul style="list-style-type: none"> ④ 登園する。 ④ 挨拶をする。 ④ 登園時の活動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・手の消毒をする。 ・着替えをする。 ・所持品の始末をする。 ・出席ノートにシールを貼る。 ④ 室内遊びをする。 (トランプ・カルタ・絵本・折り紙など) ④ 片付けをする。 ④ 排泄・手洗い・水分補給をする。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>『3つのめばえ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ㊦ 生活 ㊦ 他者との関係 ㊦ 興味・関心 ㊦ 交流 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ④ 小学生に親しみをもってかかわり、期待感が高められるよう活動内容を検討し、児童との交流が楽しく進められるよう小学校との連携を丁寧にする。 ④ 教師は、テラスで明るく出迎え一人一人に挨拶を交わり視診を行う。 ④ 園生活の中で生活に見通しをもち時間を意識して行動できるよう、2年生と一緒に遊ぶことを知らせ、児童との交流を楽しみに支度ができるよう言葉かけをする。 ④ 寒さに負けず、季節ならではの遊びが楽しめるようカルタやなわとびを用意し、思い切り遊びが楽しめるようにする。 ④ 簡単な数字や文字に関心を持ち、生活の中に取り入れて遊べるようにする。 ④ 教師も遊びながら、楽しく遊びが進められているか見守る。 		
9:10	<ul style="list-style-type: none"> ④ 今日活動について話を聞く。 (2年生との交流・第2、3校時) ④ うめ組に集合する。 		<ul style="list-style-type: none"> ④ おもちゃやさんと遊ぶ事を知らせ、グループ毎に行動できるように再度、確認する。 ④ 小学生の靴置き場を幼児と一緒に準備をする。靴を揃えて始末できているか5歳児も確認する。 		
9:20	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスごと8グループに分かれる。 ・グループの確認をする。 遊戯室に移動する。 		<ul style="list-style-type: none"> ④ 期待感と就学への意欲が高まるよう、認め、共感、励ましの援助を一人一人に応じて行う。 		
9:35 第2校時	<ul style="list-style-type: none"> ④ 2年生を迎える。 ④ 2年生 遊戯室に入室する。 <ul style="list-style-type: none"> ・はじめの会をする。(教師・児童) ・挨拶・歌 (児童・幼児) ・めあてを聞く。(児童・幼児) ・グループごとに座る。(幼児) 		<ul style="list-style-type: none"> ④ 5歳児(もも組)の保育室を使用し、おもちゃやさんをするを幼児に伝える。 		
9:50	<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃやの約束を聞く。(幼児) ・おもちゃやの運営をする。(児童) ・おもちゃで遊ぶ。(児童・幼児) 				
10:20 第3校時	<ul style="list-style-type: none"> ① ゴムまきやさん ② ロケットボンやさん ③ パッチンがえるやさん ④ ビョンビョンうさぎやさん ⑤ とことこカメやさん 		<ul style="list-style-type: none"> ④ 2年生や5歳児の保護者の方へ交流の様子を公開し、幼稚園と小学校への関心や理解を深めてもらえるようにする。幼児が安心して過ごせるように十分配慮する。 ④ 児童と触れ合うチャンスを大切に、試したり一緒に経験したりする事の楽しさを十分に味わえるように配慮する。 ④ おもちゃの遊び方や使い方を、2年生の真似をしながら一緒に遊びが進められているか確認し、一人一人に応じた対応を心がける。 ④ 優しく教えてくれた2年生に言葉を送り、幼児と一緒に「ありがとう」の気持ちを伝える。 		
10:50	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ カンつみやさん ⑦ コロコロコロやさん ⑧ さかなつりやさん ・終わりの会をする。(児童・幼児) ・お礼の歌「ピンク帽子のドレミファソ」 ・感想発表をする。(幼児2名) 		<ul style="list-style-type: none"> ④ 遊戯室や保育室など人数も多く危険な場面も予想されるので、整列できる場所を確保したり、安全に充分配慮したりする行動ができるようにする。 ④ 遊戯室から戻った後は、手洗いやうがいをしっかりとできるようにする。 ④ 楽しかった2年生との触れ合いを思い出し会話を楽しみ、気持ちの伝わっていく心地良さを味わう。 ④ 当番活動では、グループ毎に取り組んでいる様子を十分に認め、友達と仲良く協力してできているか、必要に応じて声をかけ見守っていく。 		
11:25	<ul style="list-style-type: none"> ④ 退室する。保育室に戻る。 ④ 排泄・手洗い・うがいをする。 ④ 給食の準備をする。 ④ 当番活動をする。(台ふき・牛乳・給食当番) ・給食を食べる。 ・食器を片付ける。・歯磨きをする。 ④ 当番活動をする。(台ふき・牛乳・掃除当番) 		<ul style="list-style-type: none"> ④ 2年生からのプレゼントを大切に持ち帰れるように確認する。 ④ 一日の活動を振り返り、楽しかった事を思い出して来週への期待をもてるようにする。 ④ 降園の準備は、ゆとりをもって用意ができるよう時間を充分確保する。 ④ 季節に合った紙芝居を見るなどして、一緒に楽しみクラス全体がつながっている心地良さを幼児と共に味わえるようにする。 		
13:10	<ul style="list-style-type: none"> ④ 降園時の活動をする。 ・園児服に着替え、持ち帰る荷物を準備する。 ④ 2年生との交流を振り返る。 ④ 歌や紙芝居を見る。 ④ 戸外遊び(竹馬・縄跳び・鬼ごっこ) ④ 片付けをする。 		<ul style="list-style-type: none"> ④ 3、4歳児にやさしく接し一緒にバスコースごとに並べたか確認し、安全に降園できるようにする。 		
14:00	<ul style="list-style-type: none"> ④ 挨拶をして降園する。 				
評価・反省	<p>〇2年生との交流を通して、「ルールを守ること」「話をよく聞くこと」の約束を守って遊びが楽しくなることを、実感し遊びを進めている様子が見られた。グループ毎、児童の説明を真剣に聞き、ゲームをしたり会話も弾んだりしていた。時間が経過すると、表情もやわらかくなり、親しみもちながらかかわりをもつ姿に互いの経験と成長を感じた。</p>				

秩父市

1年生との交流 『えんぴつでかいてみよう』

ねらい

- ◎小学校の環境や様々な活動に興味をもって参加する。
- ◎小学生とのかわわりを楽しみながら進んで活動に参加する。

内容

- ◎1年生の教室を見学したり、施設に気付きかわりをもつ。
- ◎1年生と一緒に、線書きをすることを楽しむ。

【 ようこそ 1年生のきょうしつへ 】

1組とうめ組



2組ともも組



【 ピアニカで「キラキラ星」の演奏を聞きました。 】



【1年生の机とイスを使ってみよう！】



幼児の感想： ピアノに、にているね。ぼくも早く使ってみたいな。

【 えんぴつを持ち方をおしえてもらいました。 】

幼児の感想： はじめてのえんぴつだったので、のしくかけたよ。



お兄さん、お姉さんがやさしくおしえてくれました。『ありがとう』



【 1年生と一緒に線書きをしました。 】



1年生:ぼくがかいてみせるよ！

みていてね。

☒ 兄:こんどはぼくだね。

1年生:じょうずにかけたね。



【 学校たんけんをしました。 】

幼児の感想： 学校の中は、とてもおおいね。いろいろなる教室があるね。



◎先生、お姉さんはじめまして！ ◎お兄ちゃんがいたよ。 ◎ろうかは、しずかにあるこう。

☆ たのしかった1年生との交流 ☆

◀ 実践を振り返って ▶

- ◎ 1年生との交流も経験を重ねる度に、親しみをもち交流日を心待ちにする幼児の姿が多く見られるようになったことを感じる。
- ◎ 1年生との交流を通して、緊張感を感じながらも学習の体験ができ「もうすぐ1年生になるね」と、入学への期待感を膨らませている幼児の姿が見られた。
- ◎ 今学期は、幼児と児童の個々のかかわる時間を取り入れ、練習して言葉のやり取りや触れ合いを楽しむことができた。1学期からの取組で、児童と幼児の交流が集団からグループでのかかわりに慣れ、親しみをもてたことで、スムーズに個々の児童との触れ合いにも期待と憧れの気持ちをもちながら進められたと感じる。
- ◎ 1年生に姿勢や鉛筆の持ち方を優しく教えてもらい、更に小学校の先生から直接園児に言葉かけや、触れ合いをしていただいた事で「机や椅子に座れて嬉しかった。」「早く小学生になりたい！」「勉強が楽しかった！」「お姉さんが優しくなった。」など学校に対する安心感や期待感に繋がっていく様子が園児に見られた。

◎園児が実際に児童と触れ合えることにより「小学校ってすごいな」という気持ちで、期待をもって就学に向かっていける良い機会となった。

ねらい	内容	評価の観	期待感を高める段階
8:40	㊤ 小学校の環境や様々な活動に興味をもって参加する。 ㊦ 小学生とのかかわりを楽しみながら進んで活動に参加する。	㊤ 1年生の教室を見学したり、施設に気付きかわりをもつ。 ㊦ 1年生と一緒に、線書きをすることを楽しむ。	㊤ 学校の様子や学習を見学し、大きくなることの喜びを感じられたか。 ㊦ 1年生とのかかわりをもち、楽しみながら活動に参加できたか。
時刻	予想される幼児の活動	環境の構成及び教師の援助	
8:40	㊤ 登園する。 ㊦ 挨拶をする。 ㊧ 登園時の活動をする。 ・手の消毒をする。 ・着替えをする。 ・所持品の始末をする。 ・出席ノートにシールを貼る。 ㊨ 室内遊びをする。 (こま・カルタ・絵本・折り紙など) ㊩ 片付けをする。 ㊪ 排泄・手洗い・水分補給をする。	㊤ 小学校の生活や学習への期待感が高められるよう活動内容を検討し、児童との交流が楽しく進められるよう小学校との連携を丁寧にする。 ㊦ 教師は、テラスで明るく出迎え明るく一人一人に挨拶を交わし視診を行う。 ㊧ 園生活の中で生活に見通しを持ち時間を意識して行動できるよう、学校探検に行くことを知らせ、児童との交流を楽しみに支度ができるよう言葉かけをする。 ㊨ 寒さに負けず、季節ならではの遊びが楽しめるようカルタやこま台を用意し、思い切り遊びが楽しめるようにする。 ㊩ 簡単な標識や文字に関心を持ち、生活の中に取り入れて遊べるようにする。 ㊪ 教師も一緒に遊び幼児の表現に関心を持ちながら、楽しく遊びが進められているか見守る。	
9:10	㊫ 今日活動について話を聞く。 (1年生との交流・・・第2校時)	㊫ 学校探検・1年生との交流があることを伝え、期待感と就学への意欲が高まるよう、承認、共感、励ましの援助を一人一人に応じて行う。 ㊬ 小学校の靴入れを使用する。靴を揃えて始末できているか確認する。	
9:20	㊭ 幼稚園出発 ㊮ 小学校低学年の玄関に到着。 ・約束を聞く。「靴はそろえましょう」 「廊下は静かに歩きましょう」	㊭ ① 整列 挨拶 ㊮ ② 先生の話 ㊯ ③ 児童の演奏 ㊰ ④ 線書きをしよう	
9:35 第2校時	㊱ 1年生教室へ入室する。(1組・うめ組) (2組・もも組) ・挨拶 (児童・幼児) ・先生の話聞く。(児童・幼児) ・キラキラ星の演奏を聞く。(幼児) ・椅子の座り方 (児童) ・椅子に座る。(幼児)	㊱ ① たのしく なかよく すごしましょう。 ㊲ ③ ピアノ	
9:50	・線書きをする(児童・幼児) 「えんぴつでかいてみよう」 ・記念のプレゼントをもらう。(幼児)	㊲ ㊳ えんぴつを用意する。㊴ ㊴ ㊵ 線書きプリント ㊵ ㊶ 幼児と児童が1枚のプリントを使用する。	
10:20	・感想発表 (幼児2名)	㊶ 児童と触れ合うチャンスを大切に、試したり一緒に経験したりする事の楽しさを十分に楽しめるように配慮する。 ㊷ 鉛筆の使い方や椅子に座る姿勢など、1年生の真似をしながら取り組んでいるか確認し、一人一人に応じた対応を心がける。	
休み時間	㊸ 退室する。 ㊹ 小学校のトイレを使う。校内見学をする。	㊸ 優しく教えてくれた1年生に声をかけ、幼児と一緒に「ありがとう」の気持ちを伝える。 ㊹ 小学校のトイレを見学し、幼稚園との違いに気付いたり、使った履物を協力して片付けたり出来るようにする。廊下に整列できる場所を確保し安全面に充分配慮する。	
10:50	㊺ 幼稚園に戻る。 ㊻ 排泄・手洗い・うがいをする。	㊺ 戸外から戻った後は、手洗いやうがいをしっかりとできるようにする。 ㊻ 楽しかった線書きや1年生との触れ合いを思い出し会話を楽しみ、気持ちの伝わっていく心地良さを味わう。	
11:10	㊼ 1年生との交流を振り返る。 ・感想を発表する。 ・プレゼントを大切に。 ㊽ 給食の準備をする。 ㊾ 当番活動をする。(台ふき・牛乳・給食当番) ・給食を食べる。 ・食器を片付ける。 ・歯磨きをする。 ㊿ 当番活動をする。(台ふき・牛乳・掃除当番)	㊼ 当番活動では、グループ毎に取り組んでいる様子を十分に認めながら、友達となかよく協力してできているか、必要に応じて声をかけ見守っていく。 ㊽ 給食後は廊下やテラスが混み合うので走らず落ち着いて移動できるようにする。 ㊾ 1年生からのプレゼントを大切に持ち帰れるように確認する。 ㊿ 一日の活動を振り返り、楽しかった事を思い出し、明日への期待をもてるようにする。	
13:10	㊿ 戸外遊び(竹馬・縄跳び・鬼ごっこ) ㊽ 入室する。 ㊾ 降園時の活動をする。 ・園児服に着替え、持ち帰る荷物を準備する。 ・楽しかったことを思い出し会話を楽しむ。	㊽ 降園の準備は、ゆとりをもって用意ができるよう時間を十分確保する。 ㊾ 季節に合った紙芝居を見たり会話をしたりしながら、一緒に楽しみクラス全体がながっている心地良さを幼児と共に味わえるようにする。 ㊿ 異年齢児にやさしく接し一緒にバスコースごとに並べたか確認し、安全に降園できるようにする。	
14:00	㊿ 歌や紙芝居を見る。 ㊽ 挨拶をして降園する。		
評価・反省	○1年生に1対1で姿勢や鉛筆の持ち方を優しく教えてもらい、更に小学校の先生からも直接園児に言葉かけや、触れ合いをしていただいた事で「机や椅子に座れて嬉しかった。」「早く小学生になりたい!」「勉強が楽しかった」「お姉さんが優しくかった」など学校に対する安心感や期待感に繋がっていく様子が園児に見られた。 ○園児が実際に児童と触れ合えることにより「小学校ってすごいな」という気持ちで、期待をもって就学に向かっていける良い機会となった。		

(4) その他（幼・保・小接続スケジュール）

平成24年度

幼・保・小接続スケジュール

秩父市立吉田幼稚園

	保育所	幼稚園	そだてよう	3つのめばえ	小学校
7:30	登所			◎活動に向けて区切りをつけるために、時計の短針で表し掲示する。 ◎椅子に座って活動する時間をとる。(25分~30分)	通学班登校 (学校バス・徒歩)
8:40		登園(園バス・徒歩) 登園の活動(所持品の始末)		◎元気に自分から挨拶をする。 ◎靴や上履きを決められた靴箱に正しく揃えて置く。 ◎決められた時間内に、持ち物の始末をする。 ◎衣服の着脱やたたみ方を練習する。 ◎好きな遊びを見つけて、仲良く遊べるようにする。	第1校時
9:00	幼稚園との交流開始 (3・4・5歳児) クラス別保育開始	保育活動		◎保育所・幼稚園・小学校の交流に興味・関心をもつ。 ◎友達と一緒に工夫して遊びを進める。 ◎よいこと悪いことがわかる。	第2校時 ◎時間割に準じる (交流時は別計画による)
9:35		戸外遊び 室内遊び 集まり 園外保育(散歩・遠足) 交流保育(保育所・小学校) 行事保育活動 歌・リズム・伝承遊び		◎進んで戸外で体を動かして友達と仲良く遊ぶ。 ◎安全に気を付けて行動する。 ◎園庭や校庭の様子に気付き、動植物に優しい心で接する。 ◎みんなで楽しむ遊びと個人でチャレンジしていく遊びを楽しむ。 ◎共同で道具を使い、仲良く片付けをする。 ◎生活の中で文字や数字を使う。 ◎自分の名前を覚えたり、鉛筆の持ち方を真似して書いたりする。 ◎元気よく「はい」と返事をする。 ◎先生や友達に「ありがとう」「ごめんなさい」が自然に言える。 ◎先生や友達の話に注意して聞き、理解する。 ◎自分の思いや考えを先生や友達に言葉で伝える。 ◎話をする人の方へ体を向けて聞く。 ◎みんなの前で伝えたいことや感じたことを話す。	第3校時 第4校時
10:40	交				
11:45	流	給食 当番活動 牛乳パックリサイクル 保育室内外の清掃 降園の活動(所持品の始末)		◎水道の使い方や蛇口の締め方を練習する。 ◎水や紙を無駄に使わない。 ◎きまりやマナーを守りながら楽しく食べる。 ◎牛乳パックのひらき方を手順よく行う。(上部・側面のひらき方) ◎当番の仕事や給食の用意片付けを決められた通りに行う。 ◎当番活動を友達と一緒にする。 ◎好きな本を選んだり、元気に歌ったりする。 ◎紙芝居や絵本に最後まで興味をもつ。 ◎みんなの前で思ったことを自分の言葉で話す。 ◎一日の生活を振り返り、明日を楽しみに降園する。 ◎安全に気を付けて行動しバス・徒歩降園する。	給食 給食当番 牛乳パックリサイクル 清掃 (教室・通路・廊下) 屋休み 第5校時
13:10	保育所へ戻る				第6校時
	午睡(曜日指定) おやつ	降園(園バス・徒歩) ●希望預かり保育 ●希望預かり保育降園		◎入学を控えた3学期は、午睡をしないで生活のリズムを整える。 ◎小さい友達的面倒をみたり、自分たちでできる手伝いをしたりする。 ◎自分たちで考え、遊びを進めていく。(伝承遊び等)	帰りの会(1年生・2年生) 1年生・2年生下校 第6校時
16:00	順次降所				学年下校 (学校バス・徒歩)

秩父市

7 成果と課題

(1) 成果

- ・ 幼・保・小の連絡会をはじめ、職員同士の交流や研究を通して、両者が子供たちの様子を伝え合うことにより、一層園児や児童への理解を深めることができた。
- ・ 幼児については本来の目的である「小1プロブレム」対策が円滑に進められた。
- ・ 幼児にとっては、ルールを伴って授業することの大切さが、交流授業を通じて自然と身に付けることができた。
- ・ 小学生にとっては、交流授業を通じて自分たちの取組が認められ、喜んでもらえることの大切さが実感でき、自信へとつながった。
- ・ 小学校の先生から声をかけられ、触れ合いをもてたことで、学校に対する安心感や期待感につながっていく様子が幼児に見られるようになった。

(2) 課題

- ・ 就学時における接続部分の重要性や必要性を再確認でき、接続部分を丁寧に行うことで、その前後の指導の内容にも広がりが見られることを感じた。
- ・ アプローチカリキュラムは、年度ごとの5歳児の実態に応じた内容にすることが重要である。さらに3歳児、4歳児との成長段階を踏まえ幼稚園や保育所全体で取り組みながら検討することが大切である。
- ・ 協同的で系統的、組織的な接続プログラムシステムを確立させることが必要である。

加須市の取組

1 研究主題

『豊かにかかわり合う 学び合う 育ち合う幼児・児童の育成』

2 ねらい

子供の育ちや学びの連続性を踏まえ、幼児期から小学校1年生の接続の時期における生活や学習の工夫について研究する。

3 研究指定校・研究協力園の状況 (平成24年5月1日現在)

	学校名・園(所)名	児童・幼児数	学級数	教職員数
研究指定校	加須市立志多見小学校	164名	12学級	12名
研究協力園	加須市立志多見幼稚園	18名	2学級	2名
	加須市立第三保育所	29名	3学級	10名

<研究指定校・研究協力園の概要等>

【加須市立志多見小学校】

加須市の西に位置し、田園風景のある緑豊かな景観である。地域の教育力が高く、学校応援団の活動も活発で「おらが学校」という思いで、たいへん協力的である。

幼・小連携は、研究指定以前から交流を計画的に推進しており、運動会や避難訓練等の行事や低学年と幼児の合同遠足などの交流も行われている。また、昨年度から私立志多見保育園と交流を始め、接続期における交流を始めたところである。

【加須市立志多見幼稚園】

志多見小学校長が園長を兼務し、園舎も校舎に隣接して設置されている。幼稚園の生活発表会に児童を招待したり、低学年の生活科とリンクして、幼稚園の「遊び」と「授業」を兼ねて、年4回むさしの村に一緒に出かけたりしている。

【加須市立第三保育所】

志多見小学校から2キロメートルの所に位置し、志多見幼稚園とは、以前から幼児による交流を推進している。昨年度からは、小学校とも連携して、児童と幼児の交流や学校だより・保育所だより等を交換し、互いの教育内容の理解・連携について取り組んでいる。

研究主題

豊かにかかわり合う 学び合う 育ち合う 幼児・児童の育成

学習指導要領、教育要領、保育指針
埼玉県教育振興基本計画
埼玉県指導の重点・努力点
加須市教育行政施策

確かな学力 豊かな心

仮説

視点 1

教育課程の継続性・系統性を踏まえて、滑らかな接続を工夫する。幼稚園では、幼児の「3つの自立」を高め「3つのめばえ」を身につけさせる。小学校では、児童の「学びの基礎」を高め「学力の3つの要素」を育成する。



すくすく部



学びの基礎

連携と交流によるつながりのある教育課程を展開すれば、学びの基礎を高め、幼児・児童の主体性や人（もの）とかかわる力の基礎・豊かな心を育成できるであろう。

学び合い

育ち合い



かかわる力の基礎

視点 2

発達段階を踏まえて、身近に接する機会を計画的・意図的に設け、交流を深めることにより、子供たちの「人（もの）とかかわる力の基礎」や「豊かな心」をはぐくむ。



交流

わくわく部

情報

豊かな
かかわり

幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方 接続期プログラムの実践及び検証

■ 幼児期の成果を効果的に引き継ぐために ■

- ★それぞれの時期の学びの発達段階を明確にして、教育・保育を分担する。
- ★幼・保・小の教職員が互いの子供観・指導法などを理解し合う。
- ★子供の育ちや学びをつなぐための指導の一貫性・連続性を追求する。
- ★幼児・児童の交流においては互恵性を重視して交流計画を立てる。
- ★保護者・地域を巻き込んだ教育活動の推進を図る。

連携

すくすく部

- 保育・授業づくり
- アプローチカリキュラム
- スタートカリキュラム
- 接続期における情報交換
- 3つの達成目標
- 3つのめばえとの関連

ステップ4

わくわく部

- 交流活動計画の工夫
- 保育や授業の相互参観
- 保護者の交流
- 交流遠足
- 幼P小P「子育て宣言」
- 実態調査（アンケート）
- 教職員合同研修会

絆づくり

◆ 子供のよさを引き出し・伸ばす ◆ 一人一人の子供の夢をはぐくむ ◆ 地域との連携



指導

各教科等

5領域

学級経営

連携と交流によるつながり
のある教育課程の展開
学びや育ちをつなげる
幼・保・小の連携

PDCA

各研究部



5 事業の年間計画（年度当初の連携の段階 ステップ3）

※参考資料 P1 「幼・保・小連携段階表」

加須市立志多見小学校・加須市立志多見幼稚園・加須市立第三保育所

時 期	研修会・連絡協議会等	参加対象教職員		
		小学校	幼稚園	保育所
4月	幼・小合同研修会 ・研究組織の確立・研究の方策	○	○	
5月	幼・保・小連絡協議会 ・接続期における授業参観 ・情報交換	○	○	○
	接続期における学年交流「むさしの村」 ・幼稚園児と1、2年生	○	○	
	交流遠足 ・幼稚園児と1、2年生	○	○	○
	接続期における検証授業研究会 ・家庭地域連携課 加須市教育委員会 「がっこうとなかよしになろう」	○	○	○
6月	接続中期におけるアンケートの集計	○	○	
	東部教育事務所教育支援担当訪問 「人とかかわる力」育成のための授業 ・幼稚園公開保育と小学校全学年授業公開	○	○	○
7月	幼・小合同研修会 夏季休業中の研修計画	○	○	
	1年生と幼稚園児「シャボン玉遊び」	○	○	
	幼・保・小合同研修会 ・東京成徳短期大学教授 和田信行先生 「接続期プログラムにおける実践」	○	○	○
8月	研究紀要の作成と指導案検討会	○	○	○
9月	幼・保・小交流 ・1、2年生と志多見幼稚園・第三保育所 幼児の交流	○	○	○
	埼玉東萌短期大学幼児保育学科長視察 ・幼稚園施設と1年生授業の見学	○	○	
10月	就学時健康診断 ・家庭教育アドバイザー「子育て講座」	○	○	
	家庭地域連携課訪問 ・家庭地域連携課 東部教育事務所 加須市教育委員会 3年生と幼稚園児との交流	○	○	
11月	指導案検討会	○	○	○
	研究発表会準備	○	○	○
12月	研究発表会と講演 ・公開保育と公開授業 ・東京成徳短期大学教授 和田信行先生 「幼・保・小連携の考え方と具体的な進め方」	○	○	○
1月	加須市教育委員会要請訪問 ・5年「わたしたちにできること」	○	○	
2月	入学説明会・体験入学 ・「学習体験」 ・アンケートの回収 子育て宣言の配布	○	○	○
	なかよし給食 ・「給食体験」	○	○	○
3月	お別れ遠足 1年生と幼稚園児	○	○	

6 研究の具体的な取組
 <子供の育ちや学びをつなぐ教育の構造図>



<接続期の設定>

接続前期		学びの一貫性・連続性		接続中期		接続後期	
1月	3月	幼稚園・保育所	→	小学校	4月	5月	7月
人間関係が深まり、学び合いが可能な時期				新しい人間関係の中で自覚的な学びが可能な時期			
《アプローチカリキュラム》 3つのめばえ				《スタートカリキュラム》 3つの達成目標			
幼児期 【ねらい】 方向目標 【カリキュラム】 経験カリキュラム 【方法等】 ○個人・友達 小集団が中心 ○「遊び」を通じた総合的な指導 ○環境構成により、幼児の活動を方向づける		教職員の相互理解推進 ○授業・保育参観・保育体験 合同研修会 ○研究授業 子供の学びをつなぐ ○情報の共有化 ○引き継ぎ（指導要録） 環境に適応する体験 ○幼児と児童の交流体験 ○学校見学・行事の交流		小学校 【ねらい】 到達目標 【カリキュラム】 教科カリキュラム 【方法等】 ○学級・学年が中心 ○時間割に基づく生活 ○教科の目標・内容に沿って選択された教材による授業			

(1) アプローチカリキュラム

〈接続前期〉 1月 (5歳児)

<p>幼児の姿</p>	<p>・冬休み中に経験したことを教師や友達に楽しそうに話す姿が見られる。 ・こま回しやなわとび等自分で目標を決めて、挑戦したり繰り返して練習をしたりする姿が見られる。 ・友達といろいろな遊びをしながら遊ぶのルールを確認したり、自分達でつくったりして遊びを進めている。 ・自分の思いや考えを伝えるだけでなく相手の思いも受け入れて、協力しながら遊ぼうとする。 ・白い息や霜柱をみて不思議に思ったり、寒さを感じたりしている。</p>		<p>スタートカリキュラムとのつながり</p> <p>生活する力 ・目標をもって根気よく取り組む。 人とかわる力 ・友達と遊びのルールを決めて遊ぶ。 学ぶ力 ・自然の不思議さや美しさに気付く。 ・文字や数を遊びに取り入れる。</p>	
<p>ねらい</p>	<p>○目標に向かって根気よく取り組む。 ○友達と意見を出し合いながら自分達で遊びを進める。 ○冬の自然現象を不思議に思い、関心をもって試したり調べたりする。</p>	<p>内容</p> <p>○自分なりに目標をもったり難しい物に挑戦したりして頑張る。 ○自分の思いを言ったり相手の話を聞いたりして共通のイメージをもつて遊びを楽しむ。 ○水や霜など冬の自然に興味・関心をもつて試したり調べたりする。</p>	<p>活動</p> <p>・こま回し、なわとび固定遊具に挑戦する。 ・霜柱を見たり氷を作ったりする。 ・生活発表会の練習をする。 ・ドッジボール、サッカー ・トランプ、カルタなどをやる。 竹馬、はねつき、バトミントンで遊ぶ。</p>	
<p>教師の環境構成援助</p>	<p>○なわとびやこま回しなど目標をもって取り組むようになるので、跳べた数を表にしたり、いろいろな種類のこまを用意したりして根気よく取り組めるようにする。 ○正月遊びを通して教や文字、言葉に関心がもてるようにし、自分たちの生活の中に取り入れて遊べるようにする。 ○互いの考えを伝え合いながら友達と協力し合って遊びを進めている姿を大切にし、言葉を使って伝え合う楽しさや喜びが味わえるようにする。 ○寒さに負けず戸外で友達と一緒に活動し、遊んだ後はうがい手洗いを忘れないよう習慣化する。</p>			
<p>3つのめばえ 保護者との連携</p>	<p>生活</p> <p>○冬休みに崩れた生活のリズムを取り戻すため、起床・就寝の時間を決め規則正しい生活をする。</p>	<p>他者との連携</p> <p>○うれしいこと悲しいことなどを家の人に話し、家の人は子供は子供の目を見て受け答えをする。</p>	<p>興味・関心</p> <p>○冬の自然に興味や関心をもつて子供と一緒に観察したり調べたりする。○文字遊びや数字を数えたり集めたりする。</p>	
<p>小学校との連携</p>	<p>A 安全への配慮 ・生活習慣の見直し ・正しい暖房器具の使い方 ・換気がいい、手洗いの奨励</p>	<p>B 保育環境の工夫 ・自分で調べたり試したりすることですべて探求心を育てる環境づくり</p>	<p>C 人間関係の工夫 ・相手の話をよく聞いたり、自分の思いを言葉で伝えたりできる友達とのつながりづくり</p>	<p>考察</p> <p>・正月遊びを通して教や文字に関心をもち幼児が増えた。 ・崩れた生活のリズムを家庭と連携をとることで早く戻すことができた。 ・目標を決めて物事にやり組んだ事で根気強さが身についた。</p>
<p>20日 雪遊び 30日 1・3年生と地域の応援団の方達と昔遊び</p>				

アプローチャーカリキュラム 〈接続前期〉 2月（5歳児）

<p>幼児の姿ねらい</p>	<p>・行事や生活の流れを知って、次の活動を予測したり、自分で準備や片付けをしたりする姿が見られる。 ・発表会に向かかって、自分の役割を一生懸命やったり友達と協力したりしながら頑張る姿が見られる。 ・数字や文字に興味をもって、遊びに取り入れられている姿が見られる。 ・不思議に思ったことを調べたり、今までの経験を思い出し、工夫したりして遊ぶ姿が見られる。</p>	<p>スタートカリキュラムとのつながり</p> <p>生活する力 ・見通しをもった生活人とかがかわる力 ・決まりを守る。分達でトラブルを自分で解決する。 学ぶ力 ・文字や数を取り入れる。表現活動をする。</p>	<p>生活する力 ・見通しをもった生活人とかがかわる力 ・決まりを守る。分達でトラブルを自分で解決する。 学ぶ力 ・文字や数を取り入れる。表現活動をする。</p>	
<p>ねらい</p>	<p>○生活に見通しをもって自分達の生活を進める。 ○目的に向かかってクラス全体で協力し合い、みんなですげえ満足感を味わう。 ○就学することに興味・関心をもつ。</p>	<p>○自分で生活の仕方や遊びを考え、見通しをもって活動する。 ○友達のよいところを認め協力し合って、一つの事をやり遂げる。 ○小学校生活の様子を見学し、一日体験入学する。</p>	<p>○自分で生活の仕方や遊びを考え、見通しをもって活動する。 ○友達のよいところを認め協力し合って、一つの事をやり遂げる。 ○小学校生活の様子を見学し、一日体験入学する。</p>	
<p>活動</p>	<p>・時間を決めて活動する。 ・一日体験入学・鬼のお面づくり ・氷をつくる。 ・一年生の授業に参加する。 ・生活発表会の練習をする。 (ダンス劇歌など) ・生活発表会をする。 ・生活発表会へ招待する。</p>	<p>・時間を決めて活動する。 ・一日体験入学・鬼のお面づくり ・氷をつくる。 ・一年生の授業に参加する。 ・生活発表会の練習をする。 (ダンス劇歌など) ・生活発表会をする。 ・生活発表会へ招待する。</p>	<p>・時間を決めて活動する。 ・一日体験入学・鬼のお面づくり ・氷をつくる。 ・一年生の授業に参加する。 ・生活発表会の練習をする。 (ダンス劇歌など) ・生活発表会をする。 ・生活発表会へ招待する。</p>	
<p>と教師環境構成</p>	<p>○生活発表会では、一人一人のよさが発揮できるようになり、充実感や満足感が味わえるようにする。 ○登場人物の気持ちや考えながら劇ごっこをしたり、音やリズムを楽しみながら合奏したりする楽しさを味わわせる。 ○生活の流れや時間の目安がわかるように、カレンダーや時計を使って知らせ、幼児が見通しをもって生活できるようにする。 ○小学校を見学したり授業に参加したりして就学に期待をもたせる。 ○今まで使った物や用具・材料等を利用して、遊びに必要な物を自分で考えたり工夫したりできるようにする。</p>	<p>○生活発表会では、一人一人のよさが発揮できるようになり、充実感や満足感が味わえるようにする。 ○登場人物の気持ちや考えながら劇ごっこをしたり、音やリズムを楽しみながら合奏したりする楽しさを味わわせる。 ○生活の流れや時間の目安がわかるように、カレンダーや時計を使って知らせ、幼児が見通しをもって生活できるようにする。 ○小学校を見学したり授業に参加したりして就学に期待をもたせる。 ○今まで使った物や用具・材料等を利用して、遊びに必要な物を自分で考えたり工夫したりできるようにする。</p>	<p>○生活発表会では、一人一人のよさが発揮できるようになり、充実感や満足感が味わえるようにする。 ○登場人物の気持ちや考えながら劇ごっこをしたり、音やリズムを楽しみながら合奏したりする楽しさを味わわせる。 ○生活の流れや時間の目安がわかるように、カレンダーや時計を使って知らせ、幼児が見通しをもって生活できるようにする。 ○小学校を見学したり授業に参加したりして就学に期待をもたせる。 ○今まで使った物や用具・材料等を利用して、遊びに必要な物を自分で考えたり工夫したりできるようにする。</p>	
<p>3つのめばえ 保護者との連携</p>	<p>○「もうすぐ1年生」と意識をしながら生活のリズムを整える。○協同で使う物を大切に使う。○自分の身のまわりのことを、時間を決めて最後までやる。 ○幼稚園での出来事を家族に話し、家族は子供の気持ちにより添って受け答える。○大人が手本を見せながら小さい子やお年寄りに優しくする。○名前を呼ばれたら元気に返事をする○「ごめんなさい」や「ありがとう」を自分から言う。 ○子供がもった興味や関心について知り、じっくり取り組めるようにする。○子供のよいところや頑張っている姿をほめる。○親子で絵本を見たり、読み聞かせをしたりして共感する。</p>	<p>○「もうすぐ1年生」と意識をしながら生活のリズムを整える。○協同で使う物を大切に使う。○自分の身のまわりのことを、時間を決めて最後までやる。 ○幼稚園での出来事を家族に話し、家族は子供の気持ちにより添って受け答える。○大人が手本を見せながら小さい子やお年寄りに優しくする。○名前を呼ばれたら元気に返事をする○「ごめんなさい」や「ありがとう」を自分から言う。 ○子供がもった興味や関心について知り、じっくり取り組めるようにする。○子供のよいところや頑張っている姿をほめる。○親子で絵本を見たり、読み聞かせをしたりして共感する。</p>	<p>○「もうすぐ1年生」と意識をしながら生活のリズムを整える。○協同で使う物を大切に使う。○自分の身のまわりのことを、時間を決めて最後までやる。 ○幼稚園での出来事を家族に話し、家族は子供の気持ちにより添って受け答える。○大人が手本を見せながら小さい子やお年寄りに優しくする。○名前を呼ばれたら元気に返事をする○「ごめんなさい」や「ありがとう」を自分から言う。 ○子供がもった興味や関心について知り、じっくり取り組めるようにする。○子供のよいところや頑張っている姿をほめる。○親子で絵本を見たり、読み聞かせをしたりして共感する。</p>	
<p>小学校との交流</p>	<p>A 安全への配慮 ・暖房器具の正しい使い方 ・こまめな換気 ・健康管理 環境整備</p>	<p>B 保育環境の工夫 ・活動の始まりや終わりの時間を知らせ、見通しをもつての活動 ・自分の力を発揮したり友達と協力し合ったりして頑張る場づくり</p>	<p>C 人間関係の工夫 ・協同性の育ち ・自分達の手でやり遂げた満足感 ・友達のよさ</p>	<p>考 察 ・小学校との交流を重ねてきたことで幼児は、児童に対して憧れの気持ちをもつようになった。 また、1年生の授業に参加したことで就学に対する気持ちも高まった。 ・1年生の授業に親子で参加したことで保護者においても就学に対する不安が減り安心して入学を待つようになった。</p>
<p>3日 一日体験入学 16日 生活発表会へ小学生を招待</p>	<p>6日 学校ごっこ 14日 1年生の授業へ参加</p>	<p>6日 学校ごっこ 14日 1年生の授業へ参加</p>	<p>6日 学校ごっこ 14日 1年生の授業へ参加</p>	

幼児の姿	・友達と協力して生活発表会をやり遂げた事で、自信をもち、自分たちで遊びを進めて楽しんでる。 ・小学校見学や授業に参加した後、文字や数字に関心をもち生活に取り入れて遊んだり学校ごっこをしたりする姿が見られる。 ・年長として自分達が出来てきたことを年少児に引き継ぎ、修了までの時間を大切に過ごそうとする。 ○自分の力を十分に発揮し友達と協力しながら、いろいろな活動を進める。 ○就学へ期待をもち自信をもって生活する。 ○春の訪れを感じる。	スタートカリキュラムとのつながり 生活する力 ・自信をもって行動する。 人とかかわり ・自分の成長に気が付き感謝する。 学ぶ力 ・就学に関して期待感をもつ。
ねらい	内容 ○今まで遊んできた事を十分楽しむ。 ○友達のおよや自分達の成長を知る。 ○話を最後までよく聞く。 ○日差しの暖かさや花のつぼみなどに気付き春を感じる。	
活動	・集団遊びをする。 ・仲良し給食 ・年少への引き継ぎ ・部屋をきれいにする。 ・お別れ遠足 ・修了に向けて練習 ・修了式	
と教師環境の構成援助	○好きな遊びを友達と十分楽しめるよう時間や場所を確保する。 ○幼稚園生活を振り返り楽しかったことや経験した事など思い出して、それぞれが成長したことを喜び合えるようにする。 ○今まで世話になったり人達にお礼を言ったり感謝の気持ちをもったりする。 ○保育室を整頓したり掃除をしたり、年少児への引き継ぎをしていく。 ○日差しや風の暖かさを感じたり、チューリップの芽が出たことを見たりして、春の訪れを感じる。 ○就学に向けて一日の生活のリズムを整えていく。○親子で通学路の確認をする。○自分のことは自分でできるように再確認をする。 ○人の話を最後まで聞いて行動する。○言葉で伝え合う。○自分達の成長した事に対し感謝の気持ちをもつ。 ○文字や数字に関心を高め、生活に取り入れる。○やってみたいことやなりたいたいことに憧れの気持ちをもつ。	
3つのめばえ 保護者との連携	生活 他者との関係 興味 関心	
小学校との交流	A 安全への配慮 ・通学路の確認 ・交通安全 B 保育環境の工夫 ・就学に期待がもてるような環境づくり C 人間関係の工夫 ・感謝の気持ち、尊敬の気持ちの育成 考察 ・今までの経験を振り返った事で、自分の成長したことに気付き、就学への気持ちが高まることにも、周りの人達への感謝の気持ちで生まれました。	
7日お別れ遠足	8日仲良し給食	

(2) スタートカリキュラム

スタートカリキュラム

第1週

ねらい	4月 9日(月)	4月10日(火)	4月11日(水)	4月12日(木)	4月13日(金)	
業前活動	【テーマ】 4月 9日(月) 9:00からの受付。一番乗りは8:30。志多見保育園の子どおはようございませう。と名前入りの挨拶。だっだっ、と日体験入学の時に一緒にお勉強やったもんね。」と一言。	【テーマ】 4月10日(火) 9:00から必要なきまじりや約束を少しずつ覚えながら、小学校生活を楽しむスタートさせる。	【テーマ】 4月11日(水) 9:00から必要なきまじりや約束を少しずつ覚えながら、小学校生活を楽しむスタートさせる。	【テーマ】 4月12日(木) 9:00から必要なきまじりや約束を少しずつ覚えながら、小学校生活を楽しむスタートさせる。	【テーマ】 4月13日(金) 9:00から必要なきまじりや約束を少しずつ覚えながら、小学校生活を楽しむスタートさせる。	
1	<p>9:00からの受付。一番乗りは8:30。志多見保育園の子どおはようございませう。と名前入りの挨拶。だっだっ、と日体験入学の時に一緒にお勉強やったもんね。」と一言。</p> <p>○入学式 ・呼名 ・大きな声 で返事で返事</p>	<p>【学習用具のしまい方】 ○健康観察 のやり方 ○返事の仕方の ○トイレの使い方の 使い方</p> <p>○ぬり絵 あそび ○おりがみ あそび ○お絵かき あそび</p>	<p>【志多見っ子「よい子の生活」】 学 ○返事の仕方 ○自己紹介 の仕方 ○自己紹介 本番</p> <p>国 ○読み聞かせ (6年生) ○鉛筆の 持ち方 ○正しい姿勢</p>	<p>【並び方・広がり方】 ○読み聞かせ (6年生) ○鉛筆の 持ち方 ○正しい姿勢</p> <p>音 ○みんなであ うたおう</p>	<p>【並び方・広がり方】 ○読み聞かせ (6年生) ○鉛筆の 持ち方 ○正しい姿勢</p> <p>音 ○みんなであ うたおう</p>	<p>【並び方・広がり方】 ○読み聞かせ (6年生) ○鉛筆の 持ち方 ○正しい姿勢</p> <p>音 ○みんなであ うたおう</p>
2	<p>○入学式 ・呼名 ・大きな声 で返事で返事</p> <p>・教室、自 分の机、 担任名を 覚える。 ・靴箱確認</p>	<p>○ぬり絵 あそび ○おりがみ あそび ○お絵かき あそび</p> <p>○お帰りの 準備の仕方 ○一斉下校 の並び方</p>	<p>○自己紹介 本番 ○グループの 友達と自己紹介 ○握手 ごっこ</p> <p>音 ○みんなであ うたおう ○手あそび 歌 ○お帰りの 準備</p>	<p>○みんなであ うたおう</p> <p>音 ○みんなであ うたおう</p>	<p>○みんなであ うたおう</p> <p>音 ○みんなであ うたおう</p>	
3	<p>・チェューリップの葉 に一人一人が名前 入りの花をつけて 29人の友達を確 認し、よいよスター トである。</p>	<p>○お帰りの 準備の仕方 ○一斉下校 の並び方</p>	<p>○みんなであ うたおう ○手あそび 歌 ○お帰りの 準備</p>	<p>○みんなであ うたおう</p> <p>音 ○みんなであ うたおう</p>	<p>○みんなであ うたおう</p> <p>音 ○みんなであ うたおう</p>	
4	<p>○アプローチカリキュラムで、志 多見保育園が志多見小学校へよ く遊びに来ていたの、靴箱も 教室もすでに知っていた。 ○他園からの子供には志多見幼 園の子供が進んで教えていた。</p>	<p>○2時間目の図工では3つのこと を自由に選択し、活動した。初 めは、机に向かって取り組ん でいたが、段々活動する幅が 広がりが、友だちと床で仲よく 折り紙や絵かきを楽しんでい た。</p>	<p>○前日のお帰りの準備の仕方を忘 れていた。「まだ、1年生」を 実感した。余裕をもって下校40 分前から準備を始めていってよかつ た。</p>	<p>○初めての 配膳 ○当番の 仕事 ○給食の 準備</p>	<p>○初めての 配膳 ○当番の 仕事 ○給食の 準備</p>	
5	<p>○入学式には幼稚園担任も一緒に 参加し、子供の成長を温かく見 守っていた。そこで、子供も親 も安心して式に臨むことができ た。</p>	<p>○3時間目の音楽では、幼稚園・ 保育園それぞれでやった歌遊び をした。「わあ、なつかしい。」 「私、上手にできたよ。」と生 き生きと活動できた15分だっ た。</p>	<p>○アプローチカリキュラムの「学校ご っこ」でやった「ウェイトレステ ーム」を思い出し、給食の準備が できた。 ○入学前から学校探検をし、保健室や 養護の先生を知っていたため、怪 我をしたときに自分達だけで行くこ とができた。</p>	<p>○アプローチカリキュラムの「学校ご っこ」でやった「ウェイトレステ ーム」を思い出し、給食の準備が できた。 ○入学前から学校探検をし、保健室や 養護の先生を知っていたため、怪 我をしたときに自分達だけで行くこ とができた。</p>	<p>○アプローチカリキュラムの「学校ご っこ」でやった「ウェイトレステ ーム」を思い出し、給食の準備が できた。 ○入学前から学校探検をし、保健室や 養護の先生を知っていたため、怪 我をしたときに自分達だけで行くこ とができた。</p>	

今週の西慮事項

- A 安全への配慮
 - 登下校の様子の確認
 - 安全な校舎内での生活
 - 養護教諭との連携
- B 授業の工夫
 - 児童の集中が途切れないうちに45分の授業時間を区切る。(合科・モジュール型)
 - 幼稚園環境を考慮した学習
 - 児童の興味関心を生かした学習課題の設定
- C 人間関係の工夫
 - 担任との信頼関係を築き、学校への不安を軽減
 - 健康観察の声がけ
 - 友達を作ろうゲームの実践

指導メモ

初めて取り組むことに対しては、一つ一つ丁寧に教えた。同じ内容に受けとめながら根気よく接するよう心にもう一つ、「先生、何をやるの？」と尋ねられ、一つ一つ確認しながらの毎日であった。

アプローチカリキュラムとのつながり

- ◎幼稚園・保育園の遊びを取り入れた楽しい活動
- ◎生活科を核とした総合的な活動
- ◎時間を決めての活動

スタートカード キュラム 2週

ねらい	4月16日(月)	4月17日(火)	4月18日(水)	4月19日(木)	4月20日(金)
業前活動	【テーマ】 読書	友達と過ごすことに興味をもち、楽しく遊んだり学習に取り組んだりする。	音楽集会	学活(歯みがき)	チャレンジタイム
1	国語(B) 国語 ・名前を書こう ・鉛筆の持ち方 ・正しい姿勢	国語 ・となえうたで姿勢を覚えるようにした。 ・3年生が隣なので上手に広がること ができた。	国語 ○知りたいたいみんなの名前 ・自己紹介の練習	国語 ○なかよし ・どうぶつさんとお話 ・平仮名を読む。	国語 ○なかよし ・どうぶつさんとお話 ・平仮名を読む
2	国語 ○点をなぞろう ・運針練習	算数 ○なかまづくり ・同じ仲間 ・数の比べっこ	算数 ○なかまづくり ・同じ仲間 ・数の比べっこ	道徳・生活(A) ○学校を歩こう ・学校の中を歩くとき のルール、マナー ・2年生と仲よく	算数 ○5までの数の読み方 ・プロック遊び
3	生活(A) 生活 ○学校のことを知りたいたいな ・屋上探検 ・学校の1日 ・約束や生活習慣	図工 ○どうぞよろしく ・自分の似顔絵	学校行事 ○養育測定 ・体育着に着替える ・服のたたみ方	道徳・生活(A) ○校庭で遊ぼう ・遊びの約束 ・2年生と仲よく	体育(B) ○体を動かそう ・並びっこ ・かげっこ (6年生と合同)
4	生活・音楽 ○なかよく ・なりたいたいな ・かもつ列車 ・好きなもの遊び	図工 ○好きなもの ・いいばい ・自分の好きな絵	音楽・生活 ○なかよく ・なりたいたいな ・うた ・手遊び	算数 ○5までの数の読み方 ・プロック遊び	国語 ○あいうえお ・平仮名練習
5	生活・音楽 ○2週目に入り、色 ・色な準備がスムーズに できるようなった。 ・今日から朝マラソン にも時間通り参加した。	図工 ○好きなもの ・いいばい ・自分の好きな絵	音楽・生活 ○なかよく ・なりたいたいな ・うた ・手遊び	道徳・生活(B) ○知りたいたいみんなの名前 ・名刺作り (学習参観)	国語 ○あいうえお ・平仮名練習

今週の配慮事項

- A 安全への配慮
- ・2年生と一緒に学校探検をする時の約束やきまを指導する。
- B 授業の工夫
- ・鉛筆の持ち方を知る。
 - ・正しい約束やきまを指導する。
 - ・名刺の名前が書きやすいようにB5の大きさにする。
 - ・6年生と体育を一緒にしてもらう。
- C 人間関係の工夫
- ・他園、他所から入学してきた児童の人間関係作りに配慮する。

指導メモ

1つ1つの学習が着実に身につけている。登校後のランドセルの始末に始まり、外へ出るまでの活動がスムーズになり、学校生活に少しずつ慣れてきている。

▽朝、泣いて登校する子あり

※席替えをした。
◎下校時、掃除中の6年生と出あい、「○○ちゃん さようなら」「○○くん さようなら」と自然と言っていた。

◎50m走をハンディをつけて6年生が走ってくれて真剣勝負となり子供も大満足。しつぽとりでも汗をかいて楽しめた。「またやってみようね」「あー楽しかった」

◎50m走をハンディをつけて6年生が走ってくれて真剣勝負となり子供も大満足。しつぽとりでも汗をかいて楽しめた。「またやってみようね」「あー楽しかった」

◎50m走をハンディをつけて6年生が走ってくれて真剣勝負となり子供も大満足。しつぽとりでも汗をかいて楽しめた。「またやってみようね」「あー楽しかった」

◎50m走をハンディをつけて6年生が走ってくれて真剣勝負となり子供も大満足。しつぽとりでも汗をかいて楽しめた。「またやってみようね」「あー楽しかった」

◎50m走をハンディをつけて6年生が走ってくれて真剣勝負となり子供も大満足。しつぽとりでも汗をかいて楽しめた。「またやってみようね」「あー楽しかった」

3週

ねらい	4月23日(月)	4月24日(火)	4月25日(水)	4月26日(木)	4月27日(金)
業前活動	【テーマ】 学校生活に慣れる。				
1	<p>国語</p> <p>◎ なかよし 絵を見てみつけたものを発表する。 平仮名の練習</p>	<p>学活</p> <p>◎ 6年生の読み聞かせ3人で読んでくれた。「あつ、おちゃんのおねえちやん1」と親しみわいて真剣にお話を聞くことができた。6年生も読むのが大変上手であった。月1回2人ずつ来て読んでもらった。</p>	<p>音楽集</p> <p>◎ 朝＝音楽集 ・高学年のきれいな声を聞いて大変よかった。 体育が終わる</p>	<p>学活(歯みがき)</p> <p>◎ 自主マラソンは雨のため中止。 8:40～10:30までフツ化物塗布・歯科健診がかかってしまった。1日の学習がうまくいかなかった。</p>	<p>チャレンジタイム</p> <p>国語</p> <p>◎ あいうえお 声を出して読む。 ひらがなの練習</p>
2	<p>国語</p> <p>◎ なかよし 絵を見て見つけた物を発表する。 平仮名の練習</p>	<p>算数</p> <p>◎ 10までのかず 練習 ・6～10の練習</p>	<p>音楽</p> <p>◎ うたで なかよしのさんぽ むつくり くまさん</p>	<p>道徳</p> <p>◎ ちくちく言葉と ふわふわ言葉</p>	<p>算数</p> <p>◎ 1～10までの練習 ・ブロック遊び ・カード遊び</p>
3	<p>生活</p> <p>◎ みんなで この学校の校探検をした。 2年生との学校探検で見つけたものを話し合う。</p>	<p>図工</p> <p>◎ どうぞ よろしく 顔絵の続きを描く。 仕上げる。</p>	<p>算数</p> <p>◎ 10までのかず 練習 ・6～10の練習</p>	<p>国語</p> <p>◎ みんな たのしく 返事の練習 ・ひらがなの練習</p>	<p>音楽</p> <p>◎ うたで なかよし 手と手で あいさつ かもつ列車</p>
4	<p>生活</p> <p>◎ みんな この雨の日のかさ の入れ方・く つを 指す</p>	<p>図工</p> <p>◎ どうぞ よろしく 好きなものを描く。</p>	<p>国語</p> <p>◎ みんな たのしく 返事の練習</p>	<p>算数</p> <p>◎ 10までのかず 練習 ・6～10の練習</p>	<p>体育</p> <p>◎ 6年生と ジャンケンゲーム かけっこ しっぽ取り</p>
11:50～	<p>給食指導</p> <p>◎ 雨だったので、雨の日のかさの入れ方・くつを指す</p>	<p>給食指導</p> <p>◎ 1:00～幼稚園さんと写真撮影。ペアを組んで撮った。1年間、このペアで活動する予定である。</p>	<p>給食指導</p> <p>◎ 10までのかず 練習</p>	<p>給食指導</p> <p>◎ 12:00まで勉強。その後、給食</p>	<p>給食指導</p> <p>◎ 12:00～給食 下校準備終了の頃、1:20～幼稚園さん初めて1の1へ。一緒に「さんぽ」を歌い「かもつ列車」で遊んだ。</p>
5	<p>安全への配慮</p> <p>・トイイレ、水道の使い方等の細かい点(水を飛び散らせない。使用後、蛇口は下向きに。蛇口に口をつけない。)の指導をする。</p>	<p>給食指導</p> <p>◎ 昼休み 1:00～幼稚園さんと写真撮影。ペアを組んで撮った。1年間、このペアで活動する予定である。</p>	<p>給食指導</p> <p>◎ 6才臼歯の磨き方 ④首に巻くタオル洗濯はさみ1個</p>	<p>給食指導</p> <p>◎ 6才臼歯の磨き方 ④首に巻くタオル洗濯はさみ1個</p>	<p>給食指導</p> <p>◎ 6才臼歯の磨き方 ④首に巻くタオル洗濯はさみ1個</p>

今週の配慮事項

A 安全への配慮
・トイイレ、水道の使い方等の細かい点(水を飛び散らせない。使用後、蛇口は下向きに。蛇口に口をつけない。)の指導をする。

B 授業の工夫
・本格的な学習の始まりにより、得手・不得手という感情が芽生える時期のため、一人一人の表情(反応)を見て対応する。

C 人間関係の工夫
・初めて席替えをして新しい友達と仲よくできるように、グループでの活動を多くする。

指導メモ

第3週を迎え、子どもたちはすつかり学校生活に慣れてきました。4/26には初めての昼休みも体験し、大変楽しかった様子です。が、まだまだ、幼稚園・保育園の子どもと一緒に遊ぶことは少ない。今後は、なるべく一緒に遊ぶ機会を増やすことが必要である。

スタートカリキュラム 6週

ねらい	5月14日(月)	5月15日(火)	5月16日(水)	5月17日(木)	5月18日(金)
業前活動	【テーマ】朝の会(あさがおの芽が出た)	自分で考えて行動できるようにする。	朝の会(学校探検の準備)	朝の会	読書
1	国語 ○ごじゅうおん ・音読 ・ひらがな	生活 ○がっこう ・いらいちお部屋を見つけたよ ・先生方と握手、インタビューをしよう。	生活 ○がっこう ・学校探検の練習 ◎学校探検(2~4) 3回目の探検は「先生方へのインタビュー」を通して先生方と仲よくなるうというテーマで行った。「校長先生はどうだんが好きなんだよ。やっぱり加須はどうだんだよね。」「校務員さんは私と同じイチゴが好きなんだでわからなかったから家庭科写真の部屋は家庭科室と6-1。5年生と一緒に先生とお茶を飲みに校歌を歌った。2時間の予定が3時間へ。ゆっくり・じつ探検できたのも小規模校で車道であるよさ。放送室では、マイクの前で昼の放送のまねっこ。図書室では本の貸し出しのまねっこ。大満足の学校探検だった。	体育(A) ○新体力テスト ・反復横跳び ・上体起こし練習	国語 ○ごじゅうおん ・音読 ・ひらがな
2	国語 ○ごじゅうおん ・音読 ・ひらがな	生活 ○みつけたよ ・学校マップを仕上げる。	生活 ○みつけたよ ・学校マップを仕上げる。	道徳 ○ぶんちようになったママーくん	算数 ○なんばんめ
3	道徳 ○あかるいあいさつ(埼玉県の資料で学習)	図工 ○みつけたよ ・学校探検で見つけた人や物の陰を描く。 ・学校マップにはる。	算数 ○なんばんめ	国語 ○ごじゅうおん ・音読 ・ひらがな	国語 ○ここのひつ練習(道具はまとめを用意しました。) 国語 ○ごじゅうおん ・ひらがな △鉛筆の持ち方がうまくいかない。くじやく方式で練習し始めた。
4	生活 ○がっこうをたんけんしよう ・インタビューのしかた	生活 ○がっこうをたんけんしよう ・インタビューのしかた	国語 ○ごじゅうおん ・音読 ・ひらがな	算数 ○なんばんめ	体育(A) ○新体力テスト ・20mシャトルラン
5	給食指導 ○ひらがなのおけいこ	給食指導 ○ごじゅうおん ・音読 ・ひらがな	1:05 下校	12:00~ 給食指導 学活 ○かかりをよきめよう	12:00~ 給食指導 音楽 ・ひらいたひらいた ・かくれんぼ

今週の配慮事項

A 安全への配慮
 ・新体力テストの20mシャトルランは持久力を測るものである。子どもは様子をつきつき、十分な準備運動をしてから取り組む。

B 授業の工夫
 ・楽しみながら学校で働く人や施設の様子に気づき、学校は楽しいところだとわかっていくように事前の準備をしっかりとしておく。

C 人間関係の工夫
 ・1学期の係活動を決める。1つの係に集中したときには、お互いにゆずりあうことができ、2学期に優先してその係のお友達は、2学期に配慮する。

指導メモ

入学して1か月。自分たちで何でもやってみよう、やってみようという気持ちで非常に強く出てきた。学校探検を通りも、先生方との生活で密着するようになり、前より、自己中心的な行動が目立ってきた。反面、自己中心的な行動が目立ってきた。自ら意味で一人一人の子供に、丁寧に目を向ける必要がある。

スタタートカトリキユラム 7週

5月21日(月)		5月22日(火)		5月23日(水)		5月24日(木)		5月25日(金)	
ねらい	【テーマ】 学校生活に慣れ、自分で考えて行動できるようにする。	5月22日(火)	5月23日(水)	5月24日(木)	5月25日(金)	5月24日(木)	5月25日(金)	5月24日(木)	5月25日(金)
業前活動	金環日食観察 食の観察 29人全員集合で観察できた。 7:30ごろわっかになり、子どもたちは大興奮。素晴らしい朝となった。	金環日食観察 食の観察 29人全員集合で観察できた。 7:30ごろわっかになり、子どもたちは大興奮。素晴らしい朝となった。	食の観察 29人全員集合で観察できた。 7:30ごろわっかになり、子どもたちは大興奮。素晴らしい朝となった。	食の観察 29人全員集合で観察できた。 7:30ごろわっかになり、子どもたちは大興奮。素晴らしい朝となった。	食の観察 29人全員集合で観察できた。 7:30ごろわっかになり、子どもたちは大興奮。素晴らしい朝となった。	食の観察 29人全員集合で観察できた。 7:30ごろわっかになり、子どもたちは大興奮。素晴らしい朝となった。	食の観察 29人全員集合で観察できた。 7:30ごろわっかになり、子どもたちは大興奮。素晴らしい朝となった。	食の観察 29人全員集合で観察できた。 7:30ごろわっかになり、子どもたちは大興奮。素晴らしい朝となった。	食の観察 29人全員集合で観察できた。 7:30ごろわっかになり、子どもたちは大興奮。素晴らしい朝となった。
1	国語 ○ごじゅうおん	算数 ○なんばんめ	体育 ・雨のため 8:20~9:30 新体力テスト ※雨模様	JRC登録式 生活 ○発表会の準備をしよう ・グループごとに練習をする	健康観察 生活 (A)(C) ○東武動物公園 ・生きものとなかよしになろう ・幼稚園さん、2年生と遊ぼう	遠足 ・8:37 出発 ・9:27 到着 ①10:00~10:30 動物とふれ合う(H23年度中に教頭が予約を入れてくれたので助かった。) ②10:30~11:00 ふれあい広場自由行動 ③11:00~11:30 くま→チンパンジー→ペンギン→らくだ→サル→ワニ ④11:30~12:00 アシカショー ⑤12:00~1:35 おべんとう ⑥1:45~2:20 ハートフルSL乗車 ⑦2:20~2:40 写真 ⑧2:55 3:37 出発 到着	チャレンジタイム 国語 ○えとことばでかきましよう	・8:05 昨日の遠足のお礼の挨拶のために幼稚園の先生と少しく遊んだ。その後、ジャージャー花係さんは幼稚園の花壇に水をあげていた。	○発表練習 ・だいぶうまきできてきた。
2	国語 ○ごじゅうおん	体育 (A) ○新体力テスト ・50m走 ・ソフトボール投げ ・立ち幅跳び	生活 ・生活科の続き ▽1つのグループを見ていると、他のグループはほぼ自習状態になってしまふ。 ・それでもまずは1グループずつ見せて、1時間になってしまふ。 ・今日は3/7で	○グループ毎の練習 ・幼稚園でバスの乗り方の練習。 ・「大型バスに乗るその後、園児が作ったきりん、わにを外に出し、動物を見る練習。 ・10:35まで園庭で1,2年、幼稚園で遊んだ。外を見られると、志多見保育園がちやうどころろ。 →すぐに声をかけ、11:30まで1年、幼稚園、保育園で遊んだ。志多見保育園の先生に久しぶりに会い、保育園出身者は大喜び。年長さんにも1年生に久しぶりに会い、園庭、校庭で思いっきり遊び、気がついたら4時間目だった。	算数→生活 ○なんばんめ	算数→生活 ○なんばんめ	算数→生活 ○なんばんめ	算数→生活 ○なんばんめ	算数→生活 ○なんばんめ
3	生活 ○発表会の準備をしよう ・各グループの発表原稿を考える。	図工 ○発表会の準備をしよう ・絵を描く	学活 ○バスの乗り方	生活 ○発表会の準備をしよう ・ひらいたひらいた	生活 ○発表会の準備をしよう ・ひらいたひらいた	生活 ○発表会の準備をしよう ・ひらいたひらいた	生活 ○発表会の準備をしよう ・ひらいたひらいた	生活 ○発表会の準備をしよう ・ひらいたひらいた	生活 ○発表会の準備をしよう ・ひらいたひらいた
4	生活 ○簡単な文章にまとめる。	生活 ○発表会の準備をしよう ・絵を描く	学活 ○バスの乗り方	生活 ○発表会の準備をしよう ・ひらいたひらいた	生活 ○発表会の準備をしよう ・ひらいたひらいた	生活 ○発表会の準備をしよう ・ひらいたひらいた	生活 ○発表会の準備をしよう ・ひらいたひらいた	生活 ○発表会の準備をしよう ・ひらいたひらいた	生活 ○発表会の準備をしよう ・ひらいたひらいた
12:00	給食指導 書写	給食指導 国語	給食指導 硬筆2回目	給食指導 音楽	給食指導 音楽	給食指導 音楽	給食指導 音楽	給食指導 音楽	給食指導 音楽
5	給食指導 書写 ○硬筆練習	給食指導 国語 ○硬筆練習	給食指導 硬筆2回目	給食指導 音楽 ○音楽朝会の練習 ・ひらいたひらいた	給食指導 音楽 ○音楽朝会の練習 ・ひらいたひらいた	給食指導 音楽 ○音楽朝会の練習 ・ひらいたひらいた	給食指導 音楽 ○音楽朝会の練習 ・ひらいたひらいた	給食指導 音楽 ○音楽朝会の練習 ・ひらいたひらいた	給食指導 音楽 ○音楽朝会の練習 ・ひらいたひらいた

今週の配慮事項

A 安全への配慮
・新体力テストでの暑さも考え、適時に水分補給をさせよう。
・校外学習でのバスの乗り降り、現地での活動について前日に安全に安全に楽しめることの大切さを指導する。

B 授業の工夫
・各グループの考えを大切にしながら、子供達の1人1人のよさが表現できるように、また、グループとしてのまとめでうまくいくように常に相談にのることができるとしておく。

C 人間関係の工夫
・バスの中、現地での活動が、幼稚園さんが2年生とスムーズにできるように、前日に十分ふれあう時間を設定し、不安なく楽しめるようにする。

指導メモ

楽しみにしていた遠足が終了。ゆったりと過ごしたし、暑くて水分補給をたため、帰校が20分遅れた。申し訳なかった。子どもは。帰りのバスも目がランラン。ビデオを見て帰ってきた。

(3) 実践及び検証方法

①アプローチカリキュラム時期における取組

育ちをつなぐ

【体験入学】(2月)



安心して、志多見小学校に入学してください。楽しみに待っています。



わあ。上手だね。もうりっぱな1年生だよ。

ほめられるとうれしくなっちゃうな。もっとがんばるぞ。



線が上手に書けないよお。

ぼくも初めはうまく書けなかったよ。

【なかよし給食】(3月) 幼稚園と保育所の幼児が小学校の給食を体験



めんの袋はこうやってあけるんだよ。

お兄さんありがとう。



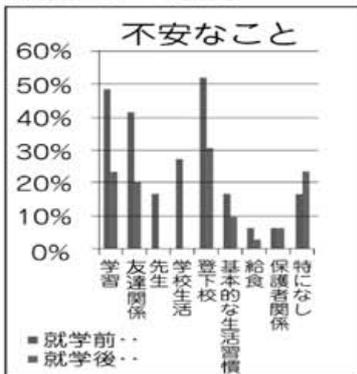
はしてつかめるかな。ゆっくりやってみよう。

見てね。やってみる。

成果

- 1年生は幼児とかがわる中で自分の成長を感じることができた。
- 不安をもった幼児も学校生活を体験し、入学への期待をふくらませることができた。

保護者との連携



項目	1月(人数)	5月(人数)
【学習】	14	7
【友達関係】	12	6
【先生】	5	0
【学校生活】	8	0
【登下校】	15	9
【基本的な生活習慣】	5	3
【給食】	2	1
【保護者関係】	2	2
【特になし】	5	7

幼稚園・小学校PTA作成



子供と話し合う時間が増えました。
家庭学習の様子を見届けるようになりました。

②スタートカリキュラム時期における取組

【本年度入学児童に係る情報交換会】



①幼稚園・保育所・保育園の職員

- ・子供たちが安心して楽しそうに学校生活を送っていた。
- ・学校になじむのが大変早いと感じた。
- ・卒園後の子供たちの様子(成長)がわかり、大変うれしかった。
- ・友達関係が良好であると感じた。(コミュニケーションがうまくとれている。)

②小学校の職員

- ・懐かしい幼稚園や保育園の先生方に会えた子供たちは、とてもうれしそうだった。子供の安心感につながったと思う。
- ・新入生の人数は、ほぼ幼稚園から半数、志多見保育園から半数の学級であるが、大きなけんかがなく、子供たちは楽しそうに学校生活を送っている。
- ・なかよし給食(幼児が小学校で給食を食べた体験)を行ったことで、スムーズな給食準備につながっている。
- ・個人に係る情報交換ができたので、個々の指導に生かしたい。

☆研修会・情報交換会を行うことで、幼稚園や保育園の先生方の子どもに対する考え方を知り、アプローチカリキュラムからスタートカリキュラムの指導に生かすことができた。

③「スタートカリキュラム」検証授業（生活科）

がっこうだいすき

学校が大好きになり、明日も学校に来たいと思える子どもを育てる。



活動を中心とした学習

遊び的要素
教科学習の要素



保健室には2年の生活科で使う赤ちゃんがいたよ。



校長先生は加須のうどんが大好き。



これから劇を始めるよ。みんなに学校のことを教えるね。



けがをしたら洗って消毒をしてもらおうね。



がっこうだいすき



養護の先生がインタビューに答えてくれたよ。



音楽室を探検して6年生と校歌を歌ったよ。



校庭にある遊具のクイズだよ。わかったら手をあげてね。

♥学校探検で見つけたことを自分なりの表現方法で発表し、伝え合うことができた。

合科
モジュール
型

♥友達の発表を聞いて「自分も探したい」という思いをもつことができた。



◎保護者の声

●幼稚園の時に1年生の授業を参観した時は、「来年になったらみんなこんなにしっかりするのかな？」と、とても心配でしたが、わずか何ヵ月でとてもしっかり頼もしくなりました。授業も楽しいので、子供が学校に行くのをとても楽しみにしているのがわかりました。



学校のことがよくわかったよ。学校のことがもっと大好きになったよ。



わかったことを学校図鑑にまとめて今度の1年生にモブゼントするね。

④学びをつなげる交流授業

人間関係・表現 「えのくあそびをしよう」(幼稚園年長・年少) 合科 描いた喜びを歌で表す<音楽科>
 図画工作科 「クルクルぐるーり」(1年生) 思いを言葉で表す<国語科>

○育てたい力(人とかかわる力)
 幼 児: 1年生と一緒に絵の具遊びを楽しみながら、自分の思いを相手に伝える。
 1年生: 液体粘土の心地よい感触を味わい、友達や幼児とかがわりながら、指や手の平で思いのままに「くるくる」を描き、楽しく遊ぶ。

小学校教師の幼児への支援	幼稚園教師の児童への支援
<ul style="list-style-type: none"> ○1年生とのかかわりに戸惑っている幼児がいたら、「1年生に聞いてごらん。」と声をかける。 ○自分の思いをはっきり伝えていたり、1年生と楽しく活動したりしている幼児に「上手に描けたね。」と声をかけ、幼児の思いに共感する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児とのかかわりに戸惑っている1年生がいたら、「何色が好きか聞いてごらん。」「どこに描きたいか聞いてごらん。」と声をかけ、援助する。 ○「〇〇ちゃんと一緒に楽しく描けたね。」と幼児が喜びを感じている様子を伝える。

ぼく、赤がいい。

うん!

指で描くのって楽しいね。

人間関係・環境 「しゃぼんだまあそびをしよう」(幼稚園年長・年少) 合科 気付きを文字で表す<国語科>
 生活科 「なつだ いっしょにあそぼうよ」(1年生) 気付きを絵で表す<図工科>

○育てたい力(人とかかわる力)
 幼 児: 1年生とシャボン玉遊びをする中で、一緒に活動する楽しさを味わう。
 1年生: 水を使った遊びに関心をもち、工夫したり協力したりし、友達や幼児とかがわりながら楽しく遊ぶ。

小学校教師の幼児への支援	幼稚園教師の児童への支援
<ul style="list-style-type: none"> ○シャボン玉が上手にできない幼児には「1年生に聞いてごらん。」とやさしく声をかける。 ○ストローやハンガーなどいろいろな道具を用意し、幼児の思いに応えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「上手にできるようになったね。」「さすが1年生だね。」と声をかけ1年生の成長を認め、励ます。 ○「1年生のおかげで〇〇ちゃんも上手にできるようになったよ。」と幼児が喜びを感じている様子を伝える。

おねえちゃん上手!

競争しよう!

風によって飛んでいくね。

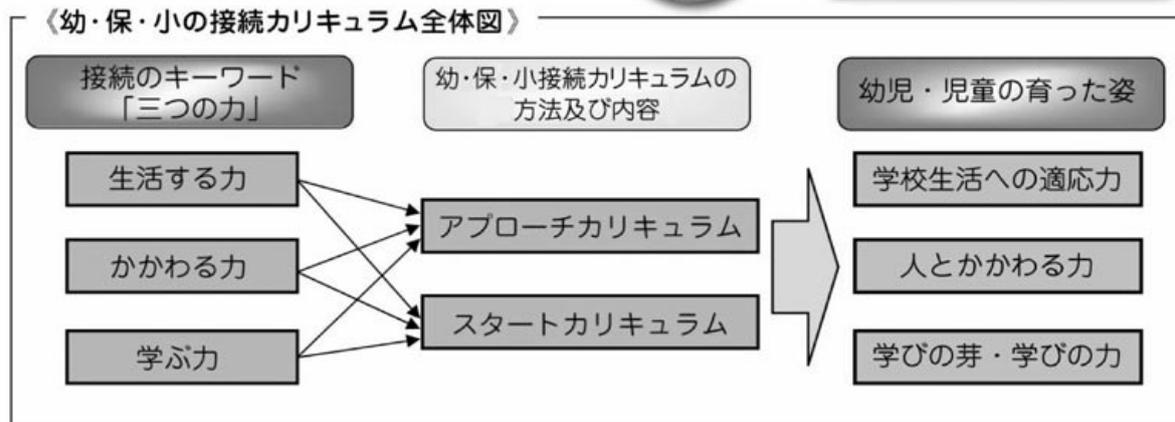
成 果

- 1年生の児童は、幼児や友達とかがわりながら活動する中で、幼児にやさしく声をかけたり、上手なやり方を教えたりし、幼児や友達を思いやる気持ちの大切さに気付き、よりよい人間関係をつくることができた。
- 幼児は、1年生との絵の具遊びやシャボン玉遊びを通して、「1年生ってすごい。」と1年生のよさに気付き、「1年生みたいになりたい。」という憧れの気持ちが芽生えた。

(4) その他 (幼・保・小職員合同研修会)

東京成徳短期大学教授 和田信行先生の講話
「接続期プログラムの実践にあたって」

- アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムの方法や内容を具体的に学び、理解を深めた。
- 連携推進上の課題を明確にして、今後の指導内容や教育課程の工夫につなげていきたい。



7 成果と課題

(1) 成果

- ・ 計画的にアプローチカリキュラムやスタートカリキュラムを実践したことで入学時における1年生への移行がスムーズに行われ、個に応じた支援・指導ができたように感じられた。
また、保護者の思いや願いを把握していくことによって、担任と保護者との円滑な関係が図られた。
- ・ 幼児とかかわる中で、低学年児童は、主体的に学習に取り組めるようになり、高学年児童も下学年児童に優しく接する児童が増えた。かかわる力の基礎・かかわる力の視点を明確にしたことで、教師も意識して指導した結果と考える。
- ・ 教師間の連携を充実させていくことで、幼稚園・保育所・小学校の互いの教育の在り方をこれまで以上に理解できるようになり、互いのよさをそれぞれの教育に生かすことができるようになった。
- ・ 第三保育所・私立志多見保育園・志多見幼稚園・志多見小学校の4者間において、幼児と幼児・幼児と児童が、豊かにかかわり合う中で、学び合い・育ち合うことを目指した交流を実施することができた。

(2) 課題

- ・ 接続期におけるアプローチカリキュラムやスタートカリキュラムを編成及び実施したことで、学びの連続性を踏まえた研究を推進することができるようになってきている。今年度の反省を活かして、来年度につながる後戻りのない、教育課程の工夫を実現していきたい。
- ・ 幼・保・小連携を継続して推進していく中で、中学校との連携も考慮しながら取り組んでいきたい。

3 参考資料

家庭で身につけてほしいこと

規則正しい生活リズムを身につけましょう

- ・「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣を身につける
- ・登園などの時刻を意識し、行動する

戸外で遊びましょう

- ・進んで戸外に出て遊ぶ
- ・安全に気をつけて行動する
- ・交通ルールを知り、守る

自分のことは自分でしましょう

- ・着替えや衣服の始末をする
- ・かばんや帽子などを決まった場所にしまう
- ・脱いだ靴をそろえる

物を大切にしましょう

- ・遊んだ後の片づけをする
- ・食べ物や紙などを大切に使う

家族とのあたたかいつながりをつくりましょう

- ・園での出来事や思ったこと、考えたことを家族に話す
- ・家の手伝いをする
- ・兄弟姉妹や友達と遊具などの貸し借りを一緒に遊ぶ
- ・小さい子どもやお年寄りに思いやりをもって接する

返事やあいさつをしましょう

- ・元気よく「はい」と返事をする
- ・「おはよう」「いただきます」「ごちそうさま」「ありがとう」「ごめんなさい」が自然に言える

きまりや約束を守りましょう

- ・よいこと、悪いことがわかり、考えながら行動する

いろいろなものへの興味・関心を高めましょう

- ・身近な自然などに触れ、美しさや不思議さなどを感じる
- ・興味・関心をもったものにじっくりと取り組む
- ・いろいろなものに疑問をもち、尋ねる

生活の中で、文字や数などに触れましょう

- ・家の人に絵本や物語を読んでもらう
- ・数を数えたり、集めたり、分けたりする
- ・園の名前や自分の年齢などが言える

夢をもちましょう

- ・やってみたいことやなりたい人などのあこがれをもつ

子育ての目安「3つのめばえ」

生活

健康で安全な生活をする

自分のことは自分でする

物を大切にする

他者との関係

人とかかわる力を身につける

言葉で伝え合う

きまりや約束を守る

興味・関心

好奇心や探究心をもっていろいろなものにかかわる

文字や数量などの感覚を豊かにする

自分の思いを表現する

幼稚園・保育所・

先生や友達と食べることを楽しむ

- ・食事に関するきまりやマナーを守りながら
- ・食べることの大切さがわかり、食べ物に
- ・生活の流れや準備・片づけの手順などを

戸外で体を動かす

- ・十分に体を動かして遊ぶ

安全に気をつけて行動する

- ・危険な場所や危険な行動がわかり、安全

生活に必要な活動を自分でする

- ・着替えや持ち物の始末を自分でする
- ・脱いだ靴をそろえる
- ・困ったときに自分で考えて解決しようとする

自分の物や皆で使う物を大切にする

- ・遊んだ後の片づけをする
- ・共同で遊具を使い、協力して片づけをする
- ・水や紙などを大切に使う

友達と一緒に遊ぶ

- ・年少児などに思いやりをもってかかわる
- ・自分の気持ちとは異なる友達の気持ちを
- ・自分が嫌なことや困ることは友達に
- ・友達と共通の目的に向かって取り組み、

親しみをもって日常のあいさつを

- ・元気よく「はい」と返事をする
- ・先生や友達に「おはよう」「さようなら」

言葉をとおして先生や友達と心を

- ・先生や友達の話を注意して聞き、理解
- ・自分の思いや考えを先生や友達に言葉

友達と共に生活する充実感を味わ

- ・友達と楽しく生活する中できまりの大
- ・集団の生活の流れや時刻を意識し、み
- ・よいこと、悪いことがわかり、考えな
- ・互いのよさを認め合い、友達と協力し

生活の中で美しいものや心を動か

- ・身近な自然などに触れて遊び、美しさ
- ・自然物や自然の事象を遊びや生活に取
- ・動植物と触れ合い、生命の大切さに気

興味・関心をもったものに集中し

- ・考えたり工夫したりして遊ぶ
- ・いろいろなものに関心をもち、より深
- ・話や短い物語を集中して聞く

生活の中で文字や数量に触れる

- ・文字で伝えることの楽しさや意味に気
- ・生活のいろいろな場面で、物や人の数
- ・生活のいろいろな場面で、量を測った

自分の思いを表現する

- ・思ったことや感じたことを言葉で表現
- ・考えたことや経験したことをいろいろ
- ・絵本や物語の世界を楽しみ、感動を味

認定こども園で身につけてほしいこと

ら、楽しく食べる
関心をもつ
意識して、一定の時間内に食べ終えようとする

に気をつける

したり、先生や友達に相談したりする

る

理解したり、共感したりする
ない
やり遂げた喜びを味わう

する

「ありがとう」「ごめんなさい」が自然に言える

通わせる

する
で伝える

う

切さに気づき、守ろうとする
んなどと一緒に行動しようとする
から行動する
て活動する

す出来事に触れる

や不思議さなどを感じる
り入れ、四季を感じる
づく

て取り組む

く知ろうとしたり、試したり確かめたりする

づき、生活の中で文字を使う
を数えたり比べたりする
り比べたりする

しようとする
な方法で表現する
わったり、演じて遊んだりする

幼児期の教育

「遊び」をとおして行う総合的な指導から

子育ての目安「3つのめばえ」は、小学校入学までに子どもたちに身につけてほしいことを幼児期の特性である「生活」「他者との関係」「興味・関心」の視点から取りまとめたものです。



生活

健康で安全な生活をし、元気に遊ぶことをとおして、自分から積極的に物事にかかわる姿勢が身につきます。自分のことを自分で行い、進んで行動できることは、小学校生活における意欲につながり、ひいては、社会に出てからも自ら考え、進んで物事を解決しようとする力になります。



他者との関係

幼児期においては、家族とのあたたかいつながりを基盤として、人を信頼する気持ち、他者への思いやり、社会のきまりを守ろうとする気持ちをはぐくんでいます。また、友達と共通の目的をもって取り組む活動(協同的な学び)を重視することが、小学校教育へとつながっていきます。



興味・関心

「ふしぎだな」「おもしろいな」と興味・関心をもち、気づいたり、考えたり、試したりする中で、「できた」「わかった」という体験を重ね、学ぶことの楽しさを知ります。幼児期に豊かな体験を重ねることにより、小学校での学習の内容を実感をもって理解することができるようになります。

小学校教育

教科等の学習を中心とした指導へ

接続期プログラム (幼児期の教育と小学校教育の連続性)

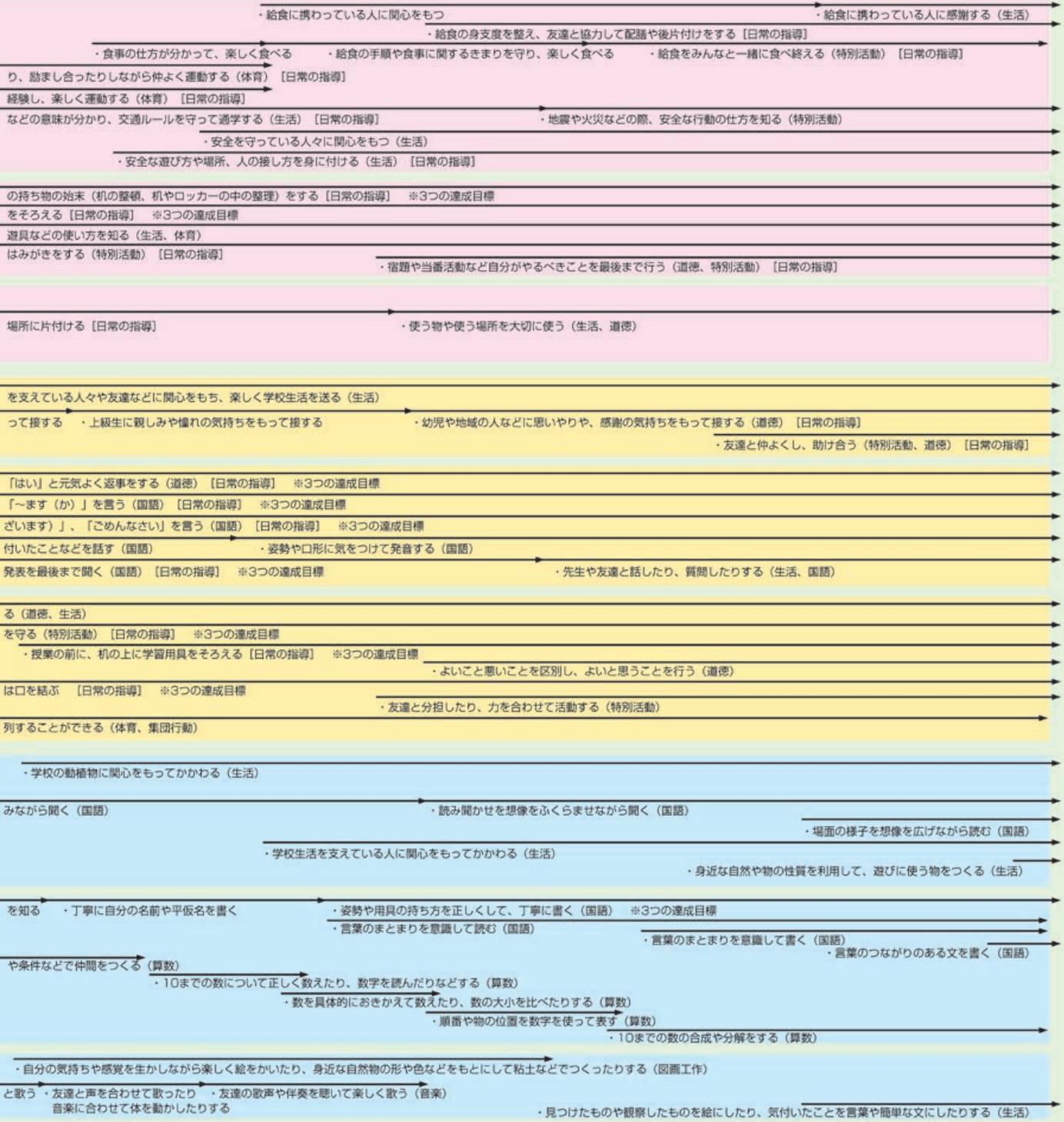
(1)生活や学びのつながり

生活や学びのつながり (一覧)		接続期 (幼児期の教育5歳児1)			
		1月	2月	3月	4月
生活	健康で安全な生活をする	先生や友達と食べることを楽しむ ・食事に关するきまりやマナーを守りながら、楽しく食べる ・食べることの大切さがわかり、食べ物に関心をもつ ・生活の流れや準備・片づけの手順などを意識して、一定の時間内に食べ終えようとする			・友達と競い合った ・いろいろな動きを ・信号機、道路標識
	自分のことは自分でする	戸外で体を動かす ・十分に体を動かして遊ぶ 安全に気をつけて行動する ・危険な場所や危険な行動がわかり、安全に気をつける			・衣服の着脱や自分 ・靴箱の靴のかかと ・学校の施設や固定 ・手洗い、うがい、
	物を大切にす	生活に必要な活動を自分でする ・着替えや持ち物の始末を自分でする ・脱いだ靴をそろえる ・困ったときに自分で考えて解決しようしたり、先生や友達に相談したりする			・使った物をもとの
他者との関係	人とかかわる力を身につける	自分の物や皆で使う物を大切にする ・遊んだ後の片づけをする ・共同で道具を使い、協力して片づけをする ・水や紙などを大切に使う			・年少児などに思いやりをもってかかわる ・自分の気持ちとは異なる友達の気持ちを理解したり、共感したりする ・自分が嫌なことや困ることは友達にもしない ・友達と共通の目的に向かって取り組み、やり遂げた喜びを味わう
	言葉で伝え合う	友達と一緒に遊ぶ ・元気よく「はい」と返事をする ・先生や友達に「おはよう」「さようなら」「ありがとう」「ごめんさい」が自然に言える			・先生など学校生活 ・友達に親しみをもち
	きまりや約束を守る	言葉をとおして先生や友達と心を通わせる ・先生や友達の話を注意して聞き、理解する ・自分の思いや考えを先生や友達に言葉で伝える			・名前を呼ばれたら ・「～です(か)」、 ・「ありがとう(ご ・経験したことや気 ・先生の話や友達の
興味・関心	好奇心や探究心をもっているいろいろなものにかかわる	友達と共に生活する充実感を味わう ・友達と楽しく生活する中できまりの大切さに気づき、守ろうとする ・集団の生活の流れや時刻を意識し、みんなと一緒に行動しようとする ・よいこと、悪いことがわかり、考えながら行動する ・互いのよさを認め合い、友達と協力して活動する			・きまりや約束を守 ・登校や始業の時刻 ・人の集まる場所で ・学級や小集団で整
	文字や数量などの感覚を豊かにする	生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れる ・身近な自然などに触れて遊び、美しさや不思議さなどを感じる ・自然物や自然の現象を遊びや生活に取り入れ、四季を感じる ・動植物と触れ合い、生命の大切さに気づく			・読み聞かせを楽し
	自分の思いを表現する	興味・関心をもったものに集中して取り組む ・考えたり工夫したりして遊ぶ ・いろいろなものに関心を持ち、より深く知ろうとしたり、試したり確かめたりする ・話や短い物語を集中して聞く			・鉛筆の持ち方 ・種類
		生活の中で文字や数量に触れる ・文字で伝えることの楽しさや意味に気づき、生活の中で文字を使う ・生活のいろいろな場面、物や人の数を数えたり比べたりする ・生活のいろいろな場面、量を測ったり比べたりする			・知っている歌を友達

月から小学校教育第1学年5月まで)

5月

小学校教育



* ()内は、教科等で指導する 【日常の指導】は、学校生活において日常でも指導する ※3つの達成目標とのかかわり → は、指導時期の目安

生活や学びの
つながり

(2)カリキュラム作成の配慮と工夫のポイント

・アプローチカリキュラム作成のために(幼児期の教育5歳児)

配慮と工夫のポイント

時間の工夫

- 修了近い時期には、小学校での生活に配慮して、学級全員で活動することを意識的に取り入れるようにします。
- 登降園時の活動や当番活動、昼食の準備・片づけなど一日の生活の流れが分かって、自分から進んで行動できるようにします。

保育の工夫

- 友達と目的を共有し役割を分担して一緒に遊ぶ中で、充実感や達成感を味わい、意欲的に生活できるようにします。
- 自然の素材や自然現象などを遊びに取り入れ、自然の不思議さを十分に体験できるようにします。
- 友達と一緒に遊ぶ中で、考えたり試したり工夫したりする経験が十分できるようにします。
- 友達と互いに表現し合いながら、歌や動き、描画、言葉など様々な表現のおもしろさを感じることができるようになります。

人間関係の配慮

- 友達と共に生活する中で、互いのよさを分かり合い、信頼関係を十分に築くようにします。
- 小学生とかかわる中で、あこがれの気持ちをもてるようにします。
- 行事などをとおして、年少児や地域の人々とかかわる機会を設け、いろいろな人に親しみをもてるようにします。

アプローチカリキュラム作成例

5歳児1月～3月	
幼児の姿	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と一緒に必要なきまりを自分たちで作成し、友達同士で教え合うなどしてそのきまりを守って遊ぶようになる。 ○ 遊びの継続時間が長くなり、じっくりと取り組むようになる。これまで大勢での遊びに加わりしなかった幼児も、自分から参加するようになる。 ○ 修了を意識して生活発表会に意欲的に取り組み、自分の意見を出し合っ、自分たちで劇の道具を作ったりセリフを考えるようになる。 ○ 皆と一緒に活動し、力を合わせてやり遂げる喜びを味わえるような生活の中で、学級の集団としての意識が高まる。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大勢の友達と目的を共有し、友達と相談しながら見通しをもって進める。 ○ 目的や課題に向かい、根気強く取り組んだり、工夫したりしてやり遂げた喜びを味わう。 ○ 冬の自然現象に興味をもち、見たり試したりする。 ○ 小学校入学を喜び、自分の成長に自信と自覚をもつとともに、身近な人々への感謝の気持ちをもつ。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と一緒に同じ目的に向かって活動に取り組み、相談したり工夫したりしてやり遂げる。 ○ 生活の中で標識や文字の必要性に気付く。 ○ 音楽に親しみ、イメージを楽器や体の動きなどで表現する。 ○ 共同で使う道具や用具を大切に使う。 ○ 生活に必要な物を工夫して描いたり作ったりする。 ○ 感謝の気持ちを身近な人に伝えようとする。
環境の構成・援助	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一日の生活の流れを意識して活動できるようにする。 ○ 生活発表会など、友達とイメージを共有し見通しをもって取り組むことを通して、やり遂げた喜びと満足感が味わえるようにする。 ○ 修了の記念品づくりや修了式までの準備などは、各自が思いを込めて取り組めるように計画し、園生活最後の時期を充実感をもって過ごせるようにする。 ○ 小学校を見学したり小学校の先生の話の聞いたりして、小学校入学への期待感と自覚を高める。 ○ 霜柱や氷、雪など冬の自然現象に気付かせ、触れて遊ぶ中で、不思議に思ったり、試したり調べたりする経験ができるようにする。 ○ 就学に向けて、一人一人の育ちを確かめ家庭との連携を図る。

配慮と工夫のポイント

家庭との連携

- 基本的な生活習慣を身に付け自分でできるように、家庭と連携をとり、子どもの育ちを確かめます。
- 保護者会や個人面談などを行い、保護者に小学校入学までの生活の見通しを伝えます。保護者の不安に対しては、小学校と連絡を取り合って対応できるように園側の体制を整えます。

きまりへの適応と安全への配慮

- 友達と共に気持ちよく過ごすためにはルールが必要なことがわかり、守ろうとする気持ちを育みます。
- 友達と共に生活する中で、自分の気持ちを伝えたり、時には折り合いを付け自分の気持ちを調整したりすることを経験できるようにします。
- お別れ遠足では、交通ルールを守って行動することや公共の場での行動の仕方などを知らせます。

小学校生活に向けての配慮

- 小学生と交流することをとおして、あこがれの気持ちを抱き、小学校生活に期待をもてるようにします。
- 学校見学や学校体験をとおして、小学校の施設や生活の様子を知り、入学への期待と自覚をもてるようにします。
- 幼児期における指導の経過を要録にまとめ、小学校へと引き継ぎます。子育ての目安「3つのめばえ」を活用し、子どもの育ちを確かめます。

・スタートカリキュラム作成のために(小学1年生)

時間割の工夫

- 生活科を核とした総合的な指導を取り入れることで、子どもの思いや願いの実現に向けた活動をゆったりとした時間の中で進めます。
- モジュール学習を取り入れ、子どもの実態に応じて、徐々に45分の授業に慣れるようにします。

授業の工夫

- 体験的な活動や操作などを取り入れることで、これまでの子どもたちの経験が生かされ、分かりやすい授業になり、学習意欲が高まります。
- 子どもたちができることを認めたり、励ましたりして満足感・充実感をもって学習できるようにします。
- 専科、学習補助員などが授業に入ることで、一人一人の子どもにきめ細やかに対応します。

人間関係の配慮

- 学年やグループなどの活動を取り入れることで、親しい友達のかかわりを軸に子ども同士の間関係が広がります。
- 学校生活の始まりには、子どもたちが不安を感じがちです。日々の健康観察や下校時に一言声を掛けるなど、子どもとの信頼関係を築くことを心がけます。

配慮と工夫のポイント

スタートカリキュラム作成例

配慮と工夫のポイント

	4月9日(月)	4月10日(火)	4月11日(水)	4月12日(木)	4月13日(金)
ねらい	第1週 テーマ【 がっこうだいすき たのしい ○○しょうがっこう 】 ○学校生活に必要なきまりや約束を少しずつ覚えながら、小学校生活を楽しく過ごす				
業前	○○タイム「(例)いきいきタイム」、あいさつ・健康観察 ☆名前を呼ばれたら元気よく「はい」と返事をする。				
活動内容	いきいきタイムがはじまるよ 手遊び、リズム体操(学年合同)	みんなであうたおう(学年合同) ☆音楽専科等	読み聞かせ ☆読み聞かせを楽しみながら聞く	6ねんせいといっしょにうたおう (学年合同)	
1	学活 (0.5時間)(学年合同) ○「なかまづくり」ゲーム ・友達と一緒にゲームをする ☆友達に親しみをもって接する	音楽 (0.5時間)(学年合同) ○みんなであうたおう ・友達と一緒に楽しく歌う ☆知っている歌を友達と歌う	体育 (0.5時間)(学年合同) ○いろいろなならびかた ・学級、小集団での並び方を知る ◆衣服の着脱のしかたを学ぶ ☆衣服の着脱をする	行事 (1時間) ○こんにちは1ねんせいのかい ・他学年と交流する ◆出席番号順の並び方を学ぶ ☆人の集まる場所では口を結ぶ。	
2	生活 (1時間) ○がっこうのことがしりたいな ・自分の教室を知る ・トイレ、流しの場所を知る ◆個人で管理する場所や、学級で使うものの使い方、トイレの使い方を学ぶ	国語 (0.5時間) ○みつけたものをはなす ・下校途中や登校途中に見つけたものを話す	生活 (1時間) ○なかよくなりたいな ・校庭で友達と遊ぶ ・友達と仲よく遊ぶためのきまりや約束を知る ◆校庭での遊び方を学ぶ	生活 (1時間) ○がっこうのことがしりたいな ・校長室の場所を知る ・他学年の教室を知る ◆校長室の入り方の約束を学ぶ	
3	行事 (1時間) ○入学式 13:30 ・ロッカー、靴箱、傘立ての位置を知る	生活 (1時間) ○がっこうのあいさつや交通ルールを学ぶ	図工 (0.5時間) ○すきなもののいっばい ・好きなもの、描きたいものを想像しながら描く ◆クレヨンなどの使い方を学ぶ	算数 (0.5時間) ○なかまをつくらう ・図工で描いた作品を種類や条件などで仲間をつくる	算数 (0.5時間) ○なかまをつくらう ・カードに示された絵の種類や条件で仲間をつくる
4	図工 (0.5時間) ○すきなもののいっばい ・好きなもの、描きたいものを想像しながら描く ◆クレヨンなどの使い方を学ぶ	生活 (0.5時間) ○がっこうのことがしりたいな ◆帰りの支度の仕方を学ぶ	国語 (0.5時間) ○じぶんのなまえをかこう ・自分の名前を書く ◆鉛筆の持ち方を学ぶ ☆鉛筆の持ち方を知る	国語 (0.5時間) ○これらがっこうでやってみたいことをはなそう ☆友達の発表を最後まで聞く	
	一斉下校 ◆安全な登下校の仕方を学ぶ	学年下校 ◆安全を守ってくれる人へのあいさつの仕方を学ぶ			
		◆安全な登下校について学ぶ ◆出迎えの保護者と連携を図る ☆番号機、道路標識などの意味が分かり、交通ルールを守って通学する			

家庭との連携

- 入学式や懇談会の他、連絡帳や学級だよりなどで家庭との連携を図ります。小学校生活に関するアンケートを実施し、子どもたちの課題や、保護者の不安を把握し、指導に生かします。

きまりへの適応と安全への配慮

- 子どもたちが、友達と集団で生活しながら、体験をとおしてきまりやルールの必要性や大切さなどを感じて身に付けるようにします。
- きまりやルールは、安全面に関するものを優先的に指導します。特に登下校では、子どもが自分の目で危険を予測し、安全に行動することができるように、場面や状況に即した安全な行動を具体的に教えます。

幼児期の経験を生かす配慮

- 入学までに子どもたちが経験したことや身に付けたことを生かすことで、意欲をもって学習することができます。子どもたちは、園で決められた約束を守って固定遊具で遊ぶことや、大勢の友達と遊びながら自分たちのルールを作ったり、変えたりしながら楽しく遊ぶことなどを経験しています。環境の違いや個人差が大きく異なることを踏まえ、一人一人の姿をよく見つめながら、子どもたちができることや経験していることを生かした授業を行います。

幼少期教育関連資料等

(1) 「接続期プログラム」(平成23年度作成)

接続期プログラム

検索

～幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指して～



<主な内容>

- ①教育内容のつながり
- ②カリキュラム作成の配慮と工夫のポイント
- ③研究指定校の取組 (平成23年度委嘱地域)
 - ・川口市立並木小学校
 - ・鳩山町立鳩山小学校
 - ・秩父市立吉田小学校
 - ・加須市立志多見小学校



(2) 子育ての目安「3つのめばえ」(平成22年度策定)

～小学校入学までに幼児に身に付けてほしいこと～

子育ての目安「3つのめばえ」

検索

- ①幼稚園・保育所・認定こども園向けパンフレット
- ②小学校向けパンフレット
- ③家庭向けパンフレット
- ④家庭向けリーフレット (平成24年度作成)



(3) 「3つのめばえ」カルタ (平成23年度作成)

3つのめばえカルタ

検索



(4) 子育ての目安「3つのめばえ」保護者向け説明資料 (平成24年度作成)

3つのめばえ説明資料

検索

約10分間の説明ナレーション入りデータで、自動再生するだけで保護者への説明が可能です。小学校では就学時健康診断や入学説明会、幼稚園・保育所等では懇談会等で御活用ください。



(5) がっこうたんけんカード (平成24年度作成)

がっこうたんけんカード

検索

学校公開、入学前の学校体験や生活科の学校探検等、年間を通して使用できます。用途に合わせて内容を書き換えて御活用ください。





～幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指して～